

# 柑芦 KORO

和歌山大学経済学部柑芦会誌

第53号 (2022年版)

特集:「経済学部創立100周年記念《特別寄稿》」



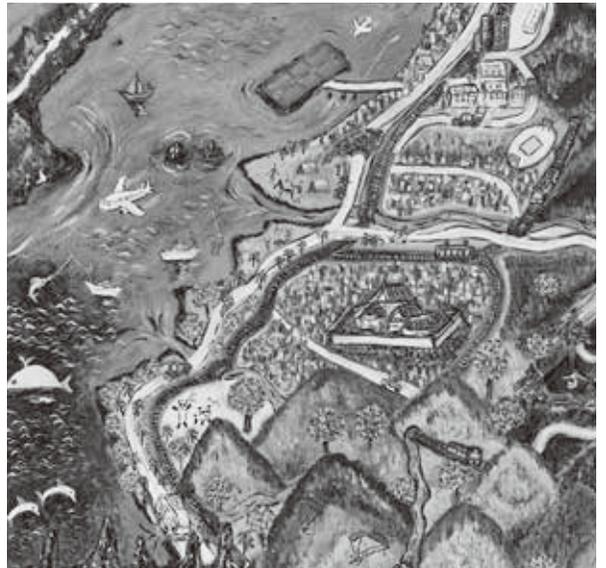
# 柑 KORO 蘆

---

和歌山大学経済学部柑芦会誌

## 柑芦 53号 (2022年版)

- 特集「経済学部創立100周年記念《特別寄稿》」
- 100周年を迎えるにあたって
- 追悼
- 支部だより
- ゼミ・同期会・クラブ・同好の集まり
- 母校だより
- 出合いのひろば(会員談話室)
- 柑芦会
- 後援会
- 訃報



〈表紙絵 / 和歌山大好き〉

作 大39 小柴 学司

絵画部の展覧会(通称、部展)後の飲み会、田舎へのドライブ旅行等は、学生時代の楽しい思い出です。  
そんな和歌山の楽しさを凝縮した絵を描いてみました。

# 柑 芦 53号 (2022年版) 目 次

## 会長挨拶

柑芦会 会長 大18 北村修一 …………… 4

## 学長・学部長挨拶

和歌山大学学長 伊東千尋 …………… 5  
経済学部長 芦田昌也 …………… 6

## 特 集

「経済学部創立100周年記念特集」

中表紙(サマリー) 穂永千秋 …………… 7

特別寄稿

大学関係

元経済学部教授 八丁直行 …………… 8

第27・31代学部長 竹内昭浩 …………… 10

第29代学部長 山田良治 …………… 11

第32代学部長 森口佳樹 …………… 12

第33代学部長 遠藤 史 …………… 13

第34代学部長 吉村典久 …………… 14

第35代学部長 足立基浩 …………… 16

第36代学部長 藤永 博 …………… 17

第37代学部長 マグレビ・ナビル …… 18

100年史編纂委員長 長廣利崇 …………… 20

柑芦会会員

大7 松原徳一 …………… 22

大10 橋本一男 …………… 23

大11 宮本 正 …………… 24

大15 原 良也 …………… 25

大16 青柳明雄 …………… 26

## 100周年記念 名刺広告

お礼 北村会長 …………… 27  
名刺広告

## 100周年を迎えるにあたって

100周年事業の取り組み …………… 35

## 追 悼

小田 章氏(元学長) 大15 中田陽之 … 36

大43 由井幸枝 … 37

南村桂太郎氏(工1) 大8 坂本 漸 … 39

小池布紗雄氏(大11) 大28 山中盛義 … 40

本多康重氏(大17) 大17 穂永千秋 … 41

## 支部だより

大阪支部 糸川支部長 …… 42

大阪支部 支部総会報告 平野副支部長 … 43

東海支部 岡野幹事長 …… 45

神戸支部 平林支部長 …… 46

三重支部 山際幹事長 …… 47

姫路支部 榮藤幹事長 …… 48

## ゼミ・同期会・クラブ・同好の集まり

硬式野球部 中田陽之 …… 50

川柳サークル 北村修一 …… 52

## 母校だより

和歌山大に「学環」誕生	……………	54
「クォーター制」導入	事務局	… 56
2021年度 香村賞 作品紹介	……………	58
クラブ紹介(4クラブ)	学生支援課	… 67
大学祭実行委員会、和滋定期戦	……………	71
和歌山大学基金の現状	基金室	… 74
経済学部棟改修工事	経済学部分室	… 76
今年の卒業生の就職状況	キャリアC	… 77
現在の就職状況について	大46本庄麻美子	80
新刊書紹介	事務局	… 81
大学役員及び事務局紹介	事務局	… 82
経済学部教職員の異動	事務局	… 83
出身都道府県別入学者の状況	事務局	… 84

## 出合いのひろば(会員談話室)

### 随想

和歌山大空襲の講義	准教授 橋本唯子	… 87
芦火700号を祝して	大5 北 道子	… 89
キマダラカミキリ	大12 杉山宏道	… 90
同人になれたこと	大12 西田安男	… 92
将棋と行動経済学	大19 石川和彦	… 94
NHK文芸選評で特選に	大25 河本 要	… 95
終の棲家を探しています!	大40 木村之保	… 96
事業紹介と人材募集	院27 王 志 敏	… 98

俳句	俳句同人会(芦火)	……………	100
----	-----------	-------	-----

短歌	作品	大6 川 渕 湧 三	… 101
----	----	------------	-------

川柳	作品	大13 佐竹明吟	… 101
----	----	----------	-------

### 柑芦会

全学同窓会理事会報告	北村会長	… 102
経済学部との定期懇談会	北村会長	… 103
柑芦会定時理事会	事務局	… 104
決算・予算の概要	事務局	… 110
役員名簿	事務局	… 111
支部一覧表	事務局	… 112

### 後援会

決算・予算の概要	事務局	… 114
役員名簿	事務局	… 115

訃 報	……………	116
-----	-------	-----

広告索引	事務局	… 118
------	-----	-------

あとがき	大17 穂永千秋	… 119
------	----------	-------

表紙 写真	大39 小柴学司	
-------	----------	--



## 柑芦会の未来に向けて

柑芦会 会長 大18 北村 修一

思いもかけず会長にご推薦いただいてからの2年間を振り返りますと、オンライン方式を活用した副会長会議の随時開催や、支部長会議の年2回定期開催化など、多くの方々の知恵とお力をお借りして課題整理と方向づけに取り組むことができました。また支部活性化支援委員会をはじめ4つの委員会やプロジェクトを通じて継続的な課題検討をする体制が整えられたのもまさに皆さまのご協力のお蔭であり、感謝申し上げます。

一方では、大学側からのご要望にお応えし、大学院へ進学する優秀な学生のために返還を要しない「給付型」の「奨学金制度」を創設することができました。また硬式野球部に代表されるような和歌山大学の名声を高める功績のあった課外活動に対しても「寄付」が行えるよう、柑芦会としての規約を新設することができましたので、今後は他の体育会クラブや文化会クラブの学生たちの励みになることを願っています。

さらには、そういう活動を下支えするための重要なインフラとも言える「名簿」の充実と、大学の情報や全国の支部・会員の動静を適時適切にお伝えする広報活動にも注力し、「本部ニュース」の毎月発行や「ホームページ」のリニューアルを実現することができたのも本部事務局はじめ関係者の皆様のご尽力のお

蔭です。

さて、ご承知のように和歌山大学経済学部は和歌山高等商業学校の創設以来、本年で満100周年を迎え、その記念事業は来年10月を中心に華々しく開催される予定となっています。柑芦会としてはこの記念事業に全面的にご協力することにしておりますので、皆さまにおかれましても絶大なご理解とご支援をお願いいたします。

さらには、4年後の2026年には柑芦会自身も発足から100周年を迎えることとなりますので、これまでの伝統に胡坐をかくことなく、未来をしっかりと見据えて時代に合った施策と体制を強化してまいります。

そのためには、各支部に対する本部からの支援活動の継続や、柑芦会のスローガンである「会員の成長に役立ち、人生を豊かにする」を実現する施策として、年代別の支援活動も充実させたいと考えています。例えば、就職活動で東京や名古屋へ移動する学生にはそのための支援策を、現役ビジネスマン世代にはマネジメント力強化や成長の機会を、定年後世代には様々な種類の趣味の会や交流の場を提供する、といったものなどです。

皆さまには、変わらぬご理解とご支援をお願いする次第です。



## アントレプレナーの育成が 社会を変える

和歌山大学 学長 伊東 千尋

柑芦会の皆様には、日頃より母校和歌山大学の教育・研究へのご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

現在、我々は激動の時代にあります。経済が低迷する中、大きく発展した情報通信技術を用いた新しい製品やサービスが世に出てきています。技術的な背景に加えて、コロナ禍による遠隔授業、リモートワークの取り組みが加わり、製品やサービスの質的变化のスピードは加速し続けています。このような社会にあって、社会が求める人材も大きく変化してきています。平時には、確実に業務を実施できる人材が求められました。しかし、激動の時代に入り、社会の変化に対応して業務も日々変化しています。それ故、日々変化する情勢や進化する技術に対応できる人材が求められるようになってきています。さらに積極的に言えば、変化を捉えて新しい事業を企画したり、創業に挑戦する人材が必要とされてきていると言えるでしょう。

2020年の我が国の既存企業数に対する新規に開業された事業所(あるいは企業)比率(開業率)が4%程度にとどまるのに対して、アメリカは10%程度あることがわかっています。我が国では、AmazonやFacebookなどの成功を取めた企業のみが耳目を集めています。一つの成功の背後に多くの挑戦があるこ

とがわかります。日本で開業率が低い理由の一つに、失敗を許さない風土があると言われていています。この風土を変えていくことが、日本の産業力、経済力を高めていくために不可欠です。そのためには、チャレンジ精神を持つ多くのプレイヤーを育成し、そのプレイヤーを育む環境を作ることが重要となります。

和歌山大学もCOC+事業を実施する中でアントレプレナーシップ教育に乗り出しました。最近の調査によると、全学で100名を超える学生が創業に関心を持っていることがわかっています。香村賞で培われてきた創業家育成の枠を広げたアントレプレナーシップ教育を、学生の主体性を引き出す教育として位置付け、この激動の社会の中でチャレンジを続ける人材の育成をめざした組織的な教育を高めていきたいと考えます。このような教育を推進する上で、柑芦会会員の中におられる創業者の方々や、その創業者の皆様と多岐にわたる社会活動を進めてこられた先輩諸氏のご経験とご知見は大きな資源となります。今後、アントレプレナーシップ教育を進めていく上で、柑芦会の皆様のご支援をいただければ心強い限りです。

最後になりましたが、柑芦会の更なるご発展と会員皆様のみますますのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。



## 社会科学分野における データ利活用人材の育成を！

和歌山大学 経済学部長 芦田 昌也

柑芦会会員の皆様には、平素より和歌山大学経済学部ならびに和歌山大学大学院経済学研究科の教育研究活動に対しまして、ご理解とご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。また、本学学生の諸活動に対しましてもあたたかいご支援をいただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

2021年の夏頃から行われました西3号館（旧経済学部本館棟）の改修工事が2022年の3月末に無事終了いたしました。授業準備や移転作業を慌ただしく行いながら迎えた2022年度でしたが、早くもその半분을終えようとしております（本稿執筆時点）。新型コロナウイルス感染症への対応として手探りのまま導入した遠隔授業については、この間に獲得したノウハウを活用し、また感染防止対策として、制限された履修者数内において対面授業を再開するなど、教育環境については進化とともに落ち着きが見られるようになりました。

ご存じの方もいらっしゃる通り、国立大学法人は6年間をひとつの中期目標・中期計画期間として、定めた目標を達成すべく事業を実施することになっております。2022年度は、そのような体制になってから4巡目の開始年度にあたります。経済学部につきましては、中期目標・中期計画に直接の記載はないのですが、このタイミングで、本学データインテリジェンス教育研究部門の協力を得て、データ利活用教育に踏み出す機会が与えられました。文部科学省の「数理・データサイエ

ンス・AI教育の全国展開の推進」という取り組みにおいて選定された18校の特定分野校のうち、社会科学分野を掲げた3校のうちの1校に選定されております。これは、データサイエンスの知見や人工知能技術などを利活用し、これからの経済社会を先導することができる、経済学、経営学、会計学などの分野を中心とした社会科学分野の人材育成に取り組むものです。この取り組みでは、経済学部において、このような人材育成のための授業を展開することはもちろんのこと、そのカリキュラムを整備し公開することも求められています。与えられた6年間の実施期間を有効に活用し、本学経済学部生がこの取り組みが目指す人材へと成長するための学修機会を提供するとともに、その裾野をひろげようとする社会からの要請にもこたえられるように取り組んで参りたいと考えております。

2022年は、経済学部にとっても特別な年にあたります。本学部の前身となる和歌山高等商業学校が1922年10月に設置され100年になります。1923年に最初の入学者を迎え、和歌山経済専門学校、和歌山工業専門学校、再び和歌山経済専門学校と変遷し、現在に至りました。2023年には100年の記念式典の開催、ならびに100年の歴史をまとめた100年史の刊行を計画しております。これらの記念事業につきまして、詳細が確定次第、改めてご案内を差し上げたいと存じます。

最後になりましたが、柑芦会会員の皆様のご健康とご多幸とともに、柑芦会のますますのご発展をご祈念申し上げます。

## 特集 「経済学部創立100周年記念《特別寄稿》」

和歌山大学経済学部が大正11年（1922年）10月に、その前身である和歌山高等商業学校として設立され、翌年4月に開校されてから来年4月に開学100周年を迎えるにあたり、「柑芦」は節目、節目にはその足跡を振り返ってまいりました。高等商業学校から、先の大戦を経験する経済専門学校、工業専門学校といった困難な時代を経て、戦後の新制大学へと創学の気風を保ってきたものと思います。

和歌山大学（経済学部）の一つの転機は昭和62年（1987年）の校舎統合移転です。敗戦後の連合軍（米軍）に接収された時期を含め、ずっと和歌山市高松にあった母校校舎が、真砂町・岡山の教育学部とともに、紀ノ川北岸の栄谷に移転統合された訳です。念願の新学部設立の動きが顕著化し1996年に、経済学部から新たにシステム工学部が、更には2008年には観光学部が設立されたことは皆様既によくご存じと思います。

本誌は、100周年記念企画として、直近30年間の経済学部の発展にご功績のあった先生方に、「柑芦」誌へのご寄稿をお願い致しました。また、新しい学部設立に関係の深かった先生方の思い出をと、システム工学部設立時に御功績のあった八丁先生、観光学部設立に大いに貢献された小田先生に、それぞれ原稿を依頼しておりました。ところが7月に小田先生がご逝去されるという事態に至り、小田先生からの貴重なお話がいただけなくなりましたが、経済学部発展に寄与ご尽力された小田先生の功績を偲ぶとともに、経済学部をけん引してこられた諸先生方のご寄稿をご紹介します。

柑芦編集委員長 穂永千秋

# システム工学部発足に至る思い出

元経済学部教授 八丁 直行

経済学部にあった産業工学科を母体として、和歌山大学システム工学部が創設された、そんな話が語られている。大学の長年の悲願であった新学部増設、それも理工系学部の創設であった。その誕生に至るきっかけになった話を少し語っておきたい。そして、産業工学科の理念は今日的にみても、極めて意義あるものだということを言っておきたい。

昭和62年(1987年)夏、経済学部が現在のキャンパスに移り、大学の学舎統合が完了した。それから8年後の平成7年(1995年)10月、システム工学部が発足した。翌年の4月からシス工1期生の受け入れとなった。さて、大学の理工系新学部設置構想は、初め「産業科学部(仮称)」設置構想として動きだした、ということをご存じだろうか。つまり、「産業工学科」→「産業科学部(仮称)」構想→「システム工学部」という流れがあったのである。

その「産業科学部(仮称)」構想は、実は、私が最初にアイデアを出したものだ。短い期間だったが、名称と主旨、教育研究概要など、構想を誕生させるところで関わった。大学として一本化して、理工系新学部構想を始動させるきっかけとなった。

高師をルーツとする教育、高商をルーツとする経済は何かと対立することが多く、大学は創設以来2学部のまま、大学拡充も学舎統合もどちらの事業も前へ進められなかった。互いにキャンパスも離れ、木造校舎は老朽化していくばかりだった。

学舎統合の動きはかなり前からあり、昭和40年に、「学舎統合建設準備委員会規程」が制定された。システム工学部誕生のときの浅野徹学長(当時)は、「赴任した1952年以来……新しい学部の創設を目指した学舎統合移転のための歴史であった……前半20年はその準備、模索……後半の20年は土地の選定に始まる計画の実現であった」(柑蘆1994年版)と就任挨拶で述べた。労苦の多いことで

あった。現在の栄谷地区が学舎統合地として選定されたのは昭和52年(1977年)、その3年後から建築工事に取り掛かる予定となった。

さて、その昭和55年時点での、新学部構想の状況はどうなっていたか。

ここに、「学部増設等将来構想検討のための全学的機関の早急な設置に関する要望(案)」とする、1980年2月23日付け「経済学部改革構想 検討委員会」資料があった。新学部構想として、四つの候補が出されていた。経営学部、法・文・外国語系学部、理工系学部、農林水産系学部である。要望は、「現行の学部を基礎としない、全く新しい領域の学部設置」、「大学全体のものとして作られる」、「地域の要望に基づく新学部構想」を推進することを目指して、「全学的な改革構想の検討機関の設置を要望する」とあった。

その「全学的な改革構想の検討機関」が作られたかどうか覚えていない。新学部構想は、(人文社会学部)、(経営学部)の二つになっていた。学舎移転統合施設配置第3次基本設計図(昭和56.5)として、3年間ほど記載されていた。

では、「産業科学部(仮称)構想」は、いつから登場したのだろうか？

ある全学委員会会議が招集され、将来構想の新学部構想をどうするかが検討課題に有った。既構想の具体化、新規の新学部構想、一本化などについて、次回以降に提案、検討するとなった。

余裕が1ヶ月ほどあり、私は、「産業工学科」をベースにした理工系学部を考えることにした。それが、「産業科学部(仮称)構想」であった。かつて勤務した工業高等専門学校の吉田



直電機科教授(当時)に、手紙でアイデアの妥当性を問うた。

さて、構想を練って、検討会議に臨んだところまでは覚えているが、候補の一本化や、順位を付けて大学評議会へ答申したとか、その後についての記憶が無い。西高松キャンパスの本部事務局の会議室で幾度か会議があった。経済がまだ西高松に残っていた頃、教育は移転したか少し前かのときだった。椎木和光助教授(当時)も委員で「経営学部構想」、教育から理科や外国語担当の教授が委員として参加していた。

その委員会がそうだったのか。経済の学科会議、教授会で検討して、という経緯をたどったのか覚えていない。後に、飯尾要教授(当時)から、「産業科学部(仮称)」構想でいくことになった、という報告を教授会で受けた記憶がある。確か、経済学部が移転する前であった。

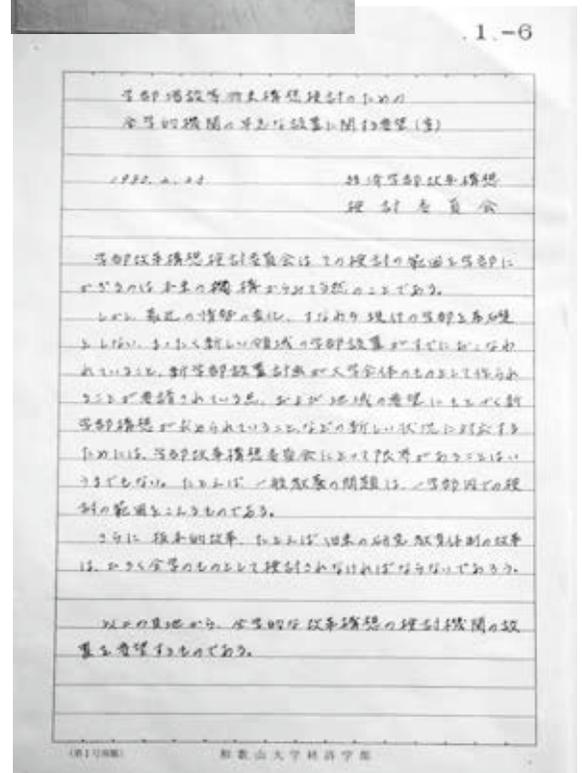
小野朝男学長(当時)の就任挨拶に(柑蘆1988年版(1987.10発行))、高松キャンパスお別れ記念パーティの席で、池田芳次学長(当時)が、「昭和62年度の概算要求において、すでに産業科学部(仮称)の設置を要求し……僅かだが調査費がついた」という言及があったのを見つけた。「知事も初めて、祝辞の中で、情報関係を中心にしたソフトな理工系学部の設置について言及された」とあった。

そして、小野学長を委員長、飯尾教授を作業部会長とする、平成元年度教育方法改善プロジェクト「産業科学部(仮称)設置構想」が始動した。浅野学長の、「その40年間の、それに費やされた先輩同僚の努力の膨大さと思うと空恐ろしい」とする、理工系学部創設に結実した。

辻三郎初代システム工学部長(当時)は、「新時代を担う科学技術の創成を目指して」と題し、「人を中心とした科学技術、地球と共生しうる科学技術を創る……既存の工学がカバーする範囲を超えて、自由な発想から学際的に教育・研究する」必要があると述べた(和歌山大学システム工学部 研究者総覧 2000年)。

「和歌山大学経済学部五〇年史」に、産業工

学は、「経済、経営への広い見識に加え、極めて高度の数学知識と、さらに技術者としての素養を持ったエコノミストを養成」とある。今日ほど数理、情報、システム、AIを使う、文理融合能力が求められる地球環境、国際社会の危機状況はない。世界遺産のある紀伊半島に位置した学部、大学として、どうその教育を担保していくのか、大学全体で取り組む課題であると感じる。



# 思い出

## 第27代、31代学部長 竹内 昭浩

このところは、呆けていくのを待つだけの、気楽な日々を送っております。

1999年から2001年、2007年から2009年と二期学部長を務めました。

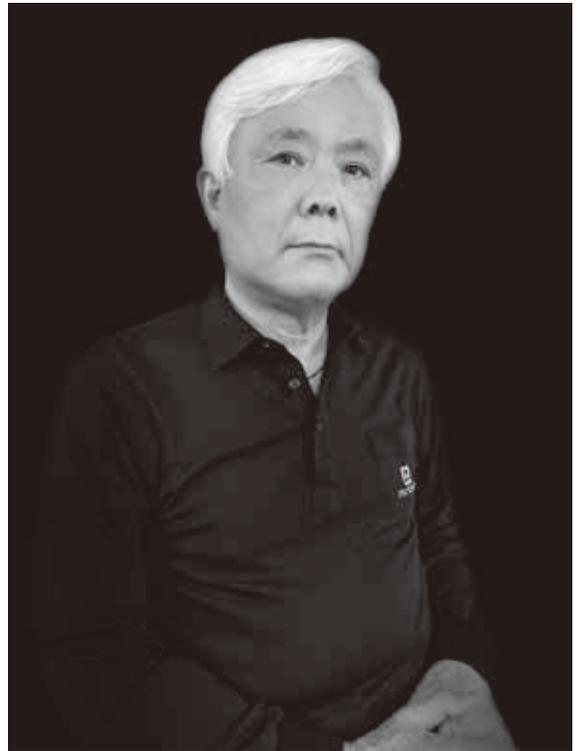
一期目は法人化前でもあり、大学全体の中で学部の力がまだまだ相対的に強かった時代です。学部内での自由な発想を実現するため、私はほんのわずかな手助けをただけなのですが、学部独自の政策をかなり自由に行う事ができました。丁度新制大学制度発足50年目にあたり、経済学、経営学の著名な先生方をお招きし、数回の講演会、シンポジウム等を実施致しました。また教員・事務方の皆様の協力のもと、エキスパートコース（これに関しては何度か本省へ出向いた事を覚えております）、南紀へのセンターの設置、学生懸賞論文募集の開始等々、これらを準備・実現する事ができました。

二期目は法人化後でもあり、状況はかなり変わっておりました。当然の事ながら大学内での学部の力は相対的に小さくなっていたのです。しかし学部の中で、その事実が必ずしも共有されているとは言い難い状況でした。その事もあったのでしょう。大学全体と学部の間での様々な調整に色々と苦勞した事が思い出されます。苦勞した事も多かったのですが、一方では楽しい事もありました。学部間には利害対立もあったのですが、それはさておき、他学部の方ともお付き合いさせて

頂く機会が増えました。私と同様に大学全体と学部間の調整に苦勞されていた他学部の学部長方とは一献を傾ける事もあり、時には我が家で気の合う方々も交えて杯を重ねてワイワイガヤガヤとそれなりに面白い時を過ごした事もございました。

現在の学部長のご苦勞は私が学部長を務めた頃より更に大變なものになっているかと思えます。

これからも続く未来の学部長の方々のご活躍を心より祈っております。



## 和歌山大学経済学部長・観光学部長在任中の思い出

第29代学部長 山田 良治

私は、共通一次試験の始まった翌年の1980年からコロナ禍が社会問題となる前年の2019年まで、40年間近く和歌山大学に在職しました。その間、経済学部と観光学部という複数学部の学部長を担うという稀な経験をさせていただいたことに加え、そのそれぞれがまた稀なタイミングでの出来事でした。

国立大学は、2004年度から国立大学法人となり、今日に至っています。私が経済学部長となったのはその前年度からで、学部長の任期は2年間ということから、国立大学としての最後の1年間と法人化した最初の1年間にまたがった学部長ということになります。その間様々な思い出がありますが、とくに印象に残っていることの一つは、経済学部選出評議員であった高嶋先生、竹内先生、橋本先生といった重鎮が、未熟な学部長を支えていただいたことです。また、それまで学部長の任期は、連続しない形で最長2期4年となっていました。流動化する法人化の諸課題に対応できるようにと、最大4年はそのままして連続を可能とする形に改めました。もちろん、次期学部長から適用という形での制度改革でしたが。

その頃、和歌山大学に第4の学部をということで、観光学部設置に向けた準備が進められつつありました。当初は、経営学分野を中心の構想だったようですが、設置準備の会議に参加する機会があった際、地域振興の視点

が必要ではないかと発言しました。そこまで口を出すのなら観光学部に異動してはどうかという話が当時の小田学長からあり、想定外のことでしたが経済学部から観光学部に移ることになった次第です。初代学部長には経営学の大家である大橋先生（経済学部OB）を迎え、国立大学初の観光学部がスタートしました。

ほどなく大学院の設置に向けた準備が始まったのですが、その責任者として企画と文科省との交渉を担うことになりました。修士課程は、新学部設置の延長線に、文科省も概して前向きに対応してくれるのですが、問題は博士課程です。そもそも歴史的に豊富な蓄積を持つ経済学とは異なり、「観光学」自体学問的体系性が必ずしも確立していない新興の分野です。博士課程設置の根拠となる観光学の学術的存在意義の説明が求められます。悪戦苦闘の中でこのハードルをクリアし、ついに博士（後期）課程の設置にこぎ着けることができました。大橋先生の後継として、観光学部長として2期4年間このプロセスと取り組みました。名前は記しませんが、ここでも多くの教職員の献身的な努力を得られたことが印象的です。精神的労働における協業の生産性は、何よりも関係者の相互信頼に依拠するということをしみじみと実感した経験でした。

# 思い出

第32代学部長 森口 桂樹

経済学部創立100年ということになり、あわせて柑芦第53号が発刊される由、誠に慶賀のきわみであり、柑芦会（以下、会という。）会員の皆様方に心よりお慶び申し上げます。

私が第32代学部長に就任した2009年当時、きわめて若輩の46歳でもあり、自分の出身校の同窓会にも参加した経験がなかったので、会の活動がいかなるものなのか、その活動の出身学部への貢献について明確な認識を有していませんでした。というのもそれまでは、学生委員長や評議員就任時以降において、会の大阪支部総会にお招きいただき、その盛大な会合に感服した程度の認識しかございませんでした。

学部長就任以降、会の皆様方とのお付き合いは本当に親密になりました。

例年の5月の理事・支部長総会（正式名称ではないと思われませんが、御寛恕ください。）にはじまり（同月30日）、6月冒頭の全学同窓会理事会（同月6日）、7月の大阪支部総会（同月4日）、10月の神戸支部総会（同月3日）、和歌山支部総会（同月17日）、京滋支部総会（同月25日）、11月の東京支部総会（同月19日）、東海支部総会（同月28日 推薦入試実施日のため、乗杉澄夫評議員（当時）が代理出席）とお招きいただき支部総会が開催されました（時期は2009年度）。これ以外もご招待をいただきながら出席がかなわない支部総会もありましたこともお詫び申し上げなければなりません。また、同期生・ゼミ単位で学部や学部長室においていただく機会も幾度かございました。

出席させていただいた会合のいずれにもかなり多くの熱心な会員の皆様に参加され、有益な学部運営に関するご助言をいただいたことを記憶しております。私の力不足によりそのようなご助言を生かすことが十分に

はできず、大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。それでも、就職支援体制の整備等、当時のご助言によって実現した施策もあり、現在に至るまで現役学生の支援にご貢献いただいていることに感謝しております。

また、財団としての後援会としても、学部の研究活動等に継続的に支援をいただいております。年2回の懇談会においても有益なご意見をいただいております。当時は、法人制度の改革問題が中心的な問題となっていたことを記憶しております。

地方国立大学が、地域との関係性を重視するとともにそれだけではなく、「大学の応援団」を必要としていることは言を俟ちません。そのような「応援団」になっていただけるのは、やはり会の皆様が第一でありましょう。今後とも経済学部のあり方に貴重なご意見を戴ければ幸いです。

末筆になりましたが、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈りあげます。



## 学部長時代の思い出

第33代学部長 遠藤 史

のっけから恥ずかしい告白をさせていた  
 だが、昔から組織のトップに立つというの  
 が苦手で、「長」と名の付くポジションにつ  
 いたことがない。だから経済学部長を引き受  
 けることになったときは、自分でも心底驚い  
 た。しかし何時までも驚いたままではいられ  
 ないから、自分にできることは何かを考  
 えるところから始めようと思った。そう考  
 えたとき、大きく3つの方向性が見えてき  
 きた。第1に学部の一体感の醸成、第2は  
 後進の育成、そして第3は研究の推進で  
 ある。

経済学部は高商以来の輝かしい伝統を  
 持ち、その反映として、内部に多様な人材  
 を含む。そしてこの多様性が、適切な緊張  
 感と共に、組織に一体性をもたらしてい  
 る。この長所を生かすには採用人事が肝要  
 とみて、本部との関係は良好に保つべく  
 努力した。当時の山本学長のご理解を得  
 て、優秀な先生方を何人も採用できたこ  
 とはささやかな成果と言えようか。他  
 には、入試委員会が揃いのTシャツを  
 デザインし、学生と一緒に盛り上がった  
 猛暑のオープンキャンパスも印象に残る。

さらに、将来に向けては、経済学部の  
 長い歴史を継ぐ教員層の育成が重要であ  
 った。と言っても、自分の一方的な考  
 えで引っ張るのは僭越だ。そこで各委  
 員会には、自ら課題に取り組み、アイ  
 ディアを出していただいた。お忙しい  
 中、委員としてご協力いただいた先

生方には感謝のことばもない。当時若  
 手だった先生方が、現在学部の中心とな  
 って活躍しているのを見ると、今は単純  
 に嬉しい。

そして、大学教員としてのやりがいの  
 中心は研究にあるべきだ、という自分の  
 信念もあった。成果数もあるが、研究を  
 すること自体の悦びがもっと大切だ。そ  
 のような気風が経済学部の根幹を支えて  
 きたように思えてならないのである。科  
 研の取得を助けるくらいしか自分には  
 できなかったが、その後の学部長たち  
 のもとで大学院改革が進み、着々と成  
 果を挙げつつあるのを見ると、この良  
 き気風が受け継がれているように感じ  
 る。

冒頭の話に戻るが、とにかく「長」  
 を務めたことのない自分には管理職的  
 能力が欠けており、スピーチさえ最初  
 は苦手だった。そう、あれは一年ほど  
 たった頃だったろうか、柑芦会の皆  
 さんと雑談していた時、「最近は挨拶  
 が少し上手になってきましたな」と言  
 っていた。本当かどうかは分からない。  
 けれど、人間は何歳からでも成長でき  
 るということを教えてくださったよう  
 な気がする。学部長としての2年間は、  
 確かに貴重な人生の学校であった。



# 在任中の思い出

第34代学部長 吉村 典久

経済学部が100周年を迎えられましたこと、何よりもまず、心よりお祝い申し上げます。また当方の経済学部への在職中、また、学部長などの在任中における多大なるご支援などに、この場をお借りして感謝申し上げます。当方が経済学部助手として着任したのは1994年4月でありました。その後、2009年4月から2年間は評議員、2013年4月からは2年間、学部長、続いて再度、評議員を務めました。

各国立大学は2004年4月より国立大学法人に移行しましたが、その約10年後、当方が学部の執行部として仕事をさせて頂いていた時期も、国立大学と国・地方、社会との関係が大きく問われた時期、改革の時期でありました。「各国立大学と文部科学省が意見交換を行い、

研究水準、教育成果、産学連携等の客観的データに基づき、各大学の強み・特色・社会的役割(ミッション)を整理」([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/houjin/1418118.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/1418118.htm))、いわゆる「ミッションの再定義」に取り組むことで、経済学部の今後のあり方を検討するとともに、その結果も踏まえて当時、三学科体制であった経済学部を一学科、複数の教育プログラムが走る体制に改組、改革いたしました。

当然、こうした取り組みを当方のみで出来るわけがなく。執行部をはじめとする経済学



【実践的教育を行うための連携・協力に関する覚書について】  
〈厚生労働省和歌山労働局との覚書締結 H26.9.29〉



覚書にもとづき、和歌山労働局による寄附講義「労働行政実務」が開講され、「働く」というテーマをめぐって、労働行政の最前線で活躍する労働局の方々が、交替で講師をつとめています。

部の教員や事務の方々、和歌山県をはじめとする県内のいわゆる「産学官金労言士」の数多くの組織やその関係者の方々、くわえて、社会の第一線で活躍されてきた、また、活躍されている柑芦会の会員の方々、皆さんの支援無くしては、いずれの取り組みも実を結ぶことは決して無く。実践的な教育の場を学生に提供するため例えば、多くの組織と教育上の連携を結ばせて頂きました。2014年からは新入生を対象とした経済学部新入生合宿研修プログラムを開始して、この実施には紀南地域、特に田辺市の関係者の方々には多大なるお骨折りを頂きました。

このように多くの組織や関係者の皆様の存在があって、経済学部の改革が進められたわけ

ですが、母校に対する並々ならぬ思いを胸に抱かれている柑芦会の皆様方には、経済学部のあり方を継続的に検討する経済学部懇談会の場のみならず、地域ごと、期ごとなど、様々な形で特段のご指導、ご鞭撻を賜りました。心より感謝申し上げます。

2017年4月から当方は他大学に転出いたしました。その後も経済学部は大学院改組など、さらなる前進を続けられていると伺っております。経済学部が次の100年においても輝く存在であり続けること、くわえまして、柑芦会のさらなる発展、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしております。

〈和歌山県土地家屋調査士会との覚書締結 H27.1.27〉



覚書にもとづき、「国家基盤づくりに係る土地・家屋の調査」が開講され、土地家屋調査士7名が交替で講師をつとめます。講義では、将来の就職先である、官公庁、金融関係、法律関係、またそれに属さなくても、社会人としての最低知識として身につけてほしい不動産にまつわる手続きや仕組み、法律を土地家屋調査士会の立場から解説します。

# 在任中(経済学部長として)の思い出

第35代学部長 足立 基浩

1922年にスタートした和歌山大学経済学部。2022年で100周年を迎えた。国立大学で経済学部の歴史が100周年を迎える大学は全国でも少なく、日本の発展に寄与した様々な人材を輩出してきた。まずは、これまで、本学発展のために尽力されてきた、教職員の皆様、OB・OGの皆様、また様々な地域関係者の皆様に感謝申し上げたい。

さて、私が学部長時代のことを振り返るとのお話を頂いたので、以下、この点について述べさせていただきます。

私は1996年に和歌山大学経済学部に助手として採用され、就職2年目にして柑芦会の助成金を受け、ケンブリッジ大学への留学もさせて頂き、その後Ph.D(博士号)を取ることができた。以降この貴重な体験を恩に感じ、和歌山大学での教育に役立てたいと思った。

2001年から2019年までの、ほぼ毎年、私のゼミの学生をイギリス、ケンブリッジの夏休みの語学留学を体験してもらう(9月に3週間留学)ためにイギリスまで引率した。

また、私の専門分野が商店街の活性化、まちづくりがテーマなので、中心市街地のぶらくり丁商店街で空き店舗を借りてカフェを運営するなどを実施してきた。おかげさまで、これまで全国的にその名前が知られることになった川田裕美さん(アナウンサー)をはじめ、アナウンサーが計3人、ジャーナリストとして共同通信記者の藤原崇志君、公務員合計20人(総務省の官僚を含む)、その他三菱UFJなどをはじめとする金融機関への就職、ロンドン大学への留学生合計10人、等を達成してきた。2004年にはまちづくりカフェの試みが関西のビジネスコンクールで優勝もした。大学教員も2名誕生している。

2015年4月1日から2017年3月31日まで、経済学部長の任を仰せつかったが、私が注目したのは、少人数教育と地域教育であった。私自

身が私立大学出身ということもあり、国立の少人数教育の素晴らしさを知った。そこで、「4年間にわたる連続的な少人数教育」を徹底化し、1年次は基礎演習(15人程度)、2年次は発展演習(同じく15人程度)、3年生、4年生はゼミ(10人から12人)と「シームレス」な教育を展開した。

また、和歌山大学の強みは地域貢献であり、引き続きぶらくり丁などで商店街活性化事業を行い、また、国際的な視点からアグリビジネスの授業展開の必要性を考え、アグリビジネスに関する特別推進室を作り、フランスからかつての友人のリアンドロ氏を招へいして、アグリビジネスに関する特別授業・シンポジウムを実施した。

学部長退任後は、地域活性化センター担当(2017年、2019年)、紀伊半島価値共創基幹での担当(2020年、2021年)の任につき、今は国際連携部門で副学長として働いている。

その後、嬉しいことに、2019年6月6日発売『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学2020年版 就職力ランキング』巻頭の、有力企業が評価した「いい人材が育つ大学」特集内にて公表され、「大学取り組みランキング」のうち「地域の産業・文化に貢献している」大学1位に選ばれたことはうれしい励みとなった。

少人数教育で、きらりと光る地域教育。経済学に限らず、社会学や言語、政治学や歴史、方角などありとあらゆる社会科学分野が学べる伝統ある和歌山大学。これからも、あと13年と残り少なくなった教員生活の中、学生と教職員とともにさらなるエッジの効いた教育活動ができれば幸いである。



## 次の100年に向けて思うこと

第36代学部長 藤永 博

同窓会誌「柑芦」第53号の経済学部創立100周年記念の特集に寄稿する機会をいただき、ありがとうございます。学部長在任中(2017年4月から2019年3月まで)の思い出等を書くよう仰せつかりました。まずは、在任中に賜りました多大なご支援ご鞭撻に対して感謝申し上げます。支部総会には何度も参加させていただき、柑芦会のみなさまと親睦を深めることができました。学部長在任中の楽しい思い出のひとつです。産学連携による大学改革は在任当時からの重要な課題であり、みなさまからのご助言はたいへん参考になりました。

学部長在任中はいろいろなことがあり、思い出として綴るのはたいへん難しいです。そこで、在任中をふりかえり、また創立100周年を迎えるにあたり、100年後の大学、100年後の世界に想いを馳せて、今あらためて強く思うことを述べたいと思います。それは「長期思考」の重要性です。

極端な「短期思考」が現代社会を覆っています。私たちは極めて短い時間軸でしか物事を考えられなくなり、将来世代を想像することは難しくなっているのではないのでしょうか。短期的に成果を求められる現代においては致し方ないのかもしれませんが。こうした傾向に警鐘を鳴らしたのが、文化思想家のクルツナリックです。彼は著作『グッド・アンセスター』(あすなろ書房)で、わたしたちは「よき祖先」になれるかと問いかけています。彼は長期思考(次の世代に利益をもたらす行動をとり、世代間の公平性を向上させようとする考え方を社会規範とするためには、基礎となる社会の構造を変え、長期思考を促す行動様式を醸成する必要があると述べています。大学教育においてもそうした議論ができ

るようになってほしいと思います。

今日の多くの課題は、自分の人生を超えた時間軸で物事を捉えなければ解決できなくなっています。幸いなことに人類には100年先を想像する能力があるといわれています。100年は祖父母から孫までの世代が同時に生きることができるタイムスパンです。世代内の議論だけではなく、時間軸を拡大した世代間の議論を促し、さらに時間軸を「ずらして」長期思考(7世代思考)を繋いでいくことで、私たちはみな「良き祖先」になれると思います。

不確実性が高まる世界で、長期思考は容易ではありません。そのような状況でも将来に向けて現実的な取り組みを続ける必要がある分野では「順応的ガバナンス」が有効と考えられています。今後の大学でもそうではないでしょうか。特に、限られたリソースの中で「複数性・冗長性(余裕/予備)」や「多中心性」を保っていくことが重要ではないかと思います。これらが保たれるレジリエンスの高い大学は、100年後も社会で重要な役割を担い続けていると思います。柑芦会のみなさまの益々のご健勝を祈念して筆を擱きます。



# 経済学部を経路依存リスクと今後の成長

第37代学部長 マグレビ・ナビル

経済学部は、100年という長い歴史の中で、日本の経済と人類全体に利益をもたらす研究を通じて人材を育成し、知識を進歩させるという重要な使命を果たしてきました。現在の人口動態と社会の変化、技術の進歩、経済力学の変化により、教育は前例のない方法で変化しています。経済学部にとって、新しい経済ダイナミクスの重大な影響を理解し、それに教育および研究プログラムを適応させることが重要です。柑芦会の皆様にもアンケートで協力いただき実施しました経済学研究科改革(2021年)の主な目的は、経済システムの変化するダイナミクスに対処し、人類の未来を形作ることができる新しい世代の意思決定者とビジネスリーダーを育成することです。

経済学研究科の戦略的改革計画は、私が経済学科長を務めていた2年間の任期中に提出された草案に端を発しています。学生の需要とキャリア経路の見通しに関する概念的な議論と証拠の収集を含む1年以上の準備作業の後、改革計画は2020年6月にほぼ無修正で文部科学省によって承認されました。2021年4月から、新たな教育研究プログラムにおいて、グローバル政治経済に加えて、エネルギーおよび金融に関する重要なセクターでの研究機会を提供しています。これらのプログラムは、日本の国立大学の経済学研究科でもユニークです。その唯一の存在理由は、経済の非常に重要な分野で将来の課題に対処できる人材に対する社会的ニーズを満たすことです。この改革は、エキスパートコースにも適用されます。これは、大学院プログラムと学部プログラムの間の必要な連携を構成し、労働市場で予想される変化に戦略的に適応することにより、将来の成長のための強固な基盤を提供します。

改組計画は、既存の経済学や経営学といった個別の学問分野によって推進される教育プログラムから、動的で知識に基づく社会で必要とされる分析スキル、問題解決スキル、批判的思考力、およびリーダーシップスキルを学生に身につけるように設計された学際的なプログラムへの根本的な移行を意識しています。これは、教育と研究の卓越性に対するすべての教員の強いコミットメントの明確な証

拠です。これもまた、忍耐と献身をもって改組に関連する諸課題に取り組んだ阿部秀二郎教授と竹内哲治教授をはじめとする教職員の多大な努力がなければ不可能だった改組です。

さらに、運営交付金の減少および教員一

人当たり学生数が増大し、学生教員比率も悪化するなか、学部における教育研究を確実に実施するため、業務効率性を高めるため、各種委員会を機能に基づいて設置しました(教育会議、企画会議、新設した研究推進オフィスを含む研究会議)。合議制の意思決定と情報共有のため、学部教育研究評議会も設置し、柑芦会をはじめとする教育機関・企業の経営に豊富な経験を有するステークホルダーによる経済学部アドバイザーボードも設置しました。これまでアドバイザーボードの委員長を務めた元学長・元経済学部長・故小田章氏の経済学部の成長に向けた献身的な努力に感謝の思いを留めておくことは重要です。

他の教育機関と同様に、2020年初頭の新型コロナウイルス危機の発生に対応して、感染を予防し、実行可能な教学・学習環境を確保するために必要な対策を実施することに重点が置かれました。国際教育フェアへの参加や企業訪問など、改組後教育研究プログラムを支援するために必要な措置を含む優先事項にとって移動制限は大きな影響を与えました。この状況の中で、改革の勢いを維持するために、初めての博士課程設置検討委員会を設立し、様々な意見を集約しながら、改組後修士課程の教育研究プログラムを自然に引き継ぐ博士課程の立ち上げの見通しを検討する任務を負うこととしました。学生の需要に関する証拠に基づく建設的な議論に基づき、2021年3月に議長を務めた最後の教授会で、教育と研究の連携を強化する博士課程設置推進委員会を設立することが決定されました。

新型コロナウイルスに伴う困難にもかかわ



らず、高等商業学校の歴史を持つ12の大学の年次総会を、和歌山大学会場での対面とオンラインの両方を用いたハイブリッド型で開催することもできました。すべての会議を東京で開催するという数年来の方式からの明確な決別であり、ホスト大学のキャンパス内で将来の会議を開催するという提案は満場一致で受け入れられました。教員が将来の課題に対処するためにより良い立場に立つためには、さまざまな利害関係者との重要な関係を強化することが重要です。柑芦会は、経済学部の唯一の最も重要なステークホルダーとしての議論の余地のない地位を証明してきました。同窓会は、経済学研究科に入学する専門コースの学生のための新しい奨学金を提供することに同意しました。競争力のある戦略的な同窓会奨学金制度は、優れた学生が経済学の大学院でさらなる知識を獲得し、批判的思考と分析能力を向上させるため、新たな動機インセンティブを提供するため、進行中の大学院改組の不可欠な部分です。北村修一柑芦会会長のリーダーシップにより、柑芦会奨学金制度は設立されました。皆様のご尽力に感謝いたします。

今後は、重要な問題解決スキルをさらに向上させる必要があります。そのために、教育と研究の卓越性に向けた将来の取り組みは、意思決定科学の概念に基づく新しい統合博士号プログラムの立ち上げに焦点を当てる必要があります。隠されたパターンを発見し、膨大な量のデータから有用な情報を抽出するには、データサイエンスが必要ですが、意思決定科学は主に、判断、好み、選択に基づく不確実性の下での情報に基づいた意思決定に関係しています。意思決定科学の基礎は、人工知能、機械学習、オペレーションズリサーチだけでなく、経済理論、経営科学、行動科学、認知心理学、ベイジアン確率論、統計的予測と直感などにもあります。意思決定科学に関する学際的な博士課程を新設する機会が必要です。さまざまな理論的、分析的、技術的、科学的背景を持つ学生を引き付け、個人および組織の意思決定を改善し、複雑な問題を解決できる人材を育成する可能性があるからです。

最後に、教育と研究の卓越性への献身の世紀から重要な教訓を引き出す必要があります。教員が20年足らずでほぼ半分に減少しました。この過去は常に未来に長い影を落とします。また、これまで60年以上にわたり、修士課程を修了した人材の優位な能力をさらに引き出すための博士課程を設置できなかったことは、創造的な社会を切り開く人材を育成する高等教育機関のプロとして、世界的に存在している社会的需要の明確な証拠を考えると、恥ずべきことです。何もしないことは失敗に結びつく可能性が最も高いので、静的な経済学部には将来がありません。動的経済・教育システムに対する受け身の運用による失敗のマネジメントに喜びもありません。将来の成長は、前向きな考え方で新しい投資によってのみ達成できることは明らかです。次世紀の経済学部の未来を形作るのは、教職員をはじめとするすべてのステークホルダーの野心、コミットメント、結束の程度です。経済学部の今後の成長は、経済を理解し、革新し、進化する能力にかかっています。教育研究プログラムが定期的に改善され、治療が最適な量で行われない限り、断続的な改革は痛みを伴い、一貫性がない可能性があります。

教育機関にとっては短い一世紀にわたって、経済学部は世界戦争時代とその前後の不確実な状況を切り抜け、多くの岐路に直面しなければなりません。おそらく、正しい道が何であるかを知ることは、必ずしも難しいことではありませんでした。しかし、常に正しい道をたどったわけではありませんでした。それが調和のためであるか、大変な努力と強い原則を必要とする困難な経路だったという理由だけでしょう。重要な分岐点を間違えると、経済学部が制限された成長または絶滅の道を進むという経路依存のリスクが高まることを認識することが重要です。一世紀の歴史の経済学部が旅を続け、その高貴な教育的使命を追求するつもりなら、将来の問題解決できる人材とリーダーのゆりかごとして浸透させることを宣言する、まさに勤勉と誠実さの精神を示さなければなりません。

# 経済学部100年史の編纂委員長として

経済学部教授 長廣 利崇

1922年の官立和歌山高等商業学校の創設から100年を迎えました。これを契機に経済学部の100年史を刊行する気運が高まり、2021年10月から私を編纂委員長とし、他に4人の教員を編纂委員とした執筆事業がスタートしました。2023年度中の刊行を目指して、編纂委員一同、執筆に取り組んでおります。100年史の構成は、第1章：高等商業学校-1922～1945-、第2章：経済学部の設立と拡張-1949～1990-、第3章：新しい役割を求めて-1990～2022-、第4章：大学院教育、第5章：短期大学部から夜間主コースへ、第6章：就職の100年、第7章：教育・研究のスタッフ、第8章：柑芦会編、第9章：思い出、資料・年表を計画しております。第8章に関しましては、柑芦会の皆様方から執筆して頂くことになっております。また、「思い出」については、本学部の名誉教授より在職中の経験を語ってもらっております。

『和歌山大学経済学部五十年史』、『和歌山大学五十年史』、経済短期大学部の『20年のあゆみ』、『四十一年の歩み』などがすでに刊行されていますが、今回の編纂では、1922年の高等商業学校の設立から現在までの100年間の歴史をあらためてまとめることになりました。『経済学部五十年史』には、1970年代後半までの経済学部の歴史が詳細に記述されておりますが、この成果を活用しながら、写真を含めた新しい史料を加えて、100年の経済学部の歴史を



俯瞰することは、教職員・卒業生のみならず、日本の大学制度を考える上でも重要なことだと考えております。

編纂にあたっては、学術の流儀を維持しながらも、多くの人に分かりやすい形で歴史を描くことを心がけております。ここでいう学術の流儀とは、歴史分析の手法となります。歴史を明らかにするという事は、文書史料を批判的に検討して、唯一の事実に基づくことを意味します（他の考え方もありますが）。経済学部にも所蔵されている、『経済学部五十年史』、『和歌山大学五十年史』などにおいても使用されていない史料を活用して、経済学部の100年史を描くつもりです。

しかし、史料制約によって分からないこ

とも多くあります。一般的に歴史史料は、身近なものほど散逸する傾向にあります。大学史を執筆する上で、当時の時間割や授業要目（講義要項ともいわれ、現在のシラバスに該当）などの誰もが使っていたものが散逸している状況です。一部の授業要目が和歌山大学の大学史資料室に所蔵されていますが、授業内容まで立ち入った叙述をしようとする時、さらなる授業要目の搜索、もしくは代替する史料の収集が必要となってきます。さらには、大学の学びと研究の基盤となるゼミナールの活動動向も詳しく分かりません。学生の執筆した雑誌記事からゼミナールの実態が把握できるものもありますが、量的には十分なものとはいえないのが現状です。

よく知れ渡っている事実でも妥当な根拠がないものもあります。ここでいう妥当な根拠とは、文書史料に基づいた証拠です。歴史の事実を確定する際には、裁判における証拠のような確固たる文書類が必要とされます。例えば、1962年に購入が決定したMADIC-IIA電子計算装置は、和歌山大学経済学部における産業工学科の創設に寄与するのみならず、現在の情報学教育・研究の基盤を構築したものでありました。この電子計算装置の購入は、経済学部後援会の寄付によるものとされていますが、私が確認した文書では「代金2145万円の中、1000万円は大学から支払い、残

金1145万の中、279万円は松下通工、866万円は松下電器の寄付になる」ことが記述されているにすぎません。「1000万円」が経済学部後援会から寄付されたと思われませんが、これを明示する帳簿類や領収書などの文書史料が見当たりません。お金の史料や契約書は、比較的残る傾向にありますので、調査が必要です。

『経済学部五十年史』が執筆された1970年代には、経済学部後援会からの寄付は当然のことであったと思われませんが、時が過ぎれば、当時の状況を知る人も少なくなってきました。口伝のみでは事実を再現することができないため、文書史料の収集と保存が求められます。この100年史編纂事業を次の「150年史」の編纂委員につなげるためにも史料の保存は、必要となるでしょう。

E. H. カーによれば、歴史は、「現在と過去とのあいだの終わらない対話」とされます（E. H. カー『歴史とは何か』近藤和彦訳、岩波書店、2022年、43頁）。現在に生きている限り、現在の状況が史料の分析に影響を与えることとなりますが、過去、すなわち、史料との対話を通して、より客観的な大学の歴史を描くことを心がけております。

このようなスタンスで100年史の執筆に取り組んでおります。刊行の際には、是非とも手にとって頂ければ幸いです。

# 和太経済学部と私の4年間

大7 松原 徳一

和歌山大学経済学部100周年おめでとうごさいます。卒業生の一人として誇らしく嬉しく思っています。このような素晴らしい歴史の片隅に自分の四年間もあったのだと思えば感慨もひとしおです。米寿にも近い年齢にもなりましたが、和歌山大学経済学部は私にとって人生のすべてを決めてくれた貴重な四年間でもありました。

私は昭和29年(1954年)4月、6期生として入学を許されました。入学当初の第一印象は率直に言って古色いっばいの古びた校舎だなと思いました。ただ反面どっしりした風格がある建物だなと思ったことも事実でした。先輩からは立派な図書館を早く見ておけと言われたことを思い出します。

当時の大学は数年前の学制変更で新制大学になってまだ日が浅く、大学の将来はこれからだという活気と雰囲気がありました。教授陣も若く新進気鋭の方々ばかりで、高商・経専から受けついで和太の経済学部は我々が守り新しく創り上げ発展させるんだという気概が溢れていました。授業内容も高度で、マルクス経済学と近代経済学が相拮抗し、われわれ学生も俺はマル経派だ、君は近経派だと息まいていました。教室ではマルクス、ケインズ、シュンペーター、サムエルソンなど初めて聞く言葉が飛び交い、田舎出身の新入生には新鮮でしたが難しくついていくのが大変な毎日でした。一方で商法や民法、労働法や手形小切手法、商業簿記なども教わり社会人になってから和太で教わった実学は大いに役立ちました。三年生になりゼミナールを選ぶことになりアメリカ留学から帰って来られた馬場先生と杉浦先生のゼミに入り「経済変動論」を勉強しました。

大学4年間は下宿生活でした。食事は校内にあった「三食食堂」で朝昼晩といただきました。学校の補助があったと思いますが安い食事代で助かりました。夜は近くの銭湯に行

き、大半のお客は和太生ばかりでしたから浴場内でロシア民謡を大合唱していました。運動部の部活にも誘われましたが家庭教師のアルバイトが忙しく残念ながら参加できませんでした。

授業が終わると二流の映画館で三本立の映画を見たり、夜は悪友たちと麻雀をして屋台のラーメンを食べに行ったり、運動クラブが資金集めのためダンス会をするというので社交ダンスを習いにも行きましたが物にはならず直ぐやめました。かなり勉強をしましたが遊びも覚え充実した下宿生活を満喫しました。

四年生になり就職活動ということになり、ある会社を受験しました。最終面接まで残り合格間違いなしと思っていたのですが、身体検査で肺浸潤と診断され不合格となりました。就職担当の宇佐美先生も就職どころではない、直ぐ帰郷して療養に専念しろと忠告を受けました。一年後の就職活動のためには卒業せず大学に籍を置いておくと助言も頂きました。6期生に入学したのが7期生になりました。一年間の療養生活を終え幸い翌年就職することができました。

入社した会社では色んな職種を経験しました。その間に経済学部時代に培われた前向きに考える進取の気持ちと好奇心がいろんな場面でも力になりました。お蔭で沢山の友人知人ができました。しかし卒業して六十数年になりつくづく思います。若き日を和歌山ですごした同窓の絆は最高です。柑芦会の大坂支部長や柑芦会長をさせて貰い、現今では6期生の友人たちと毎月顔を合わせてダベッています。私と和太経済学部のつながりは生涯忘れられません。



## 未来志向で全学同窓会の確立を

大10 橋本 一男

大相撲の番付表をみるような大学ランキングが毎年のように発表されています。母校の社会的評価に強い関心をもつのは多くの同窓生も同様と思いますが、ときには焦燥感を抱いたり、ときには納得感に浸ったり心境は複雑です。

嘗ては金融界をはじめ主要な分野で業界のリーダーとして多くの同窓生が活躍し、その存在感も高く大学への誇りを強く感じていたのは筆者だけではありません。

社会が複雑化グローバル化する中で求められる価値観も変化してきました。価値観の多様化によって自己実現の選択肢も広まり大学の評価も一様ではありません。大学自身の社会へ果たす役割も法人化以降は特に厳しく評価され、その存在すら問われる時代を迎えています。

「あなたの人生をいつまでも応援する大学」は、いつの世までも輝き社会に貢献する大学として残在することを理念とした山本学長時のコンセプトでした。大学独自の高度な成長戦略と実践は勿論のこと、その実現にはOBの関与もまた欠かせぬ要件です。両者が一体となつての取り組みが必要です。数年前、統一全学同窓会組織の立ち上げが提議されまし

た。その後、議論の進展はなく立ち消え状況を危惧しています。同窓会としてより一層の大学支援は不可欠であり、大学の成長戦略に加担し尽力していくことは大きな役割の一つと考えています。それには同窓会の財力強化策が必要です。大学の知名度の向上は、それがそのままOB組織の活性化の原動力になります。

小規模大学なればこそ機能を集中し同窓会の資金効率を高めるための財政的な一元化を構築し支援体制を固めていくことが重要と考えます。寄付を前提とした基金依存には限界があり新しい対策が急務と考えます。

学部によって生き立ちも、活動内容も、組織化率も、フォロー体制もすべてに違いはあっても、英知を結集することで学部独自の組織を残しながらも財政基盤確立のための強靱な全学同窓会の樹立は可能です。一種のホールディング構想を次世代への大きな課題として認識し前向きに取り組んでほしいと願っています。



# 新たな地平線を目指して — 建学100年に思う —

大11 宮本 正

## 激変する世界

・1990年代初頭、山手線内の地価で米国買収が可能とされ、ロックフェラーセンターも買収したバブル景気崩壊。以後GDPは30年間ほぼ横這い。世界シェアも90年代の20%から05年10%、現在は5%へ低下し、貿易シェアも同様。雇用者賃金は韓国の後塵を拝し、英国病ならぬ日本病に到る。人口は2010年をピークに減少、少年は41年連続減、高齢者は48年連続増。資源獲得の為、世界交易の場への出品も、最後の"自動車"がEV化で危うく、『次』の控えも無い！。

・情報通信と物流機構の簡便・低価格化は、利益増大を求めてGlobal経済へ一直線。日産の海外部品は、中国製を筆頭に遠くはルーマニアからも。だが、前提条件が消失するや、目指した"全体最適解&高生産性"が"個別最適解"をも分解。コロナ・パンデミック;疑似第3次世界大戦のロシア・ウクライナ侵略を、誰が想定し得たか？。

・"我欲膨張と人口増"が続く限り多様化＝分裂は進み、CHAOSは拡大。国家債務のGDP比は250%超とダントツだが、坂本龍馬・勝海舟が構想し、新戸部稲造が"武士道"で諸外国に説明した日本を目指して再構築行動！

## 経済学が目指すべきモノ

・経済学は社会科学、社会の問題課題解決に機能せねば、いずれは淘汰に。経済構造の解析や理解が最初の段階であり、原論。次は構成因子の挙動解析から、影響度や先付きの予想分野へ進み、仕組化の計量経済。道具のデータサイエンスやAIも登場。次の段階は、社会の因子と経済の因子の相互影響度;相補

関係の解析の動的平衡。現実Dataから動的に解析する段階は、近時のノーベル経済学賞の"行動経済学"。科学は現場のDataに基づく解析;仮説形成;再現性検証で成立が原則。

・和歌山大学、その地特有の自然;文化を基礎に置くことが、その特異性から他者に伍して社会に貢献し、東南アジアとの連携へ連なる。

・問題も解決策も現場に在り、現場主義と実践主義に立脚して！

## 学生諸君の実践力向上を

・大学生、次の世界を引き受け、更に次世代へバトンタッチする為の、助走期間。

学問・読書は、視野を広め展望を開き、時空を超えて精神世界を豊かにする。だが、得た構想も社会で具現化されてこそ生きる。思考はロゴスであり、抽象世界。実現は人間社会での具象化作業、必要なのは人間を動かすパトス。喜怒哀楽驚恐怯狂。

・学問は必要条件、他者の協力が充分条件。人間＝パトス理解は自己体験が最適。若人の逆境経験(地獄を覗き込む)は、後で効く！

・それらの一助に"リベラルアーツ"。大學教養課程で習った"論理学"や"美学"が、私の人生を如何に豊かにしたことか！私の指針、己の事は己で;他人に迷惑をかけない;人は人・己は己;分を識る(己の座標位置を知り責務を果たす)でした。



## 和歌山大学経済学部創立100周年を祝う

大15 原 良也

気付かない内に、卒業して半世紀が過ぎました。折に触れ、学生時代を懐かしく思い出すこの頃です。和歌山市駅で下りて、お城のお堀に沿って走る路面電車に乗り15分、木造三階建ての校舎に到着。経済学部は階段教室だった。その校舎は半世紀に渡る歴史が刻まれているような風格があった。

和歌山大学経済学部は、高商時代から現在の経済学部に至る伝統のある学部として長く紹介されているが、その伝統とは、一体何だろうか。和歌山高商の建学の精神とは「人をつくる。真の人をつくる。品格たかく責任感ある堅実重厚な人をつくる。自分自身の幸福を追求し人生を幸せにする教育」であった。歴代の学長はこの精神を継承し発展させ、和歌山大学の教育の柱とし、人間力のある人材育成を行っている。

卒業後の私の生き方や、これ迄の人生に最も影響力を与えたのは、和歌山大学経済学部とりわけゼミナール時代の担当教授だった。「真に人間力のある人間となること、人生を豊かに、幸せを追求する」と、ゼミの経済学でも教わった。私は社会に出てから、お陰で自己実現が出来たのは幸いでした。



現在の卒業生の就職率は高く、在学生在が思うよりも社会人となってからの評価が遥かに高いのは嬉しいです。今や企業は、有形資産より無形資産つまり人材資産に企業価値を置いてその向上を図っている時代です。社会人には、人格と能力と努力の掛算が求められているのです。

私は数年間、お世話になった母校の後援会長を務めさせて頂きました。これから始まる新たな100年も和歌山大学は、社会が求める人間力のある人材を育成輩出し続けることを祈念致します。

## 和歌山大学経済学部 これからの100年に向け

大16 青柳 明雄

100年の歴史を積み重ねてきた和歌山大学経済学部であるが、私が籍を置いたのは建学後40年がたち、新制大学としての落ち着きも滲み出ていた昭和39年から43年であった。つまり100年の真ん中あたりに位置している。昭和39年は、東京オリンピックが開催されたり東海道新幹線が開通したりして、日本中が明るい雰囲気にもまれていた年である。もっともオリンピック後の経済不況によりこの頃卒業された先輩方は就職にご苦労されたという事実もあるのだが、社会全体には活気が満ちていたのである。その時代・風潮を反映していた所為か、経済学部には何か未来志向的で伸び伸びした雰囲気があった。

浪人経験者が7割近くを占めていたと記憶するが、昨日まで親の庇護を受けて育ってきた新入学生にとって、急に大人扱いされて社会に放り出されたような大学での生活環境としては、洵に申し分のない高松キャンパスであった。加えて、それまであてがい扶持的だった受講科目を自ら選択できる大学生活は刺激的だった。和歌山の陽光と城下町の雰囲気は青春を謳歌する若者にとって最高のものであったと記憶している。

在学中は余りその認識がなかったのでお恥ずかしい次第だが、錚々たる教授の方々がおられたことも幸せであった。また和高商初代校長の岡本一郎先生から連綿として伝えられてきた建学の精神がしっかりと息づいていたことも有難いことであった。つまり今でいうビジネスマンたる前に、一人前の信用される人間になれるという教養は重みがあった。

和高商といえば創建時に旧紀州徳川家から多額の寄付を頂戴したのだが、その学び舎の初代校長が旧長州藩岩国出身の岡本先生であり、加えて学んでいる私自身のルーツが越後

長岡にあったのだから、何か幕末を思い出させるような面白さも感じていたものである。

ところで永い歴史とともに経済学部もいろいろ改革成長されてきた。また時代の要請に応じて新たな学部創出の母体となり、今の和歌山大学の隆盛に寄与されてきたのは間違いないところであろう。経済学そのものも第二次大戦を境にして世界的に大きく変貌を遂げてきたのだから経済学部も日々改革変貌していかなければならない。さらには社会からの経済学部に対する期待も日々変化しているのではないだろうか。ただ一つだけ言えることは有名な石田梅岩の石門心学ではないが、道徳力を身に着けた優れた人材を輩出して欲しいという基本的な要請は、未来永劫不変のものであるに違いない。和歌山大学経済学部として今一度その使命を噛みしめて頂きたいところである。

このように時代に即して変貌し成長し続ける経済学部を側面から支援し、且つ自らの心の拠りどころとして集うことのできる同窓会である柑芦会も成長し続けなければならない。同窓生が何を柑芦会に期待しているか、同窓生が年々変化していくのと同様に変化を読み取る努力が必要であろう。魅力のある同窓会として成長し続けられるため、同窓生の皆様のご尽力が必要であることは論を待たない。和歌山大学経済学部ならびに柑芦会が新たな100年に向けて、力強く一步を踏み出し発展されることを祈念するものである。



## 名刺広告の御礼

相芦 編集委員長 穂永千秋

柑芦会の大きな節目となる100周年記念を盛り上げるため、お互いの元気な近況を、柑芦誌を通じて発信していただきたく、今号で特別版の名刺広告を企画・募集いたしました。その結果、皆様方からたくさんの応募をいただきましたこと、柑芦編集委員一同、心より厚く御礼申し上げます。

坂本 <sup>すすむ</sup> 漸

大8期

クラブ：なし ゼミ：本田ゼミ会計学研究会

〒640-8471 和歌山市善明寺403-2

TEL 073-451-8480

携帯 090-8938-3786

和田 壽郎

大14期

クラブ：マンドリンクラブ・剣道部

ゼミ：三上ゼミ

本年9月満80才を迎えました。15年来、社団法人の事務局長を委託されていますが、続行の要請を受けもう少し頑張るつもりです。

中田 <sup>ナカタ</sup> <sup>キヨシ</sup> 陽之

大15期

クラブ：硬式野球部 ゼミ：石外(民法)

〔歴任〕基金室初代顧問、硬式野球部監督、学生野球連盟役員  
〔最近の趣味〕柑芦会川柳会員、生駒第九市民合唱団員など

青柳 明雄

大16期

クラブ：バスケットボール部 ゼミ：野瀬ゼミ

経済学部創立100周年を心よりお祝い申し上げます。母校ならびに柑芦会の末永き発展をお祈り致します。

## 渥美 正道

大16期

クラブ：柔道                      ゼミ：佐野先生

経済学部創立100周年おめでとうございます。

## 見方 益孝

大16期

クラブ：柔道部                      ゼミ：安藤

## 浦 義弘

大17期

クラブ：剣道部                      ゼミ：宮本義男

柑芦会本部事務局長(2019年5月～現在)、大阪支部幹事長(2010年5月～2014年4月)、大阪支部人生塾実行委員長(2008年5月～2010年4月)

## 穂永 千秋

大17期

クラブ：硬式テニス部      ゼミ：吉田昇三先生

集まろう！  
楽しもう！  
笑い語ろう！

## 吉田 和宏

大17期

クラブ：テニス部                      ゼミ：北原貞輔

転勤都度(名古屋・大阪・東京・広島・徳島)柑芦会各支部に入部させて頂き、夫々、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

## 井上 俊一

大18期

クラブ：マンドリンクラブ      ゼミ：浅野徹先生

銀行を定年退職後、コンサルタント業を開業。(一社)三重県中小企業診断協会会長、中小企業診断士、日本生産性本部認定経営コンサルタント

## 北村 修一

大18期

クラブ：ワンダーフォーゲル部 ゼミ：中山隆次

母校の創立100周年をお祝いすると共に、さらなる発展を祈念申し上げます。また、皆さまと共にそれを力一杯ご支援してまいります。

## 吉野 精一

大18期

クラブ：硬式野球部 ゼミ：石外

日本酒 & ワイン、リール食堂  
北区堂山町 7-16 喜多八ビル 1F  
(梅田)  
06-6314-0603 (次男がオーナー)

## 石川 和彦

大19期

クラブ：将棋部

和将棋部は1965年に誕生。2013年に50周年のOB会を開催。現在、60周年を企画中。和将棋部HPを見てください！

## 伊藤 僚一

大20期

クラブ：書道部 ゼミ：神野

2015年6月リタイヤしました。  
趣味のゴルフ通じて柑芦会の皆様とも親睦を深めております。

## 辻 均

大20期

クラブ：硬式テニス部途中退部  
ゼミ：産業工学科鈴木ゼミ

大学卒業後東急不動産入社 31歳で神戸にて不動産、住宅建築業を起業  
リタイヤ後主宰する和太鼓集団に注力 諸々の趣味で余生謳歌中

## 平林 義康

大20期

クラブ：弓道 ゼミ：宮本

次の趣味の会同好会に所属しています。皆さん一緒に活動しませんか。柑芦会俳句の会「芦火」。柑芦会川柳サークル。ヨガレッスン同好会。

## 萩原 謙

大21期

クラブ：硬式テニス部 ゼミ：北原ゼミ

祝創立百周年！卒業後50年。ゼミと部活で得たことはその後の人生の糧となり、退職後も生活を豊かにしてくれています。和大萬歳！

## サカクラ ユウジ 坂倉 裕司

大22期

クラブ：マンドリンクラブ ゼミ：北原ゼミ

経済学部創立100周年おめでとうございます。高松キャンパスで過ごした50年前の日々を懐かしく思い出しています。

## 島田 新市

大22期

クラブ：弓道部 ゼミ：杉浦ゼミ

四国電力卒業、現在香川県労働委員会使用者委員、趣味は登山とボウリング  
sshimada0459@docomo.ne.jp

## 西本 正人

大23期

クラブ：なし ゼミ：宮本義男

現在、大阪支部の幹事長として同窓生のお世話をしておりませんが、「今」があるのは、和歌山大学の「おかげ」と感謝しております。

## 垣見 祐二

大25期

クラブ：新聞会 ゼミ：宮本

2019年3月会社退任後、和歌山大学経済学研究科の客員教授として、エネルギー関連の授業をしています。

## 毛利 恵行

大25期

クラブ：空手道部 ゼミ：広橋

田村秀明君（大25期）海南市議会議員選挙でのご当選おめでとうございます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

イトカワ マサヒデ  
糸川 公偉

大26期

クラブ：硬式野球部 ゼミ：小野ゼミ

硬式野球部の応援支援に感謝します。2022年4月から大阪支部長に就任。柑芦会皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

末廣 利明

大26期

クラブ：ハンドボール部 ゼミ：小野

現在、財形住宅金融株式会社（59歳からのセカンドキャリア）という住宅ローンの会社で企画とシステムを担当しています。

多田 昭弘

大26期

クラブ：ワンダーフォーゲル部 ゼミ：佐野ゼミ

柑芦会徳島支部会員、保護司、日本山岳ガイド協会認定“登山ガイド”～安全で楽しい登山のお手伝いをします～

丸山 藤允

大26期

クラブ：将棋部武道愛好会  
ゼミ：高嶋雅明先生

新聞会・将棋部・武道愛好会「花の霞に」を歌いつつ、学生の時を思いだす。松下会館・和歌の浦・片男波・高松の校舎がなつかしい。

公認会計士・税理士  
山中 盛義

大28期

クラブ：自動車部・写真部 ゼミ：杉浦ゼミ

和歌山支部の事務局を運営しております。支部活動にご協力下さい。

小林 淳

大30期

クラブ：フォークソング研究会  
ゼミ：藤田ゼミ(会計機械化論)

柑芦会東京支部長  
東京支部では定期的にメールマガジンを発行しています。配信希望の方は東京支部までメールでお申し込みください。tokyo@kourokai.org

## 平野 勝久

大31期

クラブ：なし ゼミ：矢野(近代経済学)

この伝統が次の百年に繋がりますように！大阪・副支部長の平野(大東市、橋本高出身)です。同窓会の活動は感謝と誇りをもって！！

## 岡田 治

大32期

クラブ：軽音楽部 ゼミ：浅野 敏

柑芦会大阪支部の副支部長を拝命し、微力ながらお役に立てるよう頑張ります。幅広い世代の会員各位のご参加をお待ちしています。

リオ税理士法人 代表  
(公認会計士 税理士)

## 小柴 学司

大39期

クラブ：絵画 ゼミ：森川

絵画部の親友とは、今も仲良くしており、OBの絵画を楽しむ会や神戸支部のヨガ同好会でも交流が広がり、嬉しい限りです。

## 佐藤 耕一

大46期

クラブ：なし ゼミ：森本吉春ゼミ

Petraf 合同会社  
代表執行役員社長  
Veap Japan 株式会社  
取締役会長

## 渥美 盛也

大47期

クラブ：柔道 ゼミ：牧野先生

経済学部創立100周年おめでとうございます。

## 秦 裕史

(みちる)

大50期

クラブ：テニスサークル「オレンジ」  
ゼミ：緑ゼミ「中尾研究室」

BB労務管理ソリューションズ  
代表(人事制度コンサルタント)  
大阪商工会議所 経営指導員

## 柑芦会 詩吟同好会 会員一同

高田敏之 (大 14)      吉川博司 (大 14)  
金子義明 (大 14)      和田俊雄 (大 14)  
足立邦雄 (大 15)      松江靖朝 (大 15)

柑芦会大阪事務所で月3回 (第2/3/4土曜日) 詩吟教室を開催しておりますので一緒に楽しみませんか?  
お問い合わせは、090-8755-2029 高田迄

## 柑芦会 (限定) 「川柳サークル」

代表：北村修一 090-9055-8287

ご存じのとおり「五七五」の十七音で表現する日本独特の定型詩です。日ごろはフェイスブックで投句し、お互いの作品を批評し合っています。皆さんもご参加されませんか。

## つれもて会

代表：小瀧 信 (20期)

和歌山弁の「つれもていこら」に由来する「つれもて会」は、柑芦会に数ある同好会の中でも最も古く、1958年に設立された当会は毎月1/回の例会が400回を超える歴史と伝統を誇っています。活動内容は町歩きや軽ハイキングが主体ですが、番外編では北アルプスや南アルプスにも挑戦しています。会員数は約50名ですが、新規会員も募集中です。お問い合わせは、本部事務局まで。

## 人事部会

(代表：北村修一)

2014年12月に設立された人事関連業務担当者による異業種交流会です。例会では同窓生同士ならでの「ここだけの話」が飛び交っています。

〈賛同者〉 岡田 治 (32期)、北村修一 (18期)、菓 英一 (46期)、  
佐藤耕一 (46期)、杉野博幸 (26期)、秦 裕史 (シス工院3期)、  
古田克利 (45期)、宮本真由美 (52期)、山口しのぶ (教育48期)

## 硬式野球部 ワキユウカイ 和球会 (OB・OG会)

会長 南 良和

経済学部創立 100 周年、誠におめでとうございます。平素より硬式野球部に多大なご支援をいただき、大変ありがとうございます。日本一をめざしております。引続き絶大なご支援をお願い申し上げます。



# 経済学部創立100周年記念事業について

和歌山大学経済学部は、大正11(1922)年10月に設立され、翌1923年4月に開校された和歌山高等商業学校をその前身としており、本年10月には創立100周年、来年4月には開学100周年を迎えます。

柑芦会といたしましては、この慶事にあたりこれを祝うと共に、母校の今後一層の発展を祈念して様々な記念事業のための支援を行うべく、「経済学部創立100周年事業実行委員会」(委員長: 芦田昌也経済学部長、副委員長: 北村修一柑芦会長。他に学部側4名、柑芦会側4名)への参画のほか、これに関連する各種事業に関しても物心両面で支援活動を展開中です。

現時点でのその概要は下記のとおりですので、皆さまにおかれましては「記念祝賀式典」へのご参加、「経済学部100年史」(仮称)のご購読など、是非とも格別のご参画ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 記

### ■ 経済学部創立100周年記念事業の概要:

1. 「和歌山大学経済学部創立100周年記念祝賀式典」の開催
  - ・日程: 2023年10月28日(土) <予定>
  - ・会場: 和歌山大学・栄谷キャンパス  
(または学外施設の利用を予定)
  - ・内容:
    - (1) 記念式典・・・
      - ・第1部: 口演「和歌山大学物語」(講談師: 旭堂南海氏)
      - ・第2部: 座談会「和歌山大学経済学部の今後の展望」(仮題)
    - (2) 祝賀パーティ・・・ 会費制
2. 「和歌山大学経済学部100年史」(仮称)の発刊
  - ・内容: 和歌山大学経済学部100年の歴史、これに関わった柑芦会の事業、等
  - ・体裁: B5判、糸かがり上製本、400~450ページ
  - ・頒布: 希望される個人、団体には有償で頒布予定(5,000円前後、未定)
  - ・時期: 2023年10月 <予定>
3. 「柑芦会EC奨学金制度」の新設 ※実施済み
  - ・内容: 大学院への内部進学者のうち成績優秀者を対象とする「給付型」の奨学金
  - ・人数: 各学年の3ユニットの最優秀学生各1名(2学年で年平均6名)
  - ・金額: 年間授業料の半額相当(27万円/年・人)・・・ 柑芦会から提供
  - ・時期: 2022年5月から2023年度分を募集中
4. 学術雑誌「研究年報」26号~「高商創立100周年記念特集号」(仮)~の発刊
  - ・経済学部によって1997年に創刊された「研究年報」は、2005年から経済学部の教授らで構成する「和歌山大学経済学会」に発行主体が移行され、昨年までに25号まで発刊されている
  - ・100周年記念号については、本年度中の発刊予定
5. 柑芦会機関誌「柑芦」の「100周年特集号」の発刊 ※22年10月発刊
  - ・本号(第53号)がそれにあたる
  - ・2023年10月の記念式典の成功に向け、その盛り上げを目的とした特集号とする

以上



## 小田先生と基金室などの思い出

大 15 中田 陽之 (元・基金室顧問)

確か2008年の秋のことでした。

小田近畿学生野球連盟会長からある球場の本部席で、大学法人化のなかで大学予算が3億円縮小されるため、基金室を設置するので「基金集めを担当して欲しい。」と言われました。

連盟理事長もその場におられたので、私は連盟理事を休眠状態にして、基金室勤務が内々定し、2009年4月基金室顧問就任しました。(2011年3月退任)。週2日の勤務でした。

早速、柑芦会の会合に出席し、会員の基金拠出を依頼するも、苦戦。当時企業はリーマンショックの真ただ中、人員整理をはじめ完全緊縮体制、さらに会員間の温度差がかなりあるのは事前の趣旨徹底が乏しかったからと思われた。

もし、当初に同窓会から基金担当顧問の推薦を受けておれば、同窓会内で候補者を選定する過程で趣旨が周知され、スムーズに寄附集めが進んだと思われる。その後、他大学の基金集めを見ていると、皆さん同窓会から適任者を選任しているもよう。

次に、基金室で用意された名

簿にしたがって訪問依頼開始。

基金室には、中田のあと大宮16見方氏、大経18北村氏(現柑芦会会長)、大経23西本氏と受け継いでいただき現在に至っております。ありがとうございます。

なお、私にはできない思い出をご報告し、先生のご冥福をお祈りします。

写真は、小田学長が近畿学生野球連盟(神戸大、大阪大、大市大、大府大、兵庫県大、大阪教大、奈良教大、和大多など18大学加盟)会長としてリーグ戦で始球式をされ、見事ストライクを投げられました。合掌。



## 小田章先生を偲んで

大 43 小田ゼミ 大阪支部 由井 幸枝

小田先生の突然の訃報に夫婦で驚きました。私は1991年4月に和歌山大学に入学し1995年3月に卒業、その間小田ゼミに所属しておりました。夫も同じゼミ生で、小田先生が亡くなられたと聞き、卒業後30年近くたっていることにも驚きました。

当時の小田ゼミは学生に大人気で、定員以上の希望者がいたためくじ引きが行われました。先輩後輩を集めて先生の研究室でワイワイとゼミが行われる日があり、野球の熱狂的なファンも多いゼミだったので、前日が試合だった日は卒業論文の進捗報告そっちのけで大変盛り上がりました。研究室の棚には先輩方の卒業論文が並んでありましたが、阪神優勝の経済効果を題材にしたものが数多くあったことを記憶しております。夏のゼミでは先生が生協で人数分のアイスクリームを買ってくださり、外で行われたこともありました。「これからの時代は型にはまらない自由な発想とそれを実現していく力を身に着けることが大事や」と我々によく言っておられました。先生の研究室は本が山積みでコーヒーとたばこのにおいがする部屋でした。後に先生が学長になられてから、大学を全面禁煙にしたと聞いて、ヘビースモーカーだった御方が、よくぞ決断されたなあと正直思いました。あの頃は大学はどこに行っても吸い殻入れがある時代でした。

和歌山大学はどんなところかと聞かれたら、私は当時のゼミの話をよくします。多くの方が自由な大学だと好印象を抱いてくださるようで、海の見えるあのキャンパスは私の自慢でした。

私たちが就職活動を始めた年がちょうどバブル崩壊後の就職氷河期に突入した年でもあり、ほとんどの企業の有効求人倍率が1を割りました。当時私が行きたかった業種も採用を見送るとの発表があり、ショックだったことを覚えています。その後10年近く就職氷河期が続くのですが、私たちの場合は1年前の先輩方の就職状況と雲泥の差があり、それを残念がるゼミ生が多くいました。その時に「時代のせいにしてもしゃあない、思いっきりぶつかって行きなさい。人生は何度でもチャレンジできる！」と小田先生らしく喝を入れてくださったこと、そしてその後のゼミ生の飛躍を大変喜んでくださったことは今でも忘れられません。先生、あの時の仲間は今も我武者羅に頑張っておりますよ。

卒業論文の提出締切日が目前にせまった1995年（平成7年）1月17日、阪神淡路大震災が起きました。大学へ行く電車が止まり卒業論文の提出ができないままの学生が多数いました。大学の電話もパンク状態でつながらず、就職先も決まっているのにこのまま

では卒業ができないのではないかと友人たちと焦った記憶があります。メールもない時代、卒業論文の提出は郵送も禁止され、直接事務局への提出が原則でした。和歌山在住の学生が大学まで何度も足を運んでくれて、震災直後の騒然とした大学の中で小田先生と卒業論文の提出期限について交渉してくれました。私たちが卒業する時に、この4月から経済学部長になることが決まったとご本人からゼミ生に報告があり、私たちもうれしくて拍手でお祝いしたことを覚えています。どんな時も学生の声を聴く先生の姿勢、それこそが行列のできる人気ゼミの理由の1つだったのではないかと考えています。

先生からは社会人になってからも連絡をいただくことがあり、用事で先生のお宅へ伺った際、私と同じ年齢の美しい娘さんをご紹介いただきました。当時は学長になられたばかりでしたが、娘さんを目の前にすると、何の文句も言わないニコニコとした父親ぶりを発揮されておられました。現在活躍しておられる娘さんの姿に先生も空の上からエールを送っておられるのではないのでしょうか。

ある日、ドイツから友人が来るから1日案内をしてほしいと頼まれました。先生に「私はドイツ語ができませんよ」というと「大丈夫。友人も日本語がわからないから」と笑っておられました。当時はまだ携帯が一人一台の時代ではなかったため、待ち合わせ場所のメモと1万円を渡されて、これで美味しいものでも食べておいでと言われました。待ち合わせ場所に行ってみると先生と同じ年齢層の、先生と同じ髭の生やし方をしたドイツの方がおられました。その日私はその方と英語でいろんな話をしながら京都観光をしました。その方はドイツの大学教授で、先生がドイツ

に留学されていた時の友人であることなどを聞きました。後に先生が観光学部を創設されたと聞いた時は、なぜかその時のことを思い出しました。今ならば案内してくれる観光学部の学生たちがたくさんいらっしゃるのでしょうね。

2018年、瑞宝中綬章を受章された時は、夫がゼミ仲間数名とお祝いの席に出席しましたが、燕尾服がよく似合っておられたと聞きました。地元仲間と畑をして楽しんでおられるとのことで、先生もお元気そうで何よりだと話しておりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 小田先生略歴より参照

- 1943年4月21日 大阪府大阪市に生まれる
- 1971年4月 和歌山大学経済学部助手に採用
- 1973年4月 和歌山大学経済学部講師
- 1975年4月 和歌山大学経済学部助教授
- 1985年4月 和歌山大学経済学部教授
- 1993年4月 和歌山大学評議員  
(併任, 1995年3月まで)
- 1995年4月 和歌山大学経済学部長  
(併任, 1997年3月まで)
- 1997年4月 和歌山大学附属図書館長  
(併任, 1999年3月まで)
- 1999年4月 和歌山大学評議員  
(併任, 2001年3月まで)
- 2001年4月 和歌山大学副学長  
(併任, 2002年7月まで)
- 2002年8月 和歌山大学学長
- 2004年4月 国立大学法人和歌山大学学長
- 2009年7月 任期満了により退官
- 2022年7月 ご逝去





## 小池さんを偲んで

大 28 山中 盛義 (和歌山支部幹事長)

和歌山支部幹事長代行の小池布紗雄様(大11)が令和3年7月8日に80歳でご逝去されました。

長年支部を支え、運営していただいたことに対し、心よりの感謝とご冥福をお祈りいたします。

小池さんは、昭和16年3月生まれで、昭和38年大学卒業後、昭和41年より山中会計事務所に勤務されました。

昭和61年に所長の山中静が和歌山支部長に就任するとともに事務局長に就任し、「柑芦わかやま」は平成元年の創刊より編集委員を担当し、平成17年に事務局移転に伴い、幹事長代行となりましたが、支部会計は平成28年まで担当していただき小池さんなくしては和歌山支部の存続はなかったと思われま

す。また本部の役員(理事)も永年就任され、長い間柑芦会に尽くされたことは感謝の一言に尽きます。

個人的には私がお阪から和歌山に帰り、父の事務所に入所した平成2年よりお付き合いさせていただきましたが、几帳面な性格で仕事も非常にきちんとされており、忙しい時にでも快く相談を受けてもらったと記憶しております。また夜の街にもよく連れていっていただき、前支部長の久山さんも交えてカラオケに興じたものでした。ちなみに十八番は「錆びたナイフ」でした。

父の事務所を退職されてからも柑芦会の活動には積極的に参加していただき、支部総会等には最後までお世話になりました。あらためて今までの功績に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。



## 本多康重氏を偲ぶ

大17 穂永 千秋

本多康重氏はやはり昨年初めに亡くなった故野田真之氏と共に、柑芦会17期の中心的存在として、ともすれば卒業式のできなかつたことによりバラバラになりそうな同期の仲間をつなぎとめてくれていた一人です。野田氏は全くの下戸、また本多氏もそう強くはないのに、揃って我々の飲み会にはきっちり顔を出してくれました。大阪支部の副支部長で、また学生時代の新聞部の経験を活かし、柑芦編集委員として柑芦誌の編纂には大いに力となってくれました。文芸関係にも趣味をお持ちで、優雅 仁(ゆうがじん)のペンネームを持ち、自身が所属していた創作グループ「雑記囃」とは別に、柑芦会に「雑記教室」なる文芸創作グループを立ち上げ、その作品の一部を柑芦誌に掲載できるようにされました。みんなが参加できる「柑芦」であってほしいとの思いでした。システム工学部が出来たときは、自分たち産業工学科がそのルーツの一期生なのだとの誇りを話していました。また彼は郷土愛が人一倍強く、紀州の美味しい「荒川の桃」を食べていただきたいと、ネットワークでの販売をおこなうほどで、「荒川の桃」のセールスマンと自称していました。時として直情的な言動になったりして敵を作ることもありましたが、他人を思いやる心遣いが真意にあり、彼を理解するかけがえのない友も多く作っていたようです。奥様を非常に大切に思っていたことは、日常会話の端々に表れていました。そのことは、彼が終の棲家と決めて、奥様の里である岡山県倉敷市に引っ越したことでよくわ

かります。まさか自分がこれほど早く旅立つとは思っていなかったとしても、奥様に淋しい思いをさせたくないとの気持ちはあったと思います。倉敷に移ってからのメールで、今日は二人で美観地区を散歩したとか、一緒に映画を見に行ったりとか、結構こまめに連絡してくれていました。岡山支部の立て直しに奔走される日々の中でも、家庭を大切にする姿勢が羨ましく思いました。

急死の報を受け電話をさせていただいた時、奥様からの話を伺いましたが、ひょっとして彼は吹田市に居た時から体の不調を感じており、倉敷への引っ越しを決めたのだとは思えるほどでした。12月3日に健康診断の際に体調不良で入院、一週間後に御逝去の原因は長年の喫煙による肺癌の肝臓への転移とのこと。奥様を愛しているのなら辞められたはずと、今更ながら悔やまれます。一足先に逝った野田君の後を追うようにいった本多君、また彼岸で二人仲良く喧嘩していることでしょう。ご冥福をお祈りいたします。

合掌



## 大阪支部

### 大阪支部長 糸川 公偉

大阪支部長の糸川です。よろしくお願ひいたします。大学26期、卒業は1978年（昭和53年）3月。部活動は硬式野球部、ゼミは小野ゼミです。

就任して掲げた大阪支部スローガンは、「明るく楽しく、感謝と誇り」です。やるからには明るく、楽しくやりたいものです。「感謝」は、今まで支えてくださった先輩方、関係者の方々、大学関係者の皆様方、それと今後の支部活動を支えてくれる若き後輩たちへの感謝の気持ちです。「誇り」は、和歌山大学経済学部の卒業生、私たちだけが持てる何事にも代えがたい柑芦会の会員としての誇りです。このスローガンのもと、活動を推進していきたいと考えています。

コロナ禍により、活動が変化を余儀なくされました。100周年を迎えようとする柑芦会でも初めてであり、活動方法、内容について工夫を凝らし展開中です。

任期満了にともない奥山前支部長に相談役になっていただき、私が支部長に就任し、副支部長に31期の平野勝久氏、32期の岡田治氏、幹事長は23期の西本正人氏です。また、事務局は43期由井幸枝氏、47期夫馬聡子氏の女性二人の布陣です。若手といっても私も67歳果たして若手かどうか疑問はありますが、柑芦会の諸先輩から見れば若いようで皆さまに支え

てもらいながら活動していきます。

課題はたくさんある中、情報のシステムをうまく活用することが急務と思われれます。ホームページ、メール、Web会議等を活用しての交流、活動推進です。ただ、会員の皆がこれらの活用操作に習熟しているわけではなく、私も含め勉強していかねばなりません。徐々に人生塾、経済講演会等でのWeb活用にも慣れてきた様子も見えます、遠隔の全国会員の方々と交流できる便利さは皆様も感じていることでしょう。ただ、面と向かって会って話すことが少なくなる物足りなさもあります。テレワーク、ネットショップの利用等人との接触機会が減少しています。このような時代の流れの中、柑芦会の活動も時代の流れに飲まれることなく変革していかねばと考えます。

会費の徴収方法にコンビニ振込を採用しました。皆様の会費納付の増加を期待します。大阪支部の会員数は約6,000名、うち会費自動振替納入は約250名、それ以外約5,750名に振込用紙を送付しましたが宛先不明で返送されたのが約250名あります。住所、メールアドレスの整備も重要な課題です。

課題はまだありますが皆様のご意見を伺い、ご理解とご協力を得ながら活動していきますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

まずは7月9日の3年ぶりの支部総会の開催を契機にして、明るく楽しく活動展開したいものです。

# 大阪支部

大阪支部副支部長 大31 平野 勝久  
大阪支部総会・交流会:2022年7月9日(土)

総会および交流会を2020年と2021年の中止を経て、3年ぶりに2022年7月9日(土)大阪難波の「道頓堀ホテル」にて万全のウイルス対策を講じて対面で開催しました。

ご来賓に和歌山大学経済学部長の芦田昌也氏、和歌山大学学部支援室経済学部分室長の森田智也氏、柑芦会会長の北村修一氏(大18)、東京支部長の小林淳氏(大30)、神戸支部長の平林義康氏(大20)、東海支部長の垣見祐二氏(大25)をお迎えし、総勢49名での開催となりました。

まず糸川公偉新支部長より大阪支部スローガン「明るく楽しく、感謝と誇り」の制定主旨を含む「開会挨拶」の後、副支部長の平野より3年間の「支部活動報告」を行いました。

その後、経済学部長の芦田氏より伊東学長のメッセージ代読と祝辞、柑芦会会長の北村氏より柑芦会や大学の動向・大阪支部への期待等を踏まえた祝辞をいただきました。

続いて交流会は、奥山泉新相談役(前支部長)による「乾杯の挨拶」で開始しました。交流会では総会に引き続き西本幹事長が司会を担当し、会員の近況報告や寮歌の斉唱を行う等、楽しい一時で約2時間はあっという間に過ぎ、各テーブルは活発な交流で熱気が溢れていました。

最後に平林神戸支部長、小林東京支部長、垣見東海支部長より各支部の活動状況を踏まえた挨拶をいただき、岡田治新副支部長の「閉

会挨拶」で終了となりました。

この度の支部総会・交流会は、新型コロナ禍ということで全体の参加者を制限いたしました。従来より参加いただいていた大学関係者、他支部、他学部の方々についてもその制限の対象といたしました。

この旨をご理解賜り、今後ご招待できる日が来ることを会員一同、願うところです。また、大阪支部では「総会・交流会」のほか「柑芦経済講演会」、「人生塾」、「趣味の会(サークル活動)」等を開催しております。

「柑芦会ホームページ」や毎月初めに配信しています「大阪支部メールニュース」等から開催予定をご参照いただき、是非ご参加ください。

役員一同、今後も多くの方々に参加いただける同窓会活動を推進していきたいと考えております。



## <2022年度・大阪支部活動方針>

大阪支部スローガン

「明るく楽しく、感謝と誇り」

### (1)2022年度の活動方針

- ①ウイズコロナの時代に世代を越えて会員が交流する活動を目指す。
- ②若手会員が参加しやすいイベント(同期会、クラブ、ゼミ会)の仕組みづくりを考える。
- ③人生塾や経済講演会のオンライン開催を推進し、指導者講師を発掘する企画会議を開催する。
- ④年会費納付会員の増進策を検討する。まず、コンビニ決済振込の開始。
- ⑤メールアドレスの収集策と和歌山大学COCOアカウントの活用策を考える。

### (2)2022年度の活動計画

- ①総会の開催:2022年7月9日(土)12時からの道頓堀ホテルにて開催
- ②第33回 柑芦経済講演会の開催  
2023年2月5日(日)午後からの予定  
(場所:大阪産業創造館)
- ③人生塾の開催:年間4回の開催を目指す  
(開催方法は状況に応じて検討)

・いきいき人生塾、ビジネス人生塾、研究わくわく人生塾

第1回オンライン人生塾:

2022年7月21日(木) 18:30～20:00

テーマ「コロナ前後における和歌山大学経済学部の就職状況について」

講師:本庄麻美子准教授

- ④年会費のコンビニエンスストア振込の開始
- ⑤支部会館の有効的な活用方法の検討

以上



## なんば道頓堀ホテル

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀2-3-25

宴会予約(大中小宴会場)

**06-6213-3444**

飲み放題込み、MAX3時間

¥4,500.-

宿泊予約 06-6213-9040

場所:地下鉄・なんば駅から北へ徒歩5分

# 東 海 支 部

東海支部 大30 岡野英生

## コロナ禍における支部活動

コロナ対応が迫られて約2年半経ちますが、各支部でもご苦勞が絶えないものと推察致します。東海支部でも、情勢に応じて定例のイベントの開催/中止を適宜臨機応変に決めてきました。一昨年は開催できなかった年度総会も復活できましたし、隔月の定期懇親会も愛知県のコロナ規制に対応して開催できることもありました。また、定期セミナーについても2回延期となりましたが、定期懇親会に合わせる形で、マグレビ前学部長をお招きして開催することができました。

リモート飲み会やリモートセミナーも検討したのですが、元勤務先の会社でもなかなか成功事例がなく、企画実行することができませんでした。リモートセミナーは、ネットワーク環境の充実から支部独自として開催する意義よりも全国統一で開催する方が有意義に感じられます。また、飲み会も 乾杯まではいいのですが、中盤、中締め、締めへとの、仕切りが難しいです。これは、個別ルームを作るなど

して、「同窓生間のここだけの話」をできるような環境を整えて柑芦会ならではの打ち解ける場を作ることが必要なのかもしれないので、良いアイデアのある方は、ご教示ください。

私事となりますが、北米支部から東海支部に移動して25年経ち、この度定年退職となり、サラリーマンから自営業者となりました。これまで、東海支部として名古屋駅前の勤務先事務所を、東海支部幹事長受嘱以来、活用してまいりましたが、郊外にある個人事務所に東海支部を移転させていただきました。皆様には、ご不便をおかけしますが、支部活動を暖かくご支援賜りますよう、よろしくお願い致します。



時間駐車・不動産賃貸

## パークス株式会社

代表取締役 織田 宗 輔 (大10回)

〒578-0941 東大阪市岩田町3-9-6  
TEL/FAX 072-964-6400

税 理 士 毛利会計事務所  
行政書士

## 毛利 恵 行 (大25)

〒670-0965 姫路市東延末3-39  
電 話 079-283-1250  
F A X 079-283-1240

# 神戸支部

神戸支部長 大20 平林 義康

## —コロナ感染症と支部総会—

新型コロナウイルス感染症が日本に上陸してから既に2年半の歳月が経ち、収束の傾向にあるものの社会経済活動はいまだに様々な制約を受けています。

このような環境下ではありますが、神戸支部では、感染症蔓延以前と比べ支部活動は少しは沈滞しておりますが、それなりに工夫をして実施しております。

支部活動としては、支部総会、新年会、勉強会「ぶらくり会」、ゴルフ同好会「神戸会」、囲碁同好会「那智黒会」、ヨガレッスン同好会等をあげることができます。

中でも、支部総会についてはコロナ以前は毎年秋に50～60人の参加を得て神戸三ノ宮の会場で開催しておりました。しかしながら、コロナ上陸後の2020年の支部総会は完全リアルでの開催は難しいと判断し、一部リアル、一部オンラインの言わばハイブリッド形式で開催しました。この時のオンライン通信はWEB会議システム「ZOOM」を活用しました。オンラインでの会議は、柑芦会としては初めての



2019年支部総会・懇親会の模様

試みであったと思います。これを契機に柑芦会本部ではZOOM社と使用契約を結ばれたと聞いております。それはそれとして、2020年のハイブリッド支部総会はリアル10人、オンライン13人の合計23人の参加で開催することが出来ました。それまで毎年同時開催していた講演、余興(落語、講談、和太鼓演奏、ジャズ演奏等)は実施出来ませんでした。一定の成果を残すことが出来たと考えております。

2021年の支部総会はコロナ感染防止の観点より完全オンラインでの総会開催としました。参加者は他支部の幹部、現役学生さんを含め24名の参加でしたが、マグレビ副学長(前経済学部長)の全世界大学ランキングに関するミニ講演会を開催することができました。前年に比べて、講演をお聞きすることができたのがオンライン支部総会を開催して以降の一つの成果ではないかと思っています。

ウイズコロナあるいはアフターコロナと言われますが、コロナの完全終息が読み切れない現状では、オンラインでの会議、打合せは今後も活用していくことが必要と考えています。リアルでの会議、打合せに越したことはありませんが、移動時間および費用の節約等オンラインではの利点もあると考えます。

2022年の支部総会は3年振りに会場開催とする予定です。学生さんのプレゼン、和太鼓演奏、プロの演奏家によるジャズ演奏の余興も含め、盛大に実施したいと思います。なお、感染症に対しては正しく恐れ、正しく対応したいと考えております。



2021年支部総会(オンライン)の模様

# 三重支部

## 三重支部幹事長 大31 山際 雅彦

三重支部2021年度総会は、2021年11月21日(日)、津駅隣接の「グリーンパーク津」にて開催されました。今年度の総会も新型コロナウイルスの影響から、講演会や懇親会は行わず総会のみで開催としました。

本部等のご来賓の方々に参加を自粛いただいたこともあり、総会参加者は支部長他4名の総会となりました。来年度は新型コロナウイルスの騒動も治まり、通常の総会が開催できるよう期待したいと思います。

(三重支部主要役員 敬称略)

支部長	井上俊一(大学18回)
副支部長	小谷 剛(大学20回)
副支部長	太田 均(大学22回)
副支部長	水谷正道(大学26回)
相談役	春山健児(大学6回)
相談役	藤澤真純(大学12回)
幹事長	山際雅彦(大学31回)
副幹事長	加藤泰三(大学27回)



# 姫路支部

姫路支部幹事長 大31 榮藤 雅雄

## コロナ禍の支部活動

7月になり、この原稿を書く頃になって、新型コロナウイルスの感染拡大の第7波が到来したとの報道がされている。ここ数日での爆発的な拡大である。波の襲来は回を追うごとに感染者数が大きくなってきているが、症状は軽症化の傾向があるようだ。ウイルスの変異の影響もあるかもしれないし、ワクチン接種の効果があることも伝えられている。

しかし油断は禁物である。私たちの想像を超えるレベルでさまざまな研究が進み、だんだんと未知のウイルスの性質が明らかになってきているが、特效薬は開発されていないし、なにより変異の早さに研究が追いついていないようである。季節流行型のインフルエンザのようになるのは、まだしばらく先なのだろう

か。

それにしても、様々な業種の売上げが落ち込み、経済活動が停滞する中で、観光業界の現状は目も当てられない状況が続いているが、観光学部を抱える和歌山大学の学生の士気はいかがなものなのだろうか。一刻も早い社会経済活動の復活を願うばかりである。

さて、姫路支部ではこの2年は支部活動が全くできなかったと言っていい状態であった。

三役会で協議するのが精一杯で、総会は開催できず、書面で活動報告・会計報告をしたのみである。

ようやく今年の春頃から日常を取り戻しつつあったので、8月に幹事会を開催することとなった。

3年ぶりの総会開催に向けて、一人でも多くの会員の参加を得るべく、工夫を凝らそうとしているが、そこへくだんの第7波である。

新型コロナウイルス感染拡大が、再生しかけた社会経済活動の動きに支障をきたさないことを願い、総会準備を進めたい。



建設・補償コンサルタント

株式会社 岡本設計

OKAMOTC

〒640-8256 和歌山市土佐町 2-61-9  
TEL (073) 426-3151 FAX (073) 426-3155

川瀬計理事務所

税理士 川瀬 雅人 (大27)

〒522-0062 彦根市立花町 4-21  
電話 0749-23-0011  
FAX 0749-23-0015

# 株式会社 小 泉 組

代表取締役会長 小 泉 陽 (大学5回)

〒657-0035 神戸市灘区友田町3丁目2-10-301号

電 話 (078)811-8021(代)

F A X (078)811-8268

**Pasco**

だいじなひとの、  
まいにちに。

敷島製パン株式会社  
代表取締役副社長  
田中 正樹 (大21)



## 私説・和歌山大学 硬式野球部百年史

### 大15 中田陽之

創部は大正13(1924)年で、グラウンドは市内にある高商の高松学舎でした。昭和30年代前半は6チームのリーグ戦で活躍し、近大などと善戦。昭和41(1966)年に10年ぶりに二部優勝し、一部昇格。昭和47(1972)年は5年ぶり二部優勝し一部昇格。昭和50(1975)年は二部優勝。昭和52(1977)年は二部優勝し一部昇格。昭和55(1980)年から平成14(2002)年までの23年間では8回の二部優勝後、ついに一部昇格を果たす。この間、大学は学舎統一し、栄谷の現キャンパスへ移転。硬式野球部の選手が多い経済学部は昭和62(1987)年高松から栄谷へ移転し、経済学部・教育学部の学生の参加が増え部員数も漸増。平成7(1995)年システム工学部

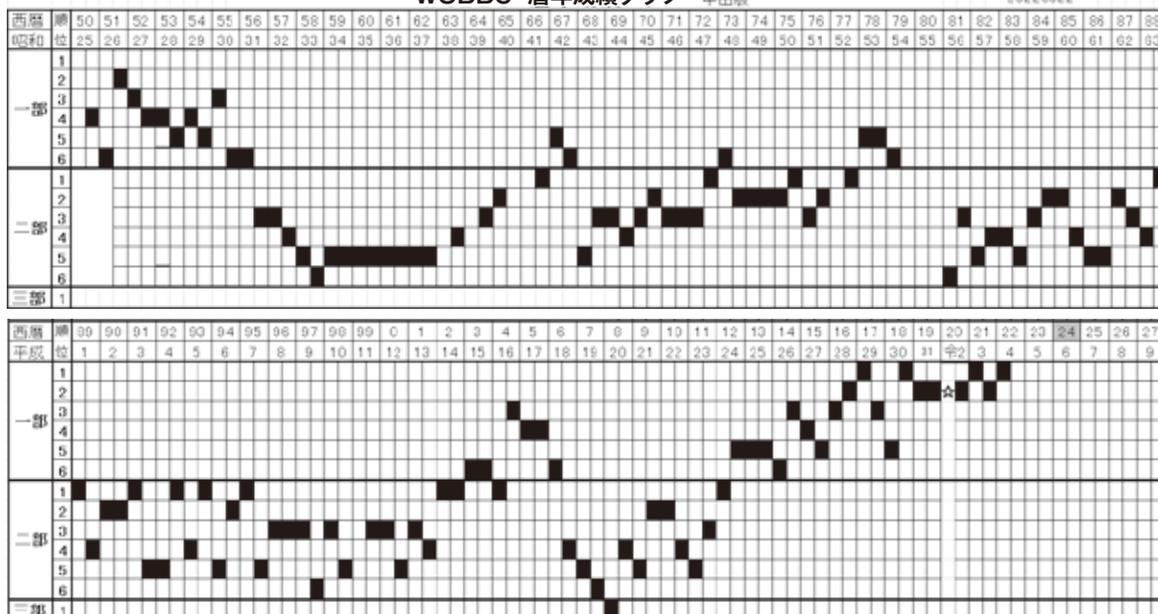
設置。平成14(2002)年から速球派松田投手が活躍し二部優勝し一部昇格して現在の強チームへスタートする。その後一季を除いて6季一部で活躍。平成16(2004)年国公立大学の法人化。平成20(2008)年観光学部設置。

平成20(2008)年、当時の小田学長のご尽力により現大原弘監督(桐蔭高校・京都産業大・桐蔭高校硬式野球部コーチ)を招聘。雌伏6年を経て平成24(2012)年二部優勝し一部昇格を果たす。以降一部で常時在籍し令和4(2022)年現在一部優勝4回、全日本大学野球選手権大会出場3回を誇り、直近の4年間では優勝3回準優勝4回コロナ禍休み1回となり、今や連盟の顔であり国公立大学野球のモデルとなりつつある。

なお、現在は経済学部、教育学部、システム工学部、観光学部の学生が栄谷キャンパスに集い、部員数が100人を超えている。平成24(2012)年和歌山大学前駅設置。

WUBBC 暦年成績グラフ 中田版

20220522



## 強くなった要因（筆者見解）

- ◎ 大原監督の就任 心技体のご指導
- 大原監督を慕う学生が多く入部。中田監督時代は20数人程度。現在は百人越え。
- 学舎統合により4学部から部員が集う。統合前は経済学部生が大半。
- 学長報告会の毎年開催、紀三井寺球場での公式戦開催、沖縄での毎年合宿、和球会の人的物的支援強化。
- 百年に及ぶ諸先輩方の活躍による伝統や遺産の力など。

## 今後の目指す方向（同上）

- ◎ 全国の国公立大学スポーツのモデルとなるよう努めます。
- ◎ 支援金の充実 平素のリーグ戦は他校の倍近い時間と費用を要しています。さらに全国大会などの経費個人負担は重くなります。したがって、和球会（OBOG会）だけでは限界があるので、今後は広く、大学卒業生、地域のファン、部員家族、大学教職員、その他ファンの方々のご支援をいただき、今この絶好のチャンスを生かしたいと考えて

います。皆様のご理解と一層の応援・ご支援をお願いします。そのために、和球会会長を代表とします「硬式野球部後援会」を設けましたので、全国大会出場するときなどにはよろしくをお願いします。

## お願い

申し上げるまでもなく、現在の硬式野球部の活況は上記の要因によるものですが、長い目で見れば、百年近い指導者や先輩たちのご尽力の蓄積による伝統や遺産があると考えられます。そのため、この百年史は2024年に硬式野球部の百年記念式典の端緒とし、集まった記録を後進へと伝承したいと考えております。

つきましては、今後私や和球会から、OB・OGをはじめ関係される皆様にご協力をお願いしますので、各種写真をはじめ、部誌「白球」、リーグパンフレット、各種資料、ご意見などをお寄せいただきますようお願いいたします。

なお冊子は「WUBBC アーカイブ」(仮称)と考えております。



2006年秋季リーグを終えて当時の小田学長（故人）に報告会。現在も学長報告会は継続中。



2017年春 初優勝、全日本大学野球選手権大会の試合後、@神宮野球場

## 川柳サークル

### 代表 大18 北村修一

2020年7月にSNSのフェイスブック上で発足した「川柳サークル」も丸2年を過ぎて、3年目に入りました。今ではメンバーは44人になりましたが、毎月のWEB上の句会に投句するなど実質的に活動しているのは10名くらいです。それでもメンバーは、東京、名古屋、神戸、大阪、奈良など広範に及んでいます。

今回は、中心メンバーの10名に次の2点について寄稿してもらいましたのでご報告します。

- ①最近1年間のご自身の一番気に入った作品。
- ②このサークルやSNSを使った活動に関する感想や意見。

### ◆爺メン(中田陽之、15期)

- ①「ほぼほほの新人だけで優勝し」(兼題:「新人」)
- ②今年外野手を除くほぼ新人だけで、野球部史上初の勝ち点5の完全優勝を達成しました。その後、東京ドームでの第71回全日本大学野球選手権大会に出場し、1回戦で和歌山大学2-4近畿大学と惜敗しましたが、全国レベルで戦える力があると確認できました。今後とも応援ご支援をお願い申し上げます。

### ◆酔心(穂永千秋、17期)

- ①「名残り雪昭和は遠き下駄の跡」
- ②仲間に入れていただき、川柳の入り口で右往左往、ダジャレに蹴躓いている毎日です。

川柳であっても正しい日本語でありたいとおもっています。

### ◆鼓均(辻 均、20期)

- ①「二十段上り晴れ着の祝い酒」(兼題:「階段」)
- ②リアルでお会いしたことのない同窓生でも毎月同じ趣味で交流できることはお互いの刺激になり、またお互いの人となりも川柳を通じて徐々に理解できる素晴らしい交流の場です！川柳に挑戦してよかったと思っています。

### ◆博州(平林義康、20期)

- ①「故郷の香りを乗せて蜜柑来る」
- ②前頭葉を刺激して脳の老化を遅らせ、適度な運動もして、心身共に健康寿命を伸ばそうと始めた川柳ですが、同人の秀句に触発されて、ドンドンのめり込んできました。同窓生の皆さん、川柳サークルで健康寿命を伸ばしませんか！

### ◆案山子(川瀬和志、20期)

- ①「スタートし見えぬゴールを模索する」
- ②全て先が見えず、ゴールが見えない状況です。一刻も早くこの閉塞感から脱却したいものです。

### ◆おそ松(谷垣内和之、22期)

- ①「朝ドラに自分重ねて見る昭和」
- ②川柳は、嬉しいことも嫌なことも17文字で笑い飛ばして 元気になれる良い趣味だと思います。道具も要らずお金もかからず、多少頭も使いボケ防止にもなり、いいことばかりです。しかも、同窓の皆さんとも交流ができて言うことなしです。

◆幸彦(八木幸彦、25期)

- ①「優先座席老いも若きもスマホ族」
- ②今年1月、柑芦会神戸支部の新年会に参加、平林支部長様にお声掛けとお世話をいただき、川柳サークルのお仲間にしていただくことができました。これからも川柳の作句を楽しんでいくつもりです。

◆万年青年(鈴木光伸、31期)

- ①「広がるの笑顔と共に人の輪が」
- ②若い頃に高専の大先輩から「人生を豊かにする4つの趣味」として、次の4種類を持つと良いと教えていただいたことがありました。  
・室内で1人でする趣味 ・室内で複数でする趣味 ・屋外で1人でする趣味 ・屋外で複数でする趣味  
当時はSNSなどない時代でした。私は川柳はまったくの未経験でしたが、北村会長からこの川柳サークルにお誘いいただいた際に、この大先輩からのアドバイスを思い出し、思い切ってチャレンジすることにしました。  
SNSが発達した時代にこの川柳サークルがいずれに該当するかは定かではありませんが、17文字で自分の心情を表現する川

柳の奥深さに日々頭を捻っています。お誘いいただき人生が豊かになりました。本当にありがたいです。

◆こじろう(福嶋隆裕、33期)

- ①「逝くキミが照らす温もりあかね曇」
- ②川柳とご縁をいただきありがとうございます。お誘いいただいた頃は人生の岐路でした。早期退職、闘病の妻の看病そして別れ、転職した新しい職場は若者がたくさんいて、昔と今のカルチャーのちがいに刺激ある日々。このサークルが胸のうちの気楽に打ち明けられる場となりました。これからも続けたいと思います。

◆修太郎(北村修一、18期)

- ①「アルバムに見入り進まぬ大掃除」
- ②SNSを使えば、コロナ禍であろうがなろうが毎月句会是可以するし、全国各地からも参加できます。内部ではそろそろ、「年に1回くらいはリアルで集まって句会か吟行でもやりたいね」という声も出始めています。川柳に限らず、俳句や絵画、写真、旅行、歩こう会、古代史研究など、様々な分野でもこういう活動が広まることを期待しています。いいもんですよ。



SHIMA SEIKI

人に、地球にやさしい、もの創り

シマセイキは、ファッション業界において、人に地球にやさしいもの創りを提唱します。

Sustainability @ SHIMA SEIKI  
[www.shimaseiki.co.jp/sustainability/](http://www.shimaseiki.co.jp/sustainability/)

株式会社島精機製作所 本社 和歌山市坂田85番地 TEL 073-471-0511(代)

## 2023年4月、和歌山大学に『社会インフォマティクス学環』が誕生！

2022年7月7日

和歌山大学は、2023年4月に、経済学部、システム工学部、観光学部の3つの学部とデータ・インテリジェンス教育研究部門が連携した文理融合型の教育課程として『社会インフォマティクス学環』を以下のとおり設置します。

本学環では、社会の多様な知識を備え、社会に存在する様々な課題や事象を情報技術で分析・把握し、それを企画・立案して実践することで、社会を変革していくことができる人材を育成します。

和歌山大学としては、『社会インフォマティクス学環』を、特色のある教育課程の1つとして、また、学生が社会で活躍するための成長の場として、これから成熟させていく所存です。

なお、この『社会インフォマティクス学環』は、和歌山県が誘致した総務省統計局・(独)統計センター 統計データ利活用センターと連携した教育研究も実施することとしており、和歌山県にとっても有為な人材を育成していく予定です。

### 記

【学部等関係課程実施基本組織名】「社会インフォマティクス学環」

【入学定員】30名

【取得できる学位】学士(社会情報学)

### 基盤専門科目群

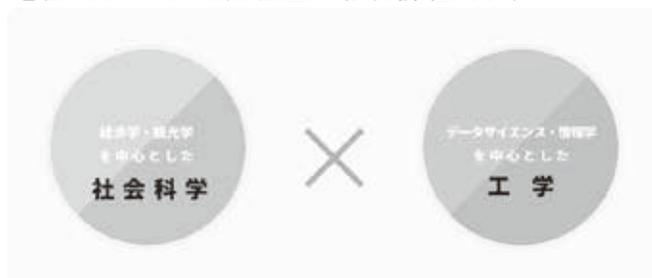
汎用性を身につけるために経済学・観光学を中心とした社会科学とデータサイエンスや情報学を中心とした工学の基盤を学びます。

### 応用領域専門科目群

社会での活躍の場に焦点をあて、それぞれの場で必要となる能力を修得します。

< 社会インフォマティクス学環とは … >

経済、産業、文化などの社会に対して、変革をもたらす情報技術により分析および把握を実践する人材の育成を目的とした文理融合型の教育課程です。



## 社会インフォマティクス学環とは？

令和元年8月に大学設置基準が改正され、学部等の組織の枠を越えた学部等連係課程の設置が可能となり、その制度を活用して和歌山大学が設置する文理融合型の教育課程が「社会インフォマティクス学環」です。

これからの社会を変革していくためには、社会の多様な知識を備え、社会に存在する様々な課題や事象を情報技術で分析・把握し、それを企画・立案して実践する力が必要です。

和歌山大学では、経済学部、システム工学部、観光学部の文理融合型の教育課程で社会をインフォマティクス(情報技術で分析・把握し変革)する力を育成します。



### 教育研究の4つの特色



#### ① 和歌山大学の学部を横断した教育

経済学部・システム工学部・観光学部が密接に連携し分野横断的な知識や能力を身につける教育を実現。



#### ③ 自治体や企業等と連携した実践的な教育

自治体や企業等と連携し、社会における課題解決に資する実践的な教育を実施。(例：企業の活動を実体験、自治体の施策への提案など)



#### ② 社会活動から生まれるデータそのものを使った教育

和歌山県、総務省統計局、(独)統計センター、企業などが有する社会を反映したデータ(家計調査データ、顧客・購買・行動データ、金融取引データなど)を用いた教育を実践。



#### ④ 少人数教育による充実したサポート体制

入学定員30名に対し、担当教員は15名以上と充実したサポート体制。学生と教員との距離も近く、学生個人の能力にあわせてきめ細かな教育を実現。



- 入学定員 >>> 30名
- 学 位 >>> 学士(社会情報学)

#### 【主な就職先】

商 社

IT企業

製造業

官公庁

コンサルティングファーム

データを利活用する部署での活躍が期待されます。

本学の経済学研究科、システム工学研究科、観光学研究科への進学も可能です。

## 経済学部におけるクォーター制導入について

和歌山大学は2020年4月よりクォーター制を導入しました。経済学部では1年遅れて2021年4月よりクォーター制によるカリキュラム実施を開始しました。クォーター制導入が2021年4月となったのは、次の理由からです。2016年に行われた学部改組により、2020年度までの4年間は、改組によって定められたカリキュラムを維持することが求められたことが理由です。クォーター制導入はカリキュラムに大きな変更をもたらすため、改組実施によるカリキュラムを4年間維持することが優先されました。

クォーター制のもとでは、入学、履修登録、単位認定、卒業等は従来の2学期制を維持しつつ、前期を第1・第2クォーター、後期を第3・第4クォーターに区分し、従来の半分の8週(クォーター)で授業が行われます。クォーター制導入により、学生は主体的に履修登録を行うことで学外学修(海外留学、地域留学、中長期インターンシップ、ボランティア活動など)に参加するための機会を作り出すことができるようになりました。ただし残念なことに、クォーター制導入と

COVID19の感染拡大が機を同じくしたため、学外学修の機会はクォーター制導入とは異なる外在的な要因により少なくなっています。COVID19後の社会において学外学修の機会が拡大することが期待されます。

クォーター制では、従来の半分の段階(8週目)で成績評価が行われます。このことにより、学生は自らの学修に関する到達度を年4回確認することが可能となります。こまめに学修到達度を確認することにより、学びのモチベーションを維持し、学修目標をより明確にすることができます。また、8週間という短期間で集中して授業内容を学ぶことを可能にし、より効率的な学修を行うことができます。

クォーター制は学内外の学修を充実させる可能性をもつ新しい制度です。一方で、制度の変わり目には旧制度のもとで学んだ在学生在に不利益が生じるリスクが存在します。クォーター制導入以前の在学生の卒業要件に変更はなく、時間割等の編成においても、卒業・修了に支障が無いよう、教務委員会において細心の注意を払って配慮しています。

齋藤直樹  
税理士事務所

〒559-0007 大阪市住之江区粉浜西2丁目18-4  
粉浜グリーンハイツ306号  
TEL 06-6678-0233 FAX 06-6675-5728  
税理士 齋藤 直樹 (大21回)

鵜島会計事務所  
鵜島社会保険労務士事務所

税 1 行	級	F 政	理 P	技 書	能 士	鵜島信二(院34)
税 社 中	会 小	保 企	理 險 業	勞 務 診	断 士	鵜島幸夫(大53)

〒641-0021 和歌山市和歌浦東3丁目2-78 山下ビル102号室  
TEL(073)448-2668 FAX(073)448-2669

# 2020年4月からの 2学期クォーター制導入について



## 2学期クォーター制とは？



入学、履修登録、単位認定、卒業等は従来の2学期制を維持しつつ、前期を第1・第2クォーター、後期を第3・第4クォーターに区分したクォーター制を導入し、従来の半分の8週（クォーター）で実施する授業形態を追加するものです。

学外学修（海外留学、地域留学、中長期インターンシップ、ボランティア活動など）の修学面の改善や、従来の半分の段階で成績評価（到達度の確認）、短期間で集中して学ぶことを可能にする目的で導入するものです。

なお、授業科目の分割開講や開設期等の変更があっても、導入前の在学生の卒業要件に変更はなく、時間割編成においても、卒業・修了に支障が無いよう、可能な限り配慮しています。



## 学年暦（授業期間）

学期（前期・後期）の半分の授業期間（クォーター）が追加されます。

導入前	4月	8月中旬		10月	2月中旬		
	前期	夏季休業		後期	冬季休業	後期	春季休業

↓

導入後	4月	6月上旬	8月中旬	10月	12月上旬	2月中旬		
	前期		夏季休業	後期		冬季休業	後期	春季休業
	第1クォーター	第2クォーター		第3クォーター	第4クォーター			



## クォーター制の授業形態

従来の前期・後期・年間に加え、次のような授業形態が追加されます。

**クォーター開講科目の例（単位は講義科目）**

- ① 週2回×8週：1コマ90分の授業を週2回（火+木や水・金）×8週で完結→2単位
- ② 2コマ連続×8週：1コマ90分の授業を2コマ連続（1～2限や3～4限）×8週で完結→2単位
- ③ 週1回×8週：1コマ90分の授業を週1回×8週で完結→1単位

## 第12回香村賞審査会開催

第12回香村賞の審査会が去る12月17日(金)13:00より産学連携イノベーションセンターで行われました。一次審査を通過した11件について、応募学生によるプレゼンテーションが行われました。審査委員による審査の結果、入賞者は次の通りです。

### ビジネスアイデア部門

#### 優秀賞(賞金10万円)

◇プラン名/長期避難自粛ケア商品

#### 準優秀賞(賞金7万円)

◇プラン名/顔と名前的一致アプリ『覚エ〜ル!』

#### 審査員特別賞(賞金5万円)

◇プラン名/愛媛の蛇口みかんジュースに対抗!和歌山のみかんガチャ

### 起業実践部門

#### 敢闘賞(賞金5万円)

◇プラン名/日本人海外大学生による英語4技能特化Academy

#### 企業賞 株式会社ラック

##### ・LAC賞

◇プラン名/進化し続ける観光情報プラットフォーム sarutabi.co

##### ・コラボ賞

◇プラン名/アバターゲーム一体型素人ハンドメイド作家アプリ「パトロニア」

◇プラン名/地域も飼い主も幸せになる犬用のゴミ箱

#### 企業賞 紀陽情報システム株式会社

##### ・努力賞

◇プラン名/進化し続ける観光情報プラットフォーム sarutabi.co

◇プラン名/E-Vプロバイダー



会長挨拶と発表風景



表彰する伊東学長

## 優秀賞

[プラン名]

# 長期避難自粛ケア商品

経済学部3回生／坂本光咲、藤吉奈都美、小島夢輝

### 〈背景〉

日本では、避難所開設レベルの震度4以上の地震が年間平均73件もいつ誰が避難することになるか分からない。そんな世の中だからこそ、より多くの人々が地震への備えをして、避難時でも快適に過ごしてほしい!そこで、避難時の睡眠問題に着目し、提案した商品がこのりらぼ〜んである。

### 〈商品概要〉

りらぼ〜んは、普段使いできるクッションを避難時にはブランケットと枕に変身させることができる商品だ。クッションカバーの中には厚さ違いのブランケットが3枚入っており、季節に合わせて好きなブランケットを取り出して使える。クッションカバーの中には残りの2枚のブランケットが入っているので枕としても快適!

### 〈商品に込めた想い〉

避難用睡眠グッズは消費者が手に取りづらい。しかし、りらぼ〜んはクッションとして日常利用可能なので、避難の睡眠に備える一歩になる。この商品で避難時もリラックスして睡眠を取ってもらい、健康に過ごしてほしい。



#### ● りらぼ〜んの構造

紐をボタンにつけてリボン結び  
 中身はブランケット3枚  
 上部はファスナー



## 準優秀賞

[プラン名]

# 顔と名前的一致アプリ『覚エ〜ル!』

経済学部3回生 / 池田佳菜子、土橋杏実、龍田千里菜

### 〈商品概要〉

コンセプト:もう1人で悩まない!  
エピソードで覚える記憶アプリ  
ターゲット:名前や顔の記憶力に自信のない  
学生や会社員とその団体

### 〈着眼点〉

記憶力に自信があっても、顔と名前的一致が苦手な人がいることを疑問に思った。また、コロナ自粛により長期間会わず、名前が曖昧となった知人と疎遠になることも残念な問題として挙げた。しかし、顔と名前や顔の記憶に対し、対策を取らない人が多い。この深刻な問題を楽しく解決するアプリが「覚エ〜ル!」。部活や会社単位で導入し、全員で問題意識を持てば、記憶による人間関係のトラブルが減少すると考えた。

### 〈内容〉

覚エ〜ルは、  
①自身のプロフィールの登録  
②所属する団体のグループに参加し、相手の情報を確認  
③クイズ形式で記憶  
の3つのステップで記憶する。  
顔と名前や顔の認知の調査では、顔と名前を記憶する脳の場所が違うことが判明した。これら結び付けるために重要なのが「その人とのエピソード」である。したがって、アプリに個人間のエピソード入力欄を設けることで、脳科学的に記憶を促進させることができる。

## 商品提案

### ① 情報登録

プロフィール登録	
名前	記憶 花子
	
所属	バレーボール サークル 経済学部 1年 ○○ゼミ
特徴	身長:158cm 性別:女 芸能人の○○に似るとよく 言われます。 趣味は洋楽を聴くことで、△△や ××の甲を話していたら私です。

自分の名前、顔写真、  
所属などを登録する!

### ポイント

覚えてもらうために  
特徴なども自分で登録


 審査員  
特別賞

[プラン名]

**愛媛の蛇口みかんジュースに対抗!  
和歌山のみかんガチャ**

経済学部2年／滝下連太郎、塚本結基

## 〈背景〉

愛媛の蛇口みかんジュースはご存知でしょうか?そのユニークな発想から大きな話題になりました。愛媛県のマスコットキャラクターである『みきゃん』も大人気であり、全国的に見て、みかんが有名なのは『愛媛』になってしまっていると感じていました。これは和歌山大学の学生として大変悔しい話です。なので、愛媛に対抗するアイデアを考えました。

## 〈内容〉

それが『和歌山のみかんガチャ』です。このみかんガチャは、温州みかんやデコポンを始めとする数種類の和歌山県産みかんがランダムで出てくるガチャガチャです。システムとしてはガチャガチャを回すとカプセルにみかんが入っており、同封の紙にはみかんの種類やその説明、購入方法が書いてあります。消費者は何が出てくるか分からないワクワク感と高品質なみかんを味わうことができ、その和歌山県産みかんへの認知も広げることができます。この『みかんガチャ』を使って、愛媛に負けない和歌山県産みかんのイメージ戦略を図ろうと考えています。



FMSのパートナー

株式会社 白山機工

代表取締役会長

穂 田 外志雄 (大19回)

取 締 役

白 石 晴 久 (大19回)

本社工場 石川県白山市旭丘4丁目10番地 〒924-0004  
TEL.076-275-6631 (代) FAX.076-276-8371



# 敢闘賞

## [プラン名] 日本人海外大学生による 英語4技能特化Academy

経済学部2回生／松田凌弥

### 〈背景〉

2020年度教育改訂により、日本の英語教育は大きく変化しました。従来よりも英語4技能(Reading, Speaking, Writing, Listening)が重要視され、さらに“英語を使う能力”が今後必要になってくるのです。こうした変化に既存の英語教育機関では対応できていないのが現状です。

### 〈サービス内容〉

#### Awesomeauce Class

海外在住の日本人海外大学生による英語4技能  
オンライン授業

#### Awesomeauce Consulting

海外進学を視野に入れた学習相談

#### Office Hours 24

海外との時差を利用した24時間質問対応受付  
サービス

Awesomeauce Academyでは日本語も英語も  
話せる日本人海外大学生を採用することで、英語  
4技能教育を可能にし、同時に日本人海外大学  
生の経済的課題も解決します。





[プラン名]  
**進化し続ける観光情報  
 プラットフォーム sarutabi.co**

観光学部2回生／峪 愛麗

〈サービス概要〉

情報の選別・加工等を行う“Tabi.co”、そしてそれを随時反映させ常に進化し続ける観光情報のプラットフォーム“Sarutabi!”。「観光情報プラットフォームの運営、造成を同時に担う」、それが今回ご提案した「Sarutabi.co」というビジネスモデルの姿です。

これまでの観光情報発信ビジネスとの違いは、一連の流れを一貫して行えるという点にあります。

〈背景〉

私自身が持つ「何をどう調べれば、自分の興味/関心のある観光情報にたどり着けるのか」という想いと、自身が立ち上げた情報発信のSNS運用で「届いてほしい人に届く」情報の発信はとても難しいのだと身をもって知った経験。それから、今ある情報プラットフォームでの発信が困難なのであれば、新たな場所を作ればいいのか、と考え今回のプランを考案しました。

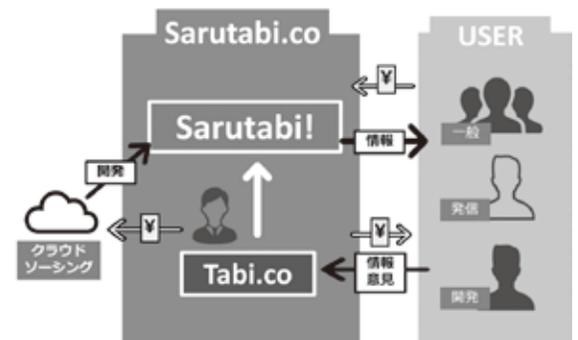


〈今後の展開〉

実現に向けての検証等を進めていきたいと考えております。まずは限定的な地域から始めていき、将来的には全国的に利用されるサービスにすることが目標です。

私の夢「観光で日本を変える」ことの実現へと、少しでも近づけるように尽力してまいります。

ビジネスモデル



進化し続ける  
 観光情報プラットフォームシステム

**Sarutabi.co** [サルタビコ]

観光学部 2年 峪 愛麗



[プラン名]  
**アバターゲーム一体型素人  
ハンドメイド作家アプリ「パトロニア」**

教育学部2回生／見浦 響、システム工学部2回生／森田琴葉

〈コンセプト〉

まず、素人ハンドメイド作家が主流の売場に適したアプリが存在していなかった。そのために素人ハンドメイド作家の作品を十分に売買するとともに、アプリ運営側がパトロンとして、作家を応援し育てていくことを目標としてサービスを考案した。このサービスを通じて、ハンドメイド作品をより身近な商品へと昇華し、ハンドメイド作家への敷居を低くすることを目指した。

〈商品内容〉

新たなフリーマーケットのプラットフォームの作成である。具体的にはハンドメイド作家の作品を売買すると同時に、顧客が作家を直接的に応援できるシステムを採用した某フリマアプリである。収益面は売買時の手数料で思案し、他のハンドメイド作品紹介誌や、企業への斡旋等を行いハンドメイド作家の背中を押すアプリの開発を考えた。

**技術でひらく 新たな可能性**

 **旭精機工業株式会社**

取締役会長 **山口 央** (大24)

主要製品：精密金属加工品・小口径銃弾・プレス機械・ばね機械・  
航空機部品・自動機・専用機・搬送装置

〒488-8655

愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1

TEL：0561-52-5300

FAX：0561-53-2419

URL：<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>



[プラン名]  
**地域も飼い主も幸せになる  
 犬用のゴミ箱**

経済学部3年生／原梶壽己、赤松紗弥、角野花梨

〈サービス概要〉

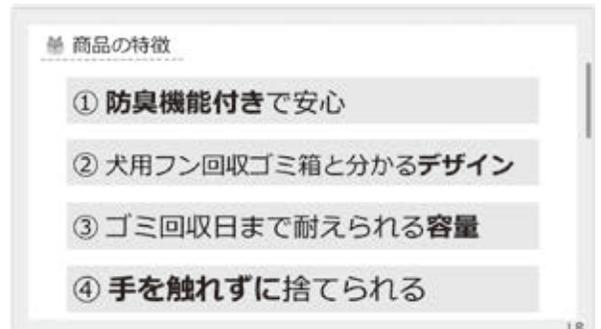
公園などの場所に犬用のフン回収ゴミ箱を飼い主から徴収したお金によって設置する。公共性の高いものでありながら、使う人から利益を得られることができる。

〈ユーザーニーズ〉

毎日飼い犬がする糞をゴミの回収日まで家庭内で保管することは、臭いがあるため居住環境の質の低下につながる。庭で保管した場合、隣人に対しても迷惑をかけているという飼い主の悩みが多数であった。公園でインタビュー調査を行った際に衛生的問題によって公園に既に設置されているゴミ箱には捨てられないという声も。

〈社会的価値〉

飼い主には日々のフン管理が楽になり、居住環境の質の向上というメリットがある。地方自治体に対しては、景観の保護、感染症の予防、便処理施設の保護というメリットがある。近隣住民に対しても、庭で保管することがなくなるため臭いなどに悩まされることはなくなる。飼い主、近隣住民、地方自治体という3つの主体に対して価値を提供できる。





[プラン名]

## E-Vプロバイダー

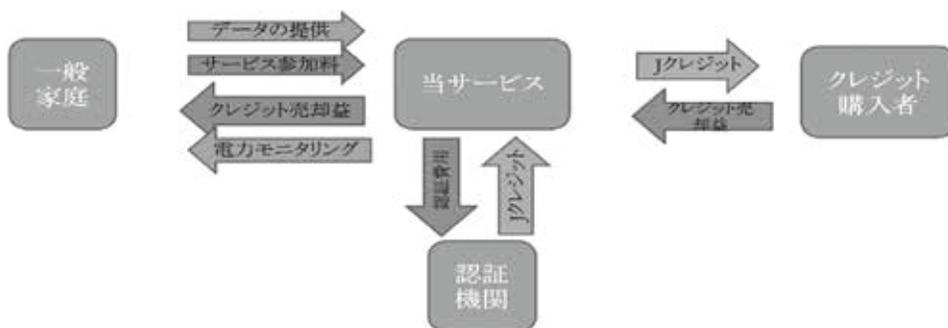
経済学部4回生 / 栗岡寛明、杉本陽哉、高野蒼大、森あかね

### 〈提案背景〉

昨今SDGsが話題になっている中でもっと一般家庭に環境貢献活動に関心をもってもらうにはどうすればいいのか考え、太陽光発電システムを導入している一般家庭をターゲットにして、Jクレジットという制度を使って環境貢献をお金に変える方法がよいのではないかと考えました。

### 〈サービス概要〉

個人が持っている環境価値を、サービスを通じて売ることで、個人がお金として受け取ることができるというものです。サービス内容としては、まず一般家庭から発電量及び自家消費消費電量のデータを提供して頂きます。次に、私たちが収集データを統合し、自家消費した電力に基づき、Jクレジットの認証を一般家庭に代わり行います。そして、認証を受けたJクレジットを購入を検討している企業に売却します。売却で得た利益は銀行振り込みの形でサービスに加入していただいた一般家庭に返すというものです。一般家庭からは当サービスへの参加料として仲介手数料をいただきます。



## III 現役クラブ紹介 III

### 吹奏楽団

吹奏楽団は現在、8月に和歌山城ホールにて開催予定の「サマーコンサート」に向けた練習に励んでおります。

新型コロナウイルスにより、これまで思うように活動ができず、沢山の演奏機会を失ってきました。そんな悔しい思いをしてきたからこそ、現在は感染症対策を講じながらも、仲間とともに吹奏楽が出来る喜びを日々感じています。

昨年12月には和歌山県民文化会館にて、1年

ぶりとなる第43回定期演奏会を開催させていただきました。

また有難いことに、イオンモール和歌山さんや和歌山県の吹奏楽関係者の方々から演奏の依頼をいただいております。このような機会を通して、吹奏楽で和歌山を盛り上げる活動に力を入れてきました。

和歌山で、和歌山の人々と、和歌山とともに。そんな意味を込めた「和歌山と奏でる」をコンセプトに、新しく入団した9名の1回生を迎え、総勢43名でこれからも活動して参ります。今後とも、ご支援のほどよろしくお願いたします。



## アカペラサークル和音

会長 中津川 陽

新型コロナウイルス感染症が流行して早3年。感染症の状況によって、活動休止と再開を繰り返すうちに先輩方が引退していき、ついにサークル全体が新型コロナウイルス感染拡大前のサークル活動の様子を知らない世代となりました。最近は少しずつ状況が改善し、普段の練習以外にもイベントへの出演や、学内ライブなどサークル活動でできることが増えてきています。春には新歓ライブを行うこともでき、多くの新入生が入部してくれました。

普段の練習では、人数や時間など、限られた状況の中で、最大限に楽しみながら練習を行っています。和音のサークルメンバーは大学生になってからアカペラや音楽活動を始めたという人も多いのですが、そんな中でもお互いにわからないところは教えあったりしながら、アカペラ初心者であってもハーモニーを奏でることを楽しんでいます。

先輩たちが築いてきた和音特有のアットホームなあたたかい雰囲気を引き継ぎつつ、新しい和音を一生懸命作り上げていこうと思います。大学祭のステージや、シンボルゾーンでのライブがある際はぜひ、耳を傾けていただけると嬉しいです。



## 和歌山大学スマブラサークル

経済学部 中村 光佑

和歌山大学スマブラサークルはスマブラ好きが集まるeスポーツのサークルです。部員は24名となっており、初心者から上級者まで幅広いレベルのメンバーが所属しています。

現在は、オフライン（対面）とオンライン両方での活動を行っております。オフラインでは和歌山大学の学生会館2階の和室をお借りして、対戦会や練習会を行っております。新型コロナウイルスの影響で活動が制限されている部分

も多いですが、対策を徹底したうえで不定期に活動しております。

また、オンラインでの活動も活発に行っております。コロナ禍の中、オンラインでも楽しむことができるのがeスポーツの強みです。今年度は、スマブラサークル連合が開催するオンラインのリーグ戦に、本サークルも参加しました。春季リーグではグループ内で2位を獲得することができました。秋季リーグでも好成績を残すことを目標に各々がレベル向上を目指して楽しみながら練習に励んでおります。私たちの活動が、少しでも今後のeスポーツの発展、注目に繋がれば嬉しいです。



## 援農サークル agrico.

新田 きらり

新型コロナウイルスの影響で昨年度まで活動制限があり、それは今年度も続きますが、少しずつ日常に戻っていることを日々感じています。援農サークルagricoは今年35名の新しいメンバーが加わり、楽しく活動をしています。学内では、大学構内の農場や花壇をお借りして活動しており、育てた野菜を用いて毎年大学祭にも出店しています。学外では、和歌山県内の農家さんのお手伝いをさせて頂いています。年中活動を行っていますが、農作物ごとの収穫時期に

より活動内容は様々で、普通の大学生活ではできない体験をすることができるだけでなく、地域の農家さんとの出会いを楽しんでいます。そして、今年度はあべのハルカス近鉄本店や地域の商店街でのイベント出店といった貴重な機会を頂けることが決定しており、私たちが感じる和歌山県の農業の魅力を思う存分発信する良い機会にしたいと考えています。未だ完全に制限なく活動できるわけではありませんが、制限のある中でも地域の方との出会いを大切に、自分たちが成長することに加え、和歌山県の農業に少しでも貢献できるよう活動していきたいです。



## 大学祭実行委員会

大学祭実行委員会は、毎年11月に開催する大学祭「和大祭」や7月に開催する「こどもまつり」など、大学で開催されるイベントを運営している団体です。

和歌山大学の部活・サークルの中で人数が最大規模の団体で、約450人が所属しています。イベントごとに「局」を編成し仕事を振り分けて活動し、さまざまなイベントの運営やサポートをしています。局ごとに分かれて活動するので、局員同士の仲も深まりやすく、仕事の達成感もあります。和大祭が近づいてくると少しずつ忙しくなりますが、それ以外の期間は活動も多くなく、基本は自由参加ですので、他の団体と掛け持ちすることもできます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一昨年は大学祭を中止とせざるを得ませんでしたが、代替イベントとしてコロナ禍でオンライン授業となり大学に訪れる機会の少な

かった1年生を限定とした「GOTOワダイ」を開催しました。また去年は、学内関係者限定での開催となってしまいましたが、ステージでの音楽ライブや、感染症対策を行った上で模擬店も出店しました。

2022年度の和大祭は11月19日（土）20日（日）に開催することが決定しています。

今年是一般参加者を事前募集にて受け入れ、催し物やステージライブなどを運営していきます。それに先駆けて7月10日（日）の「こどもまつり」で、地元の小学生を招待し、子ども達が楽しめる企画にて開催します。

大学祭以外では、4月に実施する新入生歓迎イベント「うえるかむCampus」や、大学主催のオープンキャンパス等にも大学と協力し、企画を行っています。

詳しく知りたい方、興味のある方は、ぜひHPやInstagramをご覧ください！

HP:<https://www.wadaisaiunion.com>

Instagram: <https://www.instagram.com/wadaisaiunion/>



## ＜第55回和歌山大学・滋賀大学二大学学長杯争奪総合定期戦＞

### 6年連続総合優勝

6月18日（土）、19日（日）を中心に第55回和歌山大学・滋賀大学二大学学長杯争奪総合定期戦が開催されました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催が実現した今年度は、主に滋賀大学の彦根、大津キャンパス内で熱戦が繰り広げられました。

18日（土）に行われた開会式では、滋賀大学の竹村学長が式辞、本学の伊東学長が祝辞を述べられ、その後両大学団長より激励の言葉が送られました。その中でも本学の永井副学長は伝統と歴史ある滋和戦の荘厳な雰囲気新型コロナウイルス感染症の感染拡大により途切れて

しまったことに触れ、第50回大会から5連覇している本学であるが、今年は改めて挑戦者として臨みます。と宣戦布告し、本学選手の士気を高めました。

両日ともに日本晴れの中熾烈な戦いが繰り広げられ、当校は一日目、二日目とも各競技において勝利を重ね、最後は6年連続総合優勝に輝きました。

19日（日）に行われた閉会式では、お互いの健闘を称えあい、来年以降もこの伝統ある定期戦を盛り上げていくこととし、両校の更なる交流を確認しました。



会計監査・税務及び経営コンサルティング

# 名尾公認会計士事務所

公認会計士 名尾 邦 博 (大18回)  
税 理 士

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-5-22 第3新大阪ビル3F

TEL 06-6305-9731 FAX 06-6305-9733

E-mail naocpa@qk9.so-net.ne.jp



## 高島工業株式会社

### 金属表面处理

METAL SURFACE TREATMENT



自動車や鉄道等の  
乗り物の部品や  
明石海峡大橋等の  
建築物の部品にも  
使用されています

取締役会長 高島 政 康 (大学14回)

代表取締役社長 高島 政 人 (大学41回)

本社工場：〒578-0914 東大阪市箕輪2丁目4番21号 TEL.072-963-6611(代) FAX.072-963-6615

八尾工場：〒581-0814 八尾市楠根町5丁目20番地 TEL.072-999-7800(代) FAX.072-998-0041

<http://www.takashimakk.com>

# 「創立70周年記念事業基金事業報告」

和歌山大学基金室 大23 西本 正人

和歌山大学では、2019年に創立70周年を迎え、「そしてここから」をスローガンに、「高松地区松下会館再生事業」と「グラウンド改修事業」の二つからなる「創立70周年記念事業基金」を立ち上げました。

令和元年7月から令和3年3月末までの基金の募集期間中、柑芦会会員の皆様方をはじめ多くの皆様のご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。

グラウンドの改修については、令和4年8月から工事が開始され、令和5年2月中旬完成の予定です。

## 和歌山大学陸上競技場改修イメージ



既存陸上競技場

フィールド内はグリーンサンドを採用  
グリーンサンドは、輝緑岩を粉砕加工された緑色の天然クレイ系舗装材で、準全天候型天然舗装です。

- 適度な弾力性を持ち人体への負担が軽くプレー後の疲労感が少ない
- 太陽光の跳ね返しが少ない自然な緑色。ラインも見やすく、目にも優しい。太陽光線や水分などによる変質・劣化・退色がない
- 適度な保水力があり、乾季でも砂埃りが立ちにくい
- 優れた排水性を持ち雨上がりでも速やかに使用可能で、粘土分が殆どないため泥濘化しにくい。
- 安定感が高く、踏圧による平坦性の損傷や表面の摩耗も少ない

## 和歌山大学基金室からのお知らせ

新しい活動を続ける和歌山大学

和歌山大学基金室  
西本正人（大23期）  
TEL 073-457-7089

## ▶ 社会と時代の要請を受け、進化する和歌山大学の学び

2023年4月  
START!!

## 社会インフォマティクス学環

文理融合型の先進的な学びで、未来を切り拓く、創る

和歌山大学では、文理融合型の新たな教育課程として『社会インフォマティクス学環』を設置します。社会の多様な知識を備え、社会に存在する様々な課題や事象を情報技術で分析・把握し、解決策を企画・実践することで、社会を変革していくことができる人材の育成を目指します。

経済学、観光学を  
中心とした

社会科学

データサイエンス・  
情報学を中心とした

工学

和歌山大学の新しい教育課程「社会インフォマティクス学環」が2023年4月スタートします。

詳細は [和歌山大学ホームページ](#) [和歌山大学 社会インフォマティクス学環特設サイト](#)  
<https://www.wakayama-u.ac.jp/socinfo/> をご覧ください。和歌山大学基金「**大学活動支援基金**」で和歌山大学への支援を受付しております。  
和歌山大学は、日々新しい取り組みを進めています。皆様のご理解ご協力をお願いします。

## ▶ 和歌山大学は地域連携に力を入れています!

リアルな地域課題  
に向き合う 「Kii-Plus」

紀伊半島価値共創基幹「Kii-Plus」は、学内の2センター、1研究所、1室、2リテライトが、各専門領域を中心としながら、全学横断で自治体や地域の皆さまとの連携・連帯を元に「共創」して、地域課題に取り組んでいます。



2020年4月発足した紀伊半島価値共創基幹「Kii-Plus」は、順調に実績を上げております。

詳細は [和歌山大学ホームページ](#) [和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus](#)  
<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/> をご覧ください。今年度より、和歌山大学基金「**特定目的支援基金 地域共創支援**」  
としてKii-Plusの支援を受付しております。和歌山大学は、地域の中核大学として、様々な地域連携活動を教職員だけでなく、  
学生を含めた大学全体で進めて参ります。このような活動を続けるため、皆様のご  
ご理解ご協力をお願いします。

# 「経済学部棟改修工事完了」

経済学部広報委員長 藤木 剛康

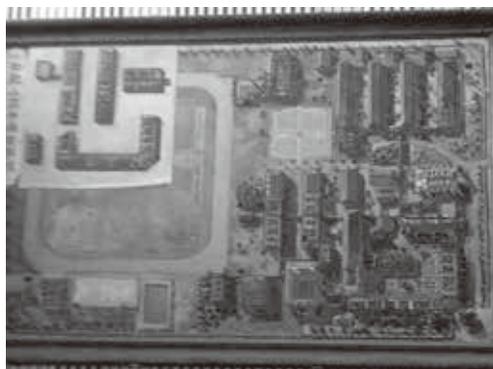
昨年8月より進められていた西3号館(旧・経済学部本館棟)の改修工事が本年3月末に完成しました。これはキャンパスが高松から栄谷に移転してから初めてのものですから約30年ぶりの大規模改修となりました。学内各所に分散していた経済学部教員も復帰し、それぞれの荷物の片付けを進めつつ、研究や教育などの日常業務に取り組んでいます。改修で大きく変わったのは1階および2階が学生の利用するスペースとなり、事務室は3階に、教員の研究室は4階と5階に集められたことです。とくに1階は全学の学生が利用できるようになり、経済学部教員の発案でこれからの「オープンエデュケーション」を実現するためのいろいろな工夫が凝らされています。

建物入口の向かって右側の部屋は、学生が講義の合間にリラックスして過ごすためのコミュニケーションスペースである「キャンパススクエア」

です。部屋の一部にはモダンな雰囲気の琉球畳が敷かれ、窓側には次の講義の予習にも使える机とパソコン用の電源もあります。その真向かいの部屋はグループワークのための「アクティブラーニングスペース」です。左右の壁面は全てホワイトボードになっています。入口の左側もアクティブラーニングスペースですが、こちらはより臨機応変に、学生だけでなく地域や企業、OBやOGのみならずにも活用していただけるような場所にする予定です。また、多様な人々に快適に過ごしてもらえるよう、日本の大学ではまだ珍しい「多機能トイレ」やプライバシーの保てる「個人相談室」もあります。まだ各部屋への備品の搬入が完了しておらず、全スペースの本格的な稼働は後期を予定していますが、これからの経済学部の教育活動へのご期待とご支援をよろしく申し上げます。



新装になった経済学部棟の全景



エントランス壁面の旧・高松キャンパスの鳥瞰図



琉球畳の敷かれた「キャンパススクエア」



「アクティブラーニングスペース」

# 今年の卒業生の就職状況

## ◆農業・林業=1名

株式会社パブリック・キッチン

## ◆建設業=10名

アサヒグローバルホーム

株式会社

フレック株式会社

旭化成ホームズ株式会社

株式会社浅川組

関西タクト株式会社

鹿島建設株式会社

積水ハウス株式会社

## ◆製造業=38名

株式会社ロック・フィールド

川口水産株式会社

築野食品工業株式会社

中野BC株式会社

日東ベスト株式会社

日本ハム株式会社

株式会社ホギメディカル

株式会社ワールド

古林紙工株式会社

アムテック株式会社

株式会社バスクリン

株式会社バルクオム

ジェイ・ワイテックス株式会社

東洋アルミニウム株式会社

株式会社ニシムラ

グローリー株式会社

ユーキャン株式会社

株式会社松風

株式会社畑山製衡所

丸昭機械株式会社

日本電子株式会社

三菱電機株式会社

日本電気株式会社

株式会社デンソー

株式会社椿本バルクシステム

住友電装株式会社

オカ株式会社

カナフレックスコーポレーション

株式会社

フリーユ株式会社

株式会社インテリックス

株式会社オカムラ

株式会社サイエンス

株式会社メイスイ

株式会社リブドゥコーポレーション

共和コンクリート工業株式会社

太平洋セメント株式会社

大王製紙株式会社

## ◆情報通信業=42名

Gateテクノロジー株式会社

NECソリューションイノベータ

株式会社

NTTコムエンジニアリング

株式会社

SpoLive Interactive株式会社

アドマックス株式会社

エヌ・ティ・ティ・インフラネット

株式会社

シンプレクス・ホールディングス

株式会社

ソースネクスト株式会社

ソフトバンク株式会社

テモナ株式会社

トーテックアメニティ株式会社

フリーランス(動画クリエイター)

株式会社DTS

株式会社E&W

株式会社TKC

株式会社USEN-NEXT

HOLDINGS

株式会社Vitalize

株式会社アイ・エス・ディ

株式会社エクス

株式会社オービック

株式会社クレスコ

株式会社ニッセイコム

株式会社ネクストページ

株式会社フォーサイト

株式会社関電システムズ

株式会社昭和システムエン

지니어リング

株式会社進研アド

株式会社大塚商会

株式会社日立医薬情報

ソリューションズ

株式会社北海道新聞社

紀陽情報システム株式会社

京セラコミュニケーションシステム

株式会社

三菱電機マイコン機器ソフトウェア

株式会社

日本コントロールシステム株式会社

富士通ITマネジメントパートナー

株式会社

有限会社オーテック

## ◆運輸業・郵便業=13名

セイノスーパーエクスプレス

株式会社

ファイズホールディングス

株式会社

株式会社アクティオトランスポート

株式会社エス・ディ・ロジ

株式会社住友倉庫

近畿日本鉄道株式会社

阪急電鉄株式会社

山九株式会社

西日本旅客鉄道株式会社  
島本海運株式会社  
東海交通機械株式会社  
南海電気鉄道株式会社  
豊通物流株式会社

◆卸売業・小売業=41名

TOTO関西販売株式会社  
オー・ジー長瀬カラケミカル株式会社  
シャープマーケティング  
ジャパン株式会社  
ダイトロン株式会社  
ダイヤトレンド株式会社  
ダイワボウ情報システム株式会社  
ナイス株式会社  
ナカザワ建販株式会社  
リコージャパン株式会社  
和歌山支社  
伊藤忠食品株式会社  
因幡電機産業株式会社  
永井産業株式会社  
株式会社シブタニ  
株式会社バルコーポレーション  
株式会社ミナト  
株式会社ヨシダ  
株式会社レオクラン  
株式会社岡本銘本店  
株式会社大西  
株式会社南海鋼材  
古河産業株式会社  
大和食品株式会社  
中山福株式会社  
蝶理株式会社  
日昌株式会社  
エバグリーン廣甚株式会社

トヨタカラー和歌山株式会社  
株式会社あさひ  
株式会社アルペン  
株式会社オークワ  
株式会社クスリのアオキ  
ホールディングス  
株式会社コスモス薬品  
株式会社スズキ自販和歌山  
株式会社トライアルカンパニー  
株式会社パーティハウス  
株式会社ライフコーポレーション  
株式会社一点鐘  
株式会社近鉄百貨店  
上新電機株式会社  
奈良ダイハツ株式会社

◆金融業・保険業=35名

きのくに信用金庫  
岡三証券株式会社  
株式会社コムテックス  
株式会社みずほ銀行  
株式会社りそな銀行  
株式会社関西みらい銀行  
株式会社紀陽銀行  
株式会社佐賀銀行  
株式会社三井住友銀行  
株式会社池田泉州銀行  
株式会社徳島大正銀行  
株式会社南都銀行  
株式会社日本政策金融公庫  
丸三証券株式会社  
三菱UFJファクター株式会社  
大阪シティ信用金庫  
大阪厚生信用金庫  
大阪中小企業投資育成株式会社  
大和信用金庫  
住友生命保険相互会社

全国共済農業協同組合連合会  
和歌山県本部

第一生命保険株式会社  
明治安田生命保険相互会社

◆不動産業・物品賃貸業=10名

株式会社グラート  
株式会社ジェイ・エス・ビー  
株式会社トラバース  
株式会社プレサンス住販  
株式会社関西都市居住サービス  
京阪電鉄不動産株式会社  
独立行政法人都市再生機構  
オリックス自動車株式会社  
キリックスリース株式会社  
株式会社トヨタレンタリース  
新大阪

◆学術研究・専門・技術サービス業=14名

アチーブメント株式会社  
エアーズ税理士法人  
株式会社Enjin  
株式会社N経営  
株式会社PTOK  
株式会社ジャパンインター  
ナショナル総合研究所  
株式会社大建技術コンサルタンツ  
株式会社野村総合研究所  
山口会計事務所  
社会保険労務士法人加藤・  
江本SR総合事務所  
青葉コンサルタント株式会社  
税理士法人あすなる  
東洋検査工業株式会社  
北畑会計事務所

◆宿泊業・飲食サービス業=4名

アパグループ株式会社



- 株式会社ビロー  
株式会社星野リゾート  
株式会社第一食品
- ◆生活関連サービス業・娯楽業=3名  
TSCホリスティック株式会社  
株式会社117  
株式会社延田エンタープライズ
- ◆教育・学習支援業=8名  
公立大学法人大阪  
公立大学法人和歌山県立医科大学  
国立大学法人神戸大学  
兵庫県立神戸商業高等学校  
和歌山市立名草小学校  
株式会社SmartStudy  
株式会社パーソナル・サポート
- ◆医療・福祉=4名  
さくら歯科  
一般社団法人児童養護施設支援協会  
株式会社ベネッセスタイルケア  
社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会
- ◆複合サービス事業=4名  
わかやま農業協同組合  
遠州夢咲農業協同組合  
全国農業協同組合連合会  
長崎県本部  
大阪泉州農業協同組合
- ◆サービス業=11名  
Evand株式会社  
イオンデイライト株式会社  
フジアルテ株式会社  
旭化成アミダス株式会社  
株式会社ジェイアール西日本  
ウェルネット  
株式会社パソナグループ  
株式会社マイナビ  
株式会社大瀧商店  
日本PCサービス株式会社
- ◆公務=46名  
厚生労働省  
厚生労働省 和歌山労働局  
厚生労働省 大阪労働局  
国税庁 大阪国税局  
国税庁 名古屋国税局  
国土交通省 東京航空局
- 財務省 大阪税関  
大阪法務局  
沖縄県警察本部  
京都府庁  
江東区役所  
堺市役所  
三重県庁  
静岡県庁  
大阪市消防局  
大阪市役所  
大阪府警察本部  
大阪府市町村職員共済組合  
大阪府庁  
都城市役所  
奈良県庁  
柏原市役所  
兵庫県警察本部  
名古屋市役所  
和歌山県警察本部  
和歌山県庁  
和泉市役所
- ◆総計=284名

### 令和3年度就職状況調査 内定率=97.9% (284/290)

#### 進路状況

項目	就職者		進学者		自営業		その他		合計(卒業者数)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
経済学部	170	113	10	5	0	1	17	8	197	127	324
	283(87.3%)		15(4.6%)		1(0.3%)		25(7.7%)				

※令和4年3月31日現在

# 現在の就職状況について

経済学部キャリア教育担当 大46 本庄 麻美子

日本経済団体連合会による「採用選考に関する指針」の廃止後、政府は就職問題懇談会の「座長声明」等を踏まえ、学生が学修時間を確保しながら安心して就職活動に取り組むことができるよう検討を行うため、就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議を開催し、年度ごとに「就職・採用活動日程に関する考え方」を示しています。2023年卒の就活日程についても、現行スケジュール(3年3月広報活動解禁、4年6月選考活動解禁)を維持する方針が決定しています。

学生の就職環境は非常に良い状況です。和歌山大学4学部を対象に20,000件を超える求人を現在いただいています。近年は3年夏のインターンシップから就職活動が実質スタートするといっても過言ではなく、インターンシップ参加者から「早期選考」という特別なスケジュールで選考が進み、早々(3年12～3月)に内定を得る学生が増加しています。オンラインと対面のハイブリッドで採用選考が進み就職活動費用を抑えることができ、時間的にも非常に効率良く就職活動ができるように

なりました。一方で、選考を受けた社数は一桁、という学生も珍しくありません(約10年前は平均20～30社選考を受けるという学生が多かったです)。また、長年、利用率の高かった就職情報サイト(マイナビ・リクナビ等)離れが近年指摘されています。オファー・スカウト型就活サイトや新卒エージェントといわれるサービスを学生が利用するケースもあり、企業の採用手法も多様化しています。学生が自ら動かなくても“待ち”の状況から内定を得ることができるのです。このような背景もあり「就職活動をやり切った」、「納得のいく進路決定ができた」という実感はあまりないようにも感じます。経済学部キャリア支援室の相談業務については、オンラインか対面か面談希望を受け付け柔軟に対応しています。学生に“迷い”があるから、なのかも知れませんが、昨年度も年間2,000件を超える相談がありました。現在は、公務員2次試験対策が佳境です。学生に寄り添った支援を行い、納得のいく進路決定ができるよう、引き続きサポートしていきたいと考えています。

## 岩垣会計事務所

税理士 岩垣忠裕 (院35)  
中小企業診断士

〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目3番14号  
ストークビル南船場10階  
TEL (06)6266-9075  
FAX (06)6264-5208

## 田中会計事務所

税理士 田中康麿 (大14)  
行政書士  
社会保険労務士

☎ 640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目13番地  
TKCビル2階  
電話 (073) 426-2612 (代表)  
FAX (073) 426-4898

## 新刊書紹介

### ◆現代アメリカ政治経済入門

編著：河崎信樹／河音琢郎／藤木剛康(和歌山大学経済学部准教授)

発行：ミネルヴァ書房

発行日：2021年10月

価格：3,080円(税込)

### ◆福祉政策と人権

著者：金川めぐみ(和歌山大学経済学部教授)

発行：放送大学教育振興会

発行日：2022年3月

価格：3,410円(税込)

### ◆商業簿記・会計学Ⅱ講義ノート

著者：山田恵一(和歌山大学経済学部准教授)

発行：デザインエッグ社

発行日：2022年3月

価格：2,640円(税込)

# 公認会計士・税理士 不動産鑑定士

山中 静 (高商20回)

税理士 山中典子 (大学25回)

公認会計士 山中盛義 (大学28回)  
税理士

東直 (大学31回) 寺園喜久美 (大学33回) 宮脇亜有子 (大学45回)

〒640-8567 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2階

電話 (073) 423-1231(代)

F A X (073) 433-4066

## 和歌山大学 役員及び事務局紹介(2022年7月現在)

学長	伊東 千尋	
理事(教学・入試)・副学長	永井 邦彦	
理事(研究・産学連携)・副学長	恵下 隆	
理事(財務)・副学長	中川 敦之	
理事(企画・総務・施設)・副学長	松谷 治	
理事(社会連携)・副学長	山本 進三	経済学部39期生
企画課長	細野 蔵	
総務課長	南方 伸之	経済学部37期生
参事役(基金事務室長)	青木 稔	
財務課長	猪原 豊之	
施設整備課長	藤原 洋二	
研究・社会連携課長	脇田 淳一	
学務課長	岡野 辰巳	
参事役(学部支援室総括室長)	長谷 浩	経済学部36期生
入試課長	森中 崇文	
学生支援課長	中井 邦昭	
国際交流課長	中元 一恵	
学術情報課長	大塚 志乃	

## 経済学部執行部

学部長・研究科長	教授	芦田 昌也
評議員	教授	金澤 孝彰
評議員	教授	辻本 勝久
副学部長（教務委員長）	教授	柳 到亨
副学部長（入試委員長）	教授	金川 めぐみ
副学部長（学生委員長）	教授	長廣 利崇
学部長補佐	教授	藤永 博
学部長補佐	教授	阿部 秀二郎
学部長補佐	教授	竹内 哲治

### ◆経済学部教職員の異動

#### □ 教 員

定年退職（3月31日付）	教授	今田 秀作
昇任（4月1日付）	教授	竹内 哲治
	准教授	本庄 麻美子
辞職（3月31日付）	講師	林 侑輝

#### □ 職 員

（4月1日付）	学術情報課副課長	高橋 真紀子
（4月1日付）	学務課副課長（学部支援室経済学部分室長）	森田 智也

# 令和4年度和歌山大学入学者選拔出身学校 都道府県別選抜状況等一覧（経済学部）

経済学部 令和4年4月1日

区分	志願者			受験者			合格者			入学者			
	府県	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	北海道	4	1	5	2		2	1		1			
2	青森県												
3	岩手県	2		2	2		2						
4	宮城県												
5	秋田県												
6	山形県												
7	福島県	1		1	1		1	1		1	1		1
8	茨城県	4		4	1		1						
9	栃木県	1		1									
10	群馬県												
11	埼玉県	1	1	2									
12	千葉県	3		3	1		1						
13	東京都	8	2	10	4		4						
14	神奈川県	2	2	4	2	2	4	1		1	1		1
15	新潟県		2	2		1	1						
16	富山県	5	2	7	2	2	4		1	1		1	1
17	石川県	5	9	14	2	4	6		1	1		1	1
18	福井県	3	3	6	2	1	3	1		1	1		1
19	山梨県												
20	長野県	3	1	4	2		2						
21	岐阜県	9		9	8		8	3		3	3		3
22	静岡県	21	3	24	10	1	11	4		4	3		3
23	愛知県	22	14	36	12	10	22	5	1	6	5	1	6
24	三重県	12	6	18	9	6	15	2	2	4	2	2	4
25	滋賀県	22	4	26	17	1	18	5	1	6	3	1	4
26	京都府	20	5	25	11	2	13	4	1	5	4	1	5
27	大阪府	448	261	709	270	158	428	107	65	172	91	54	145
28	兵庫県	105	28	133	63	17	80	17	7	24	11	6	17
29	奈良県	49	18	67	30	12	42	10	6	16	9	4	13
30	和歌山県	203	176	379	147	109	256	50	40	90	48	38	86
31	鳥取県	6	5	11	3	3	6	1	1	2	1	1	2
32	島根県	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1	1	2
33	岡山県	13	2	15	6	1	7	3		3	3		3
34	広島県	10	3	13	5	1	6	2		2	2		2
35	山口県	8	3	11	6	2	8	2	1	3	2	1	3

	区分	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
36	徳島県	2	7	9		6	6		1	1		1	1
37	香川県	9	3	12	6	1	7	2	1	3	2	1	3
38	愛媛県	5	1	6	2	1	3						
39	高知県	5		5	4		4	2		2	2		2
40	福岡県	5	1	6	5		5	2		2	2		2
41	佐賀県	1	1	2	1	1	2						
42	長崎県	3		3	3		3						
43	熊本県	1	1	2	1	1	2						
44	大分県	2	2	4	2	2	4	1	1	2	1	1	2
45	宮崎県	3		3	3		3						
46	鹿児島県	2	2	4		2	2						
47	沖縄県	2	1	3	1		1						
51	高校卒業程度 認定試験・大学 入学資格検定	1		1	1		1						
52	外国の学校等	5	6	11	5	4	9	1	2	3		1	1
53	文部科学大臣 の指定した者												
54	認定												
55	在外教育施設												
56	専修学校の 高等課程												
	合計	1,038	578	1,616	654	352	1,006	228	133	361	198	116	314

※一般選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者は欠席者数に含む。

※学校推薦型選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者で受験した者は受験者数に含む。

# 出会いのひろば(会員談話室)

## 【随想】

- |      |       |              |
|------|-------|--------------|
| ・准教授 | 橋本 唯子 | 和歌山大空襲の講義    |
| ・大5  | 北 道子  | 芦火700号を祝して   |
| ・大12 | 杉山 宏道 | キマダラカミキリ     |
| ・大12 | 西田 安男 | 同人になれたこと     |
| ・大19 | 石川 和彦 | 将棋と行動経済学     |
| ・大25 | 河本 要  | NHK文芸選評で特選に  |
| ・大40 | 木村 之保 | 終の棲家を探しています！ |
| ・院27 | 王 志 敏 | 事業紹介と人材募集    |

## 【俳句】

## 【短歌】

- ・大6 川渕 湧三

## 【川柳】

- ・大13 佐竹 明吟

「出会いのひろば」は皆様方の談話室です。  
活発な意見交換、作品の投稿をお待ちしています。

## 和歌山大空襲の講義

図書館副館長  
教養、協働教育部門准教授 橋本 唯子

本学では教養教育科目中「和歌山学」群のひとつとして、2015年度から「わかやまの先人たち」を開講している。陸奥宗光・南方熊楠など和歌山にゆかりのある先人を紹介する講義のなかで、毎年7月9日直前の講義回において、「和歌山大空襲」を取り上げているため、ここではその講義内容および講義後に提出する履修者のリアクションペーパーの一部を紹介したい(履修者に了承済み)。

「1945年7月9日和歌山に起こったことを知っていますか?」、講義冒頭で尋ねると、知っている学生は過半数ではない。「小中高では全くとって「和歌山空襲」について習わなかったが、現地民が習わなかったというのは少しばかりおかしい話だと思った。」という声がある<sup>1</sup>。

これを背景として、講義ではまず1945年における和歌山の空襲に関する状況を説明する。和歌山は戦略的に重要拠点とは想定されず、他都市からの疎開も少なくなかったが、実際には月平均20回を超える空襲があった。その理由は、「本来の目標、第一目標への攻撃として行われたものではなく、「迷子」「とぼっちり」「まきぞえ」空襲が多かったからである<sup>2</sup>。このような和歌山における空襲の状況について強い違和感を記述する学生も多い<sup>3</sup>。

さらに和歌山の市街地を第一目標として焼夷弾攻撃が実施されたのが、7月9日から10日にかけての空襲である。アメリカ軍資料によると、この空襲により「和歌山の2.1平方マイル(建物密集地域4.0平方マイルの52.5%)が破壊

され」た。また「爆撃の終わりの段階に攻撃した搭乗員たちは、2万フィートにも達する煙の柱をとまなう猛烈な火炎が全市をおおった」と報告した<sup>4</sup>。

講義では最も被害の大きかった場所として、汀公園(旧県庁跡地)を示した。特にバス通学の学生にとっては見慣れた場所である。「和歌山がこんなにも空襲を受けていたのは知らなかったです。特に、昔の写真などを見て、今生活しているすぐ近くで起こっていたと知り、驚きました。」「僕たちが60年生きるのが早かったら直面していた問題なので、人ごとのように考えられないなと感じた。」といった意見がみられ、すぐ近くに戦争があったことに驚きを覚える学生が多い。

戦争が終わっても、厳しい環境のなかで人々は生活を営まなければならない。講義後半では高等商業学校学生の戦中・戦後を、卒業生の述懐から示した。

『柑芦』13号所収「春雨けむる名草丘 座談会(東京支部)“戦時下の学園生活”」から、高商14回生の「私の入学した昭和11年頃は、いわば、動乱の夜明け前でした。翌12年に盧溝橋の銃声一発が引き金となって、泥沼の日中戦争が始まりました。私などは、北支あたりで事変はおさまるだろう、といった楽観的な気持ちもあって、比較的、冷静でしたネ。」との言葉を示す<sup>5</sup>。

この発言については、従来の教育方針について指摘する、正鵠を射た意見を伝えたい<sup>6</sup>。しかし戦争に敗れた後、進駐軍に接収された校舎では「進駐軍の残飯が寮と校内食堂にずいぶん出廻りましてね。ずいぶん腹の足しになったという話なんです。(略)“ガベッジ”といましてね。(略)朝は校長以下全員飯ごう

を持っていくわけです。(笑)」といった状況が発生する<sup>7</sup>。「ガベッジ」は「Garbage」、つまり生ゴミのことである。この表現に目を向ける学生もいる<sup>8</sup>。

空襲から77年。多くの学生にとって、戦争があった時代は理解しがたい過去かもしれない。しかし今年は何となく例年と違う反応も見受けられた。「現在ウクライナではロシアの侵略を受けており、日本も他人事ではないと思う。そういった事態に陥らないためには世界各国の結びつきを大きくし対立することのないようにしていかなければならないと思った。」この学生が理解したように、大学での学びは世界の動きと無関係ではない。このような声の変化も見極めつつ、学生にとってさらなる有意義な学びの機会を作っていきたい。



『名草が原に芦萌ゆる』より校庭に星条旗

- 1 学生のリアクションペーパーより。
- 2 和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史』近現代2(和歌山県、1993) P586。
- 3 「和歌山大空襲でほとんどが「迷子」「とぼっちり」「まきぞえ」空襲だという事を聞いて、信じられないと思うし、命を軽く見すぎであると考える。」学生のリアクションペーパーより。
- 4 注1に同じ。なお2万フィートは約6000メートルである。
- 5 『83年版 柑芦』13号(1982) P101。
- 6 「私たちが受けてきた平和教育は、「空襲が酷かった」「原爆が落ちて阿鼻叫喚だった」という内容がほとんどです。戦争被害の話ばかり、それも終盤の話ばかりが語られます。しかし実際の戦中では、講義の最初に「学校の行事も、戦時色はでていたものの、非常に楽しいものでした」という言葉が紹介されていた通り、その時代を「何となく普通に」生きていた(そんなもんだと思い込んで生きていた)人がほとんどだったのではないのでしょうか。(略)いつの間にか空襲が起きていて……平和な時代になって初めて、「自分たちはなんてひどい時代を生きていたんだろうか」「このひどい時代を普通なものだと思い込まされて、騙されて生きてきたんじゃないか」と気づいたのではないのでしょうか。私はそのことが一番恐ろしいです。」学生のリアクションペーパーより。
- 7 注6に同じ P117。
- 8 「ガベッジ」をもらって食べていた、それがありがたかったなんてそんな事はもう起こらないでほしいです。学生のリアクションペーパーより。

## 「芦火」700号を祝して

大5 北 道子

今年六月、「芦火」は700号に達した。

「芦火」は、和歌山高商～大学の同窓、柑芦会員のみの句誌として昭和38年(1963年)11月に創刊され、令和4年(2022年)6月号をもって700号を迎えた。

私が「芦火」を知ったのは昭和62年5月の、『高松キャンパスさよなら会』後の、5期生同窓会の時である。その頃私は、全国教職員を対象とする『文芸広場』誌(中村草田男選)の会員で「柑芦」誌にも十句ばかりを投稿していた。それで藤本編集者\*から、入会を勧められたのだろう。その時の話では、「選句十句と出句六句、たったのそれだけだから」ということだった。

「それだけなら」と入会したのが運のつき、しばらくすると、「私の選んだ一句(鑑賞)」というのが始まり、さらに「表紙絵で一句」、「切り捨て御免」とどんどん難しくなる。「だまされたア」とその都度苦情を言うのだが、もちろん取り合ってもらえない。こうして現在の「芦火」のスタイルが出来上がっていった。

私が初めて句集に参加したのは第六句集からで、それまでは5年ごとに発刊していたのだが、「この度300号を記念して句集を発刊することに」なったという。以後は基本的に4年ごとに発刊されている。

「芦火」の編集・発行は、初代、橋本不二庵\*(高1)さんから藤本秀峰\*(大5)さんへ、さらに三代目、山下 勝(大14)さんへと受け継がれてきた。この歩みは今、第四代に受け継がれようとしている。

今は安本緑汀\*さんによる「散歩道の自然」の写真と解説、その写真をテーマにした作句、「炉辺談話室」という会員の近況報告を兼ねた交流の場も盛況で、内容ももりだくさん、充実している。 以上

### 編集部\*注)

橋本 周蔵(俳号不二庵)高商1 大阪  
逝去

藤本 吉一(俳号 秀峰)大5 千葉  
逝去

山下 勝 (俳号 勝)大14 熊本

安本 純 (俳号 緑汀)大3 大阪

## キマダラカミキリ

大12 杉山 宏道

あれは遠い昔(昭和27年—1952年)、小学5年の夏休みの出来事であった。

当時、私は祖父母の故郷である越前・福井県の織田という田舎町に住んでいた。

地元では、織田信長生誕の地と言われている。当時の日本の地方は、どこでも自然がいっぱいだった。

あの日のことは、今でも鮮明に覚えている。

私は小さい頃から昆虫が大好きで、夏休みが来るのを待ち兼ねて「赤いだんぐち」へ、ほぼ毎日、昆虫を採りに出かけていた。

「赤いだんぐち」とは「赤いだん(谷)」という隣の村の入り口に至る数百メートルほど続く平坦な里山の山道の総称である。

その山道の両側には、昆虫たちの好む樹液を出すクヌギ等のブナ科の雑木林が続いていた。

お目当ては、その樹液に集まるカブトムシ、クワガタムシ、カナブン、カミキリムシ、等々。昔から子供たちのあこがれの昆虫界のスター達である。

私が昆虫好きになったのは、一回り上の叔父の影響であった。この叔父は当時、大学を卒業して間なしの中学校の先生であった。以前からよく私を昆虫採集に連れて行ってくれた。

叔父の昆虫標本は、子供の私から見てもカミキリムシ類だけに特化した宝物のような素晴らしい昆虫標本であった。

今でも散歩の途中等で落ちている昆虫を見つけると拾って帰って、破損していれば木工ボンド等で丁寧に元の形に近い状態に修復し

て、標本箱に収めるのが習慣になっている。

また叔父は音楽の才にも恵まれ、今で云うバンド(当時は楽団と云った)を結成して、その方面でも活躍していた。

専門の楽器はアコーディオンであった。名手だったと思う。

その日も、私は近所の遊び仲間を引き連れて「赤いだんぐち」に「虫とり」に出かけた。

山道へ入ってすぐの、おなじみのかなり太いくヌギの高木をいつものように力一杯突いて揺すった。子供の力ではその樹木に与えられる衝撃度は、たかが知れている。それでもわずかの振動に反応して、虫は落ちてくる。

この時もバラバラと何匹かの昆虫が周辺の草むらに落下した。

瞬時に、それぞれの落下点を頭に入れて走り出した。

が、その時、視界の片隅にいつもとは違う何かを感知した。

飛び方から見てカミキリムシが一匹、右手の草むらに消えた。

クワガタ、カナブン等には目もくれずに、そこに突進した。

中型で淡い茶色系のヒゲの長いカミキリムシが下生えの草のてっぺんにとまっていた。

そいつが触角を左右に振って、今まさに飛び立とうとしているのを見て、あわてて触角を傷めないように気をつけながら、そっと両手で包み込むように捕獲した。

そのまますぐ、カブトムシ、クワガタムシ達とは別の入れものに注意深く収めた。

初めて見るカミキリムシだったが、何となく貴重な珍しいカミキリ!という直感があった。何故か、気持ちも高揚していた。

家に帰ると、丁度叔父が来ていた。「こんな採ったよ!」

「おー！キマダラだな！どこに居った？」

その時、初めて「キマダラカミキリ」という名前を知った。

同時にそれは、簡単には採集しにくい、珍しい種類のカミキリだということも知った。

叔父の標本箱には、当時まだキマダラカミキリは一匹も入っていなかった。

その当時大切に使っていた戦前・昭和八年発行の三省堂「昆虫図譜(カラー)」(平山修二郎著)には、キマダラカミキリは、

「成虫ハ、六、七、八月頃ニ出現スレド少ナシ」と記載されている。

今でもこの「昆虫図譜」は、折に触れて引っ張り出して使用することがある。

時は流れて、叔父が他界した後、その昆虫標本一式は私が引き継いだ。現在も大切に保管管理している。

そこに収められているキマダラカミキリの標本ラベルには、今ではかなり色褪せてしまっているが「1952 織田」

と、叔父の筆跡でその和名が明記されている。

叔父はその1匹を含めて、生涯に3匹のキマダラカミキリを採集していた。

その後、現在までに、私は3匹のキマダラカミキリを採集し標本として保管している。

その内の1匹は、遙か昔、大学4年の夏、ヨット部の仲間たちと紀伊半島一周旅行(もちろん無銭旅行)をした際に、新宮市の山中の公衆トイレで捕獲したものである。



キマダラカミキリ

## 同人になれたこと

大12 西田 安男

和歌山高等商業学校、和歌山大学同窓生の俳句同人誌に60年近い歴史のある「芦火」がある。

和歌山経済専門学校も同じ流れを汲むが、その同窓生は同人にはなっておられない。

「芦火」の第1回句報は昭和38年10月。杉浦巳三男（水棹）さん、高田芳太郎（越山）さん、井口正利（雅とし）さん、奈良正一郎（爽歌亭）さんの4名（氏名の後の（ ）は俳号、以下同じ）で始められた。皆高商1回生の方である。

第4回句報から、田村健（竹志 高商3回生）さん、滝本寿勝（布衣→八九子 高商3回生）さんが入会され、次回から橋本周蔵（不二庵 高商1回生）さん、大西清吾（晴耕 高商2回生）さんが入会予定で、余り多くても困るがまだまだ入会して欲しいという書き込みがある。この時このお二人の他に川野昌有（路畔 高商11回生）さんも入会された。

「芦火」という同人誌名は、水棹さんが師事されていたホトトギス同人・後藤夜半先生が付けてくださったそうである。

夜半先生は「脚誌名句シリーズ後藤夜半集註＝後藤比奈央、発行所社団法人俳人協会昭和59年刊」によると、夜半師には姉と二人の弟があり、弟二人は能楽喜多流に関わった。末弟実氏は喜多六平太師の養子となり、後に喜多流宗家に。次弟後藤得三氏も能楽師で、二人とも無形文化財であり、芸術院会員であられた。六平太師夫人は、囲碁界の母と云われた文子氏である。

私が俳句を習うようになったのは、和歌山大学が経済学部と学芸学部の二学部のみので

校で、先輩との距離が非常に近かったからである。

私には和歌山大学が小さかったことが非常に良かった。

昭和42年に柑芦会神戸支部に入会した。支部長は高商5回生の足立さんで支部総会出席者も10人台であった。中華料理の丸テーブルを囲み話が弾んだ。何回か出席する内、水棹さんに俳句を勧められた。水棹さんは、私より三回り上の巳年で同じ干支と云うこともあって、随分目を掛けてくださった。

昭和53年頃水棹さんに誘われ「芦火」に入会した。当時の宗匠あるいは編集人は新聞社を退職された不二庵さん、年1回は日帰りの吟行を行った。不二庵さんが体調を崩された昭和60年ごろから1年間位私が編集をした。

当時は締め切りがあっても守らない人も多く、出句用紙は新聞のチラシの裏であったり、B5用紙であったり、方眼紙であったりまちまちであった。

句報も手書きであった。句報はいつ届くかわからない等、句報作りに難渋している私を見かねた藤本吉一（秋峰→秀峰 大学5回生）さんが電話で「私が発行人になりましょう」と言って下さった。

藤本さんへの宛名は、一般の方は吉一、俳句関係者は秀峰と別けられ、俳句への思い入れは大変深かった。

発行人が変わって、郵送用封筒が中身が透かせば「芦火」と判る様に一重の茶封筒に統一され、出句用紙もB5版の原稿用紙となり、選句用紙も統一された。

句報も、手書きからワープロに替わり、表紙絵も、秀峰さんの知り合いの絵描きさん（逸見輝子さん）に依頼された。

手書き→ワープロ→パソコン→白黒→色付きと変わり、締め切り日が守られる様になり、句報が引き締まった。

平成24年4月7日、名発行人・秀峰さんが亡くなられ、「芦火」第579号（2012年5月号）と第580号（2012年6月）は2001年6月『月の石』を著された黒田隆幸（遊生 大学4回生）さんが臨時代理発行人になられた。

第581号（2012年7月）より10年近く熊本市在住の山下勝（勝 大学14回生）さんが緻密な編集で発行人となってくださっている。「芦火句集」は、第12句集、第13句集、第14句集と上梓できた。2016年に起きた熊本大震災の時も、1号の休みもなく発行された。同人は全員感謝の言葉以外に思い付かない。

現在同人は19名、「芦火」界も高齢社会で大学25回生が最も若い同人である。

新型コロナウイルス禍で吟行も実施できていないが、若い方に是非俳句に興味を持って頂きたいと思っている。

句報発行方法はアナログからデジタルに変わったが、俳句のアナログ性を大切に、きっちり割切れない世界も残って欲しいと思っている。

貴しは馬酔木の縁と五月晴れ 安男

超硬合金とスプレーノズルの製造販売

**EVERLOY**

株式会社 共立合金製作所  
KYORITSU GOKIN CO., LTD.

取締役会長 松本康三（大11回）

<https://www.everloy.co.jp/>

本 社 ・ 工 場 / 〒663-8211 西宮市今津山中町12番16号  
TEL(0798)26-3606代 FAX(0798)26-0544  
ノズル事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋95-2  
TEL(0795)72-3374代 FAX(0795)72-3376  
超硬事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋100-1  
TEL(0795)73-0026代 FAX(0795)72-2643  
支 店 ・ 営 業 所 / 西宮・大阪・東京・九州・倉敷・名古屋  
関 係 会 社 / 株式会社 九州エパーロイ

Always available as your home  
and company lawyer.

司法書士法人 さくら国際  
行政書士法人

SAKURA INTERNATIONAL LEGAL PARTNERS



司法書士 櫻井 恵子  
行政書士

入管業務

各種  
許認可

会社設立

相 続

成年後見

民事信託

TEL.06-6245-3649 地下鉄本町駅より  
徒歩1分

URL:<https://www.sakura-kokusai.com/>

## 将棋と行動経済学

大19 石川 和彦

行動経済学がチョとしたブームである。書店のビジネス棚をみると関連図書が散見される。「行動経済学」とは一口で云うと心理学を加味した経済学ということになる。

さて、将棋においては<先手と後手ではどちらが有利なのか>というテーマがある。公式記録では先手の方が勝率53%程とわずかに高い実績がある。これは先手を持つと作戦の幅が後手よりもやや広いので先手をもって指したいとほとんどの棋士が思っている。それでは<その先手と後手をどうやって決めるのか>ということになるが、上手の歩を5枚振って表の「歩」が多く出れば上位者先手、裏の「と」が多ければ下位者が先手となる。先後いずれになるかの確率は公平だという理屈になっているが、これもどうやら表が出る確率が53%という統計がある。

この先後の決め方・受けとめ方を行動経済学の観点からみるとこうなる。先手になりたいと振り駒の様子を念じていると得てして後手番になったりするものだ。その思いが強いほどそうならなかったら残念な思いも強くなる。どっちでもいいかとはほどよく合理的であり且つ確率に振り回されてしまわないことが大切だ。あくまでも受動的な意思決定の理想的な在り方だと私は思っている。こういう考え方は行動経済学で云う「プロスペクト理論」で説明がつくような感じがするがどうだろうか。

然しながら、先手・後手いずれであっても実力ある者が最終的には勝つのが将棋の世界なのです。

参考文献:行動経済学

ミシェル・バデリー著  
早川書房文庫

行動経済学入門  
ダン・アリエリー著  
早川書房文庫

## 総合リサイクルで環境保全に取り組みます 大成金属株式会社

製鋼原料  
ギロチン・プレス加工  
産業廃棄物収集運搬業  
産業廃棄物中間処理業

代表取締役 伊藤 弘之 (大25)

本社 名古屋市南区忠次1丁目8番15号  
電話 052(691)2956番代 FAX 052(691)2960番  
半田工場 知多郡武豊町字石川95-1  
電話 0569(72)5886番代 FAX 0569(72)5890番  
U R L <http://taiseikinzoku.co.jp/>

## NHK 文芸選評で特選に

大25 河本 要

72歳の私は、現在、高齢者介護施設に居るが、文芸作品の投稿を趣味にしている。俳句、短歌、エッセイなど、新聞などでよく紹介されている。私には、精神障害があり、長らく病院で治療を受けていたのだが、入院中も文芸の勉強は続けてきた。精神障害者の場合、社会参加が難しいのであるが、私の場合は恵まれていると言えよう。

ある日、私は朝早くから、朝日新聞の記者の取材を受けていた。エッセイが紙面に取り上げられ、記者の方が施設に訪ねて来たのだ。「これからも健筆をふるって下さい。」と記者が帰られたあと、NHKラジオで短歌の入選発表。選者は工藤吉生先生で、お題は、「黒」。

入選15人の中で、私の作品が特選歌に選ばれて全国に放送された。

黒点がダリアの花に見えるとき  
血が騒ぎ立つ異星人われ

最高にうれしかった。施設の人に話すと、皆祝ってくれた。和太時代は6回入院し、8年かかって卒業した。しかし今は幸せになった。

NHKラジオ文芸選評 入選の短歌

初恋の人と同じ御名前の  
おばあさんの手触れてみました

待ちわびし70才の誕生日  
逃げ隠れせず生きてゆけると

納豆の製造元に手紙書く  
遠地の住所ルーペに読みて

天然紀三井寺温泉

**龍の湯**

和洋102室、収容人員400名  
無料送迎バス5台有り  
合宿・各種競技等のご宿泊 格安料金御利用下さい。  
■ご宿泊はお客様のご希望にあわせて和室・洋室をご用意できます。

ガーデンホテル  
紀三井寺

**はやし**

〒641-0012  
和歌山市紀三井寺673 国道42号線沿紀三井寺入口

お問合せ・ご予約

**TEL.073-444-1004**  
**FAX.073-446-2321**

## 終の棲家を探しています！

大40 木村 之保

柑芦会の皆様こんにちは！経済学部40期の木村之保です。

今回は皆様にご協力を頂戴したく、寄稿させていただきました。

遡ること十数年、四十歳を過ぎた頃から橋本市にある「ゆの里」という温泉に通っています。

特にここ三年ほどは、毎月月初めに二泊三日でお世話になっております。

初日はコース料理と温泉、

二日目は朝食後、高野山か慈尊院にお参りし、帰ってきたら温泉、

三日目は朝食後、サウナに入ってパスタランチを堪能

非常に充実した二泊三日です。

そんなわけで橋本市・かつらぎ町・九度山このあたりは私にとって癒しのパワースポットになっております。

ご存じの方も多いと思いますが「ゆの里」の温泉は、アトピーの方々の聖地でもあります。

常連の私は、何人ものアトピーの方をみておりますがびっくりするくらいきれいなお肌になっている方がたくさんいらっしゃいます。私はありがたいことにアトピーではございませんが一時期不眠症で悩んだことがございます。ここの温泉は精神安定も効果の一つとして大きく挙げられ、実際助けてもらいました。私の症状は中医学でいうところの骨蒸潮熱にあたります。どのような症状かといいますと冬でも寝汗で毎日シャツを三枚四枚と交換

しないとイケないのです。凄いですよ！シャツが絞れるぐらいずぶ濡れの寝汗です。毎日毎日数か月このような症状で苦しみました。当然眠れません。頭も熱いので水枕で寝ておりましたが二月の極寒でも朝になっていたら四十度くらいのお湯になっていました。女性で一生懸命仕事を頑張る人で比較的責任のあるポジションの人がなるらしいです。後輩の方たちもこういう悩みがあるようでしたらご連絡ください。お勧めの漢方薬などお力になれると思います。

さて、「ゆの里」併設の宿泊施設兼レストラン「このの」のパスタは、とても美味しく、私の知る限り大阪でもここより美味しいパスタはそうないのではないかなあとと思います。

和歌山大学では、生涯の仕事に御縁付けしていただきました。

高野山の法善寺では、大学時代に邦楽部の合宿でお世話になりました。橋本市の「ゆの里」では、心身ともにメンテナンスをしていただいております。

なんやかんやで私、和歌山にご縁があるようです。

ちなみに、「ゆの里」は最寄り駅が紀伊山田駅が学文路駅になります。橋本市駅から送迎バスが出ていますので私はそれを利用しております。

そこで皆様にお願いがございます。

もし相続や引っ越し等でもう住まないよというお家がこれらの地域（橋本市・かつらぎ町・九度山）にございましたら是非私にお声がけください。

終のすみかになるかもしれない楽しいお家を探しております。平屋の古民家ならさらに嬉しいです。どうかよろしく申し上げます。

電話06-6921-7224 木村会計事務所まで



ビルメンテナンス

# 株式会社 南北

## 南北グループ

インテリア雑貨・家具  
フォレストアクタスショップ

レンタルマット・介護用品レンタル  
株式会社ケイ・コーポレーション

プロパティ・マネジメント  
株式会社南北ピーエム

〒641-0035 和歌山市関戸5丁目7-6 TEL 073-444-3511 FAX 073-444-3411 URL <http://www.namboku.com>



## 日本初受賞 SFWSO 2021

The San Francisco World Spirits Competition

国際的な品評会「SFWSO2021」にてリキュール世界一の称号である最高栄誉賞「ベスト インショウ」を日本初受賞。



[ The CHOYA CRAFT FRUIT ]

希望小売価格 1,320 円(消費税込)



The  
**CHOYA**  
世界一へ。

チョーヤ梅酒株式会社  
代表取締役社長  
金銅 重弘(大27)

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。お酒は楽しく適量を。

妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。 チョーヤ梅酒株式会社 [www.choya.co.jp](http://www.choya.co.jp)

## 事業紹介と人材募集

院27 王志敏

### 略歴

王志敏君は、1963年中国河北省張家口市生まれ、黒龍江省ハルビン市育ちです。

1984年ハルビン工業大学金属材料学部を卒業し、国営企業のエンジニア。

1989年ハルビン市役所計画経済委員会地方工業管理室勤務で、経済経営に興味を持つようになり、1991年来日、和歌山大学教育学部社会科大倉秀介教授にモラルを勉強した。動機付けやモチベーションを究明したく、経済学部正亀芳造先生に従ってHRMを勉強した。1994年に院生27期を修了し、関西国際貿易株式会社に就職、中国との貿易に従事。

### 創業

1999年新世紀を迎え、W通商有限会社を作り、食品の輸入販売を始めた。

中国キムチ輸入から、ひじき、各種中華食材を手掛け、北海道から沖縄までお客様を持つように。この過程で生鮮野菜の加工に誘われて2006年6月GF株式会社を創業。

### 開拓・成長

運が良く、創業したてのGFは、丸亀製麺の成長軌道に乗り合わせ、順調に行くようになったが2008年に餃子事件でチャイナフリーで一番の大口のお客様を失い、倒産の寸前。秋のリーマンショックで、泣き面に蜂。四面楚歌の王氏は、



奮起し、現平野工場をM&Aによる拡大路線に、セブンイレブンへの納品から、吉野家・日清医療・・・次々と、会社を成長軌道に乗せた。

### 苦悩と病

王氏は、いつも工場から出た不使用部分（曰く残渣）で悩んでいた。農家との取引で今まで日本の農業が素晴らしい規格品を作ったのは、40%以上の規格外品の存在が分かった。尚、流通段階にも更に15%の行き場のないものも発生。消費者の口に入るのは、農家収穫の30%。何とか、その70%を有効利用せんと考え始めた。2018年商品開発の為、美原工場を購入。りそな銀行のSDGs社債の引き受けで、SDGsに発展を求めると思った矢先、脳出血で倒れた。

### 第二創業

病の中、見舞いに来る友人との会話で、考えた末、VEHビジネスモデルを練りだした。

王氏の考えはこうだ。GFは、野菜（果物）の加工業者、今の強みを生かし、粒子化加工によって規格外品・余剰品・不使用部分を均等化すれば、規格品を超える品物になる。これは、V事業だ。しかし、調べてみたら、日本にこのような事業をしているところは無く、粒子化加工された素材をどう使うか？病の中、食器を作ってみようと思ひ、探し回った。2019年6月ハルビン貿易商談会でトウモロコシの澱粉で出来た不思議な食器と出会い、9月に野菜を主原料とする食器が成功。

VAM<sup>®</sup>（バム）と名付け、生産プラントの開発に没頭。2021年に特許出願、商標取得。8月6日VAM<sup>®</sup>の日も記念日登録。事業再構築補助金採択され、2022年9月量産開始。これは、E事業だ。

### いい事業にいい人材

毎日、日本全国に廃棄される野菜・果物が数

万トンに上る。植物に特有なファイトケミカルが無残に流失。ベジバー・ベジブロス・ベジキューブを作る。これは健康に役立つH事業だ。

VEHは、SDGs事業だが、色んな人材と共に、アンラーニングし、未来を開拓していく。

(王社長の叫び)

どうか、僕の後輩方、当社のVEH事業に共感を持って頂けるならば、躊躇なくすぐ行動して欲しい。成長のハイウエイに入ったGFと、共に明るい未来を迎えましょう。

GF株式会社 代表取締役

王志敏 (院27期)

大阪市東住吉区今林2-6-21

TEL:06-6757-8830 FAX:06-6757-8870

<http://www.gf-holding.co.jp>



フードコーデ事業



VAM工場

Mission:Benefit Humankind

使命：造福人類

ミッション：人類の幸福を築く

## GF株式会社 VEH事業

V(Vegetable Materialization):野菜素材化事業、 $\mu$ M級粒子化加工

E(Environment):環境事業、フードロス削減、社会的省エネ・カーボンニュートラル

H(Health):健康事業、ファイトケミカル×機能性、野菜健康効果最大化

本社：大阪市東住吉区今林2-4-19

FC工場：大阪市東住吉区今林2-6-22

田島工場：大阪市生野区田島6-7-22

神河町工場：兵庫県神河町栗7

本社工場：大阪市東住吉区今林2-6-21

平野工場：大阪市平野区長吉六反1-7-20

美原工場：堺市美原区太井671-11

<http://www.gf-holding.co.jp>

GF株式会社

人材雲集之處

Where the galaxy of excellent students = future talent

和大生の皆さん、GFと共に、アンラーニングし、  
いつも斬新な自分で、VUCA時代に挑戦してみませんか。

VUCAの時代に、SDGs事業は、不動の地位。GFのVEH(ベッチ)事業、時代に従う多変的で、主導的に時代に合致す。

ダイバーシティ・ジェンダー時代に、種族・肌色・性別・・・超えて、大同に向かう。

GFは、時代の変化へ挑戦する人材を求める。

GF会社経営方針： $\infty$ 無限大<sup>TM</sup>。この $\infty$ は、トランスフォーメーションである。

時代の変化を感じ、感激し、歓迎するすべての人材に門戸開放しています。

今まで勉強したことは、いずれにレガシーになる。VUCA時代こそ、一緒にアンラーニングしてみませんか。

# 俳句同人会「芦火」

和歌山大学経済学部OBによる俳句の会「芦火」は昭和38年の創刊です。現在59周年目になります。通信俳句でひと月もかけることなく、現在(6月)700号となりました。50号ごとの句誌「芦火第14句集」を令和4年5月に発刊しました。句集、月次号ともに和歌山大学図書館にて保管管理されています。会員は現在17名です。「芦火」へご加入を募集しています。在籍する芦火同人の卒業期とその句をご紹介します。忌憚のないご意見をお待ちいたします。

卒回	本名(俳号)
(大3) 萩焼の藍の深さや新酒酌む 大盛の十辛カレー山笑ふ	安本 純 (緑汀)
山宿の湯屋まで素足春の雪 竹落葉古刹の庭の夕明かり	安田 善富 (善富)
(大4) 花びらの絨毯通る散歩道 郭公や古墳の丘にこだまする	八木 彌 (わたる)
願ひごと託す今宵の流れ星 空高く雲に溶け込む渡り鳥	野崎 雅廣 (六甲)
(大5) 木に匂ひ土に匂ひや春兆す 置いてあるだけの石臼そぞろ寒	児玉 俊昭 (としを)
夏至の日の夕日留まる北の窓 ものの芽の日毎に違ふ貌みせて	北 道子 (草炎)
ベビーカー集ふ公園日脚伸ぶ 伊吹嶺や天空近き大花野	梅川 恵五郎 (恵吾)
リフトより紅葉の山へ足垂らし 鹿一頭縄文杉を過りけり	内海 恭行 (恭行)
(大6) なわばりを鋭く高く百舌の鳴く 女生徒の腕語りだすころもがえ	山本 嘉廣 (かぞう)

卒回	本名(俳号)
(大8) 青蘆や匂心繋ぎ七〇〇号 あはれ吾の春野に転ぶ草の嵩	後藤 大 (碧亥)
春の日や浪速に残る渡し船 梅酒漬ける大病もせず惚けもせず	上福 正浩 (史浩)
(大11) 手術して目明きとなりて春を待つ 天高し連れ添う二人喜寿傘寿	寺西 祐司 (てらにし祐)
(大12) ひらがなの草書の如くさくら散る 水底が動き始めし春の川	西田 安男 (安男)
(大14) 山々の雲湧くところ蕎麦の花 天の川果ては何処ぞと眺めをり	山下 勝 (勝)
(大17) 菜の花やときどき赤いランドセル 満月を差し上げ沈む富士の影	穂永 千秋 (穂心)
(大20) 夕焼けに向かひて進む貨物船 古民家や築百年の隙間風	平林 義康 (温州)
(大25) 上海に甥は赴任や巢立鳥 緑陰やマザーグースの文庫本	河本 要 (要)
双六の上りが遠い春炬燵 春愁や柱時計が傾きぬ	八木 幸彦 (甲舟)

連絡先 〒669-1133 西宮市東山台3-41-7 電話 0797-62-0353 編集者 穂永千秋(17期)  
〒862-0954 熊本市中央区神水1-7-2-301 電話・FAX 096-382-4767 前編集者 山下勝(14期)

短歌



閑居近詠

川淵 湧三(大6)

ふるさとは遠きにありて想うもの

友の便りをしみじみと読む

歳月をたぐれば浮かぶ友の家

桶屋傘屋に風呂屋もありし

文通と汽車を頼りに過ごしたる

わが青春はまぶたの奥に

望郷の歌多かりしわが昭和

みな夜汽車にてふるさとと離る

反戦と平和の集いに歌ひたる

ロシア民謡まぼろしなりや

わが庭につつましく咲く百日紅

こもり勝ちなる我をなぐさむ

晩秋の山野を下る土讃線

ただ一輛に夕陽をあびて

佐竹 明吟(大13)

価値観が近い友との半世紀

逃れたい怖い世の中メタバース

冗舌の妻に毛ガニを食べさせる

口車に乗りへソクリをついポロリ

ワクチンと交換したい拉致家族

同窓会誰が生徒か先生か

子の夢がユーチューバーという時代

戦争に正義不正義有るものか

花火師の出番に耐えてきた火薬

耳齒目と悪くなる老い押し寄せる

## 大学情報

柑芦会 会長 北村 修一

### 1. 令和4年度・和歌山大学同窓会・理事会について(ご報告)

4つの学部の同窓会が合同して和歌山大学を支えるための組織として「和歌山大学同窓会」(通称:全学同窓会)がありますが、6月3日(土)にはその第35回の理事会が2年ぶりに学内で開催されました。柑芦会からは、10名の理事のうち坂本漸氏(8期、和歌山支部長)、糸川公偉氏(26期、大阪支部長)、小林淳氏(30期、東京支部長)、橋本孝郎氏(16期、和歌山支部)、西本正人氏(23期、大阪支部幹事長)、浦義弘氏(17期、本部事務局長)と共に北村修一(18期)が出席しました。

会議では、令和3年度の決算報告と令和4年度の予算案、事業計画案について説明があり、すべて原案どおり承認されました。続いては任期満了に伴う会長・副会長の選出が行われ、会長職にはこれまでの2年間担当された西川昌克氏(観光学部「飛耀会」会長)から山野井康氏(システム工学部同窓会「@sys」会長)へとバトンタッチされました。私を含む他の3学部の同窓会長は副会長職を務めることになりました。これで4つの学部ともひと通り会長職を経験したことになります。

なお、会議の冒頭では伊東千尋学長など大学側から、起業家支援や起業家教育のための「和歌山大学アントレプレナーシップ教育の取組み」、並びに学生が卒業後も使い続けられる「和歌山大学生涯アカウント(COCOアカウント)」についての説明がありました。

また会議の中で配布された資料を使って、新入生が入学時に納入する「入会金」の状況が報告されました。

その後の意見交換会では、全学同窓会の活動としてホームカミングデーの企画段階から参画することや、硬式野球部の活躍に代表されるような大学の名声を高める実績を残した課外活動に対する寄付などの支援を各学部の同窓会がバラバラにやるのではなく、全学同窓会として実施してはどうか、などの意見、提案が出され、これまでにないくらい活発な意見が飛び交う会議となりました。

## 2. 令和4年度・経済学部との定期懇談会について(ご報告)

6月3日(土)には和歌山大学同窓会(通称:全学同窓会)の後に引き続いて、経済学部と柑芦会との定期懇談会がこれも2年ぶりに開催されました。

学部側からは、芦田昌也学部長のほか辻本勝久教授(和大評議員)、柳 到亨教授(副学部長)、金川めぐみ教授(副学部長)、本庄麻美子准教授(キャリア教育担当)、森田智也分室長(学務課経済学部分室)、三村理恵係長(同・分室)が出席され、柑芦会側からは全学同窓会理事会出席者が全員出席しました。

会議で柑芦会側からは、当会議の本来の目的の一つである(一財)和歌山大学経済学部後援会の事業、予算、正味財産などの報告のほか、本年度から創設した「柑芦会EC奨学金制度」についての説明等を行いました。

学部側からは、新装なった経済学部棟の一部を見学させていただいたほか、本年度の卒業生の就職状況や入学者の状況、経済学部創立100周年記念事業の現状、経済学部の現況などが報告されました。就職率は、前年度の97.7%から97.9%へ改善が見られたものの、コロナ禍前の99%台には戻っていない厳しい状況だそうです。学部創立100周年に向けては各種の記念事業を来年10月に実施する方向で、大学本部と調整が進んでいることが学部長から報告されました。また今年度から6年間の「第4期中期計画」においては、文科省が提唱する「高度専門型インターンシップ」制度に大学院生を主対象として取り組むという意向が学部長から示されました。

意見交換会の中では、学部側から、柑芦会(財団)から経済学部への寄付事業について、従来から行われていた教育設備や教育・研究に対する寄付についても継続してほしい旨の要望が出されたため、柑芦会側としては学部から正式に要望書が提出された場合には前向きに検討することをお伝えしました。一方、柑芦会側からは現役学生と卒業生との交流の場であった柑芦会の活動拠点である「ゲートウェイサロン」のスペースの確保と復活について学部側へ要望をいたしました。

以上

## 柑芦会定例理事会・評議員会開催さる

2022年度の定時理事会・評議員会について、新型コロナウイルス禍のため、オンライン（Zoom）で開催されました。

実施日：2022年5月21日（土）13：00～16：15

参加者は参加対象者76名のうち43名のオンライン参加、64名の事前賛否投票者で、来賓として大学から伊東学長、芦田経済学部長をお迎えして開催されました。

### 次期会長に 北村修一（大18）氏 再選

本年度は柑芦会会長の改選が行われましたが、支部からの会長候補者の推薦は、北村修一氏（大18、大阪、東京他8支部からの推薦）一人であったため、立候補者は北村氏ひとりでした。（柑）1号議案として会長選任・承認を審議し、全員の拍手で再選されました。なお、事前の賛否投票では、事前賛否投票者57名のうち56名の賛成でした。

また、予定の議題は全て可決されました。

#### 第一部 和歌山大学柑芦会 理事会

- 議題 （柑） 1号議案 任期満了に伴う会長選任・承認の件  
（柑） 2号議案 2021年度事業報告及び決算案承認の件  
（柑） 3号議案 2022年度活動方針案承認の件  
（柑） 4号議案 2022年度事業計画及び予算案承認の件  
（柑） 5号議案 柑芦会名簿（2023年度版）発行承認の件  
（柑） 6号議案 柑芦会個人情報保護方針制定の件  
（柑） 7号議案 学生の課外活動への「お祝金」支出の件  
（柑） 8号議案 会則変更（「課外活動助成」追加）の件  
（柑） 9号議案 柑芦会入会（正会員）申請の件

#### 第二部 （一財）和歌山大学経済学部後援会 理事会・評議員会

- 議題 （財） 1号議案 役員任期満了に伴う役員改選の件  
（財） 2号議案 2021年度事業報告及び決算案承認の件  
（財） 3号議案 2022年度事業計画及び予算案承認の件

報告及び意見交換

- (1) 体制強化策（審議及び意見交換）
- (2) 経済学部創立100周年記念事業（報告）
- (3) 本部設立の委員会について（報告）

委員長活動報告 支部活性化支援委員長、学生支援委員長  
Web対策委員長、柑芦編集委員長

(柑)1号議案

柑芦会 会長任期満了に伴う次期会長選任・承認の件

- ・ 会長選任についての柑芦会会則の細則2に基づき、2022年2月2日付で各支部に次期会長候補者の推薦をお願いしましたところ、現会長の北村修一氏を推薦した支部が8支部、推薦者なしと回答のあった支部が13支部でした。

各支部からの会長候補者の推薦結果(3/18締切)

北村修一氏を推薦した支部…8支部

大阪、東京、東海、神戸、京滋、福井、広島、香川

推薦者なしと回答のあった支部…13支部

和歌山、北海道、東北、北陸、三重、姫路、岡山、山陰、

徳島、高知、愛媛、九州、沖縄

回答の無かった支部…2支部

静岡、山口

- ・ 細則2の(3)で「推薦された者が同意した場合は立候補者となる。」となっています。選挙管理委員より2022年3月22日付で本人に確認をしたところ、2022年3月23日付で「同意する」との回答がありました。
- ・ 立候補者は、北村修一氏ひとりです。
- ・ 細則3では「会長の選任は、理事会において出席理事の過半数の決議によって行うものとする。」となっています。

つきましては、次期会長に北村修一氏を選任することをご承認下さい。

以上

(柑)3号議案

## 柑芦会 2022年度 活動方針 (案)

会長：北村修一

【活動方針】… 21年度と変更なし

- ① 優先度の高い課題の解決を通じ、柑芦会全体と各支部の活性化を図る
- ② 柑芦会内の各層でのコミュニケーションと一体感のさらなる向上を図る
- ③ 母校のステータス向上のため、母校と学生に対する支援を強化する

【重点項目】

### 1. 柑芦会の体制強化と充実

- ① 「本部と支部の役割の見直し」の継続検討
  - ・ 各支部に対する本部の支援のあり方を中心に
- ② 活動停滞支部の立て直しの支援
  - ・ 支部活性化支援委員会を核とした支援活動の展開

### 2. 柑芦会本部業務の充実と効率化

- ① 会員名簿、アドレス帳の充実
  - ・ 「名簿管理システム」の円滑な導入と活用、大学の「生涯アカウント」の活用開始
- ② 広報活動の充実と見直し
  - ・ 紙媒体主体の広報活動からデジタル化への転換と、これによるコスト削減の試行

### 3. 和歌山大学経済学部創立100周年記念事業への対処

- ① 「100年史」の発刊や記念行事に対する支援の継続
  - ・ 「実行委員会」への参画ほか、物心両面での支援活動
- ② 柑芦会100周年(2026年)
  - ・ 独自で開催するか、どんな内容にするか、の検討

以上

(柑)5号議案

柑芦会同窓会名簿(2023年度版)発行承認の件

経済学部創立100周年を記念して同窓会名簿を発行する。

- ①名簿発行日           2023年11月（予定）
- ②名簿仕様             A 4 版 2 段組   526頁
- ③名簿頒布             1冊4,800円
- ④スケジュール        ・ 調査ハガキ発送                   2023年2月  
                          ・ 追跡調査開始                       2023年4月  
                          ・ 新卒者への調査ハガキ発送       2023年9月  
                          ・ 発行                                   2023年11月
- ⑤備考                   ・ 後ろ見返しに転売防止のためシリアルナンバー（バーコード付き）  
                              を印刷し、No管理を行う。  
                          ・ 名簿発行後4年間会員データ管理を業者が行う。（無料）
- ⑥業者                   株式会社サラト  
                              〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172  
  T E L : 079-284-1380
- ⑦前回の発行           2016年2月        業者：株式会社 旭出版  
                              A 4 版 2 段組   431頁

以上

(柑)7号議案

## 和歌山大学学生の課外活動への「お祝い金」について

柑芦会 本部

柑芦会では、硬式野球部が2回目の全国大会出場を果たしたことを契機に、今後も課外活動において同様の成果があった場合の対応について予め規定を作成しておくこととしたい。この内容は柑芦会の「会則」の「第3条(事業)の2項目目の「母校に在学する学生に対する支援(奨学金制度、講座の提供、面接指導等)」に、「課外活動」も加えることにより反映したい。

※本年5月15日の第5号議案の「会則変更」の文言を一部修正(追加)する。(下線部分)

「母校に在学する学生に対する支援(奨学金制度、講座の提供、面接指導、課外活動助成等)」

### 記

#### 【内 規】

1. 全学部横断の課外活動において、体育会クラブが全国大会に出場(文化部連合会の場合もこれに準ずる)して和歌山大学の評判やイメージを高める功績を残し、かつ出場のための多額の費用を補うための支援の要請が大学(学生支援課)からあった場合、これをお祝いし遠征費用などの一部を支援する意味で、柑芦会から「お祝い金」を贈呈することがある。

① 個人 : 最大 5万円

② 団体 : 最大 50万円

(注1) 対象は、テレビや新聞などで広く好意的に取り上げられるなど社会的に話題を呼び、和歌山大学の名声や評判を著しく高める効果があったものとする。

(注2) 上記の「全国大会」とは、地区大会等を勝ち抜いて出場できるものを対象とし、下記のものとは含まないものとする。

・ 申し込めば比較的簡単に出場できるもの。

・ 「国公立大学のみ」、「初段の部」など限定された範囲での出場者を対象とするもの。

・ その他、上記に準じるもの。

2. 柑芦会は、各支部および個人による寄付については特に「ガイドライン」は設けない。

3. 上記の全国大会において優勝または上位入賞などの顕著な成績を残したクラブに対しては、上記の「お祝い金」とは別に「特別顕彰金」を贈呈することがある。

4. 上記の「お祝い金」および「特別顕彰金」の贈呈の可否、ならびにその金額の判断については、大学側の見解も参考にしたうえで「臨時・副会長会議」において都度検討し決めることとする。

5. この内規は、課外活動の実施状況や柑芦会の財政状況などに鑑み、副会長会議等での協議により修正または変更することがある。

 税理士法人  
坪内会計事務所

代表社員 坪内 隆 (大嘗21回)  
公認会計士・税理士・行政書士

〒567-0885 大阪府茨木市東中条町1番5号  
TEL (072) 622-0400 (代) FAX (072) 627-0022

坪内公認会計士事務所  
総合コンサル株式会社  
株式会社サポートイング

ハートを動かす、商社へ。



**HANWA**

**阪和興業株式会社**

# 柑 芦 会

## 1) 2021年度 正味財産増減計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

和歌山大学 柑芦会  
(単位:円)

科 目	2021年度実績	2020年度実績	増 減
1. 経常増減の部			
(1) 常収益			
入会金	6,325,000	6,026,000	299,000
利息収入	1,431,251	1,429,441	1,810
広告収入	468,600	568,000	-99,400
補助金収入	33,890	0	33,890
寄付金収入	0	13,000	-13,000
経常収益合計	8,258,741	8,036,441	222,300
(2) 経常費用			
支部総会祝金	60,000	0	60,000
理事会費	0	550	-550
会議費	33,062	9,720	23,342
通信費	192,008	134,981	57,027
広報活動費	413,499	1,406,510	-993,011
支部通信費補助	1,880,000	1,920,000	-40,000
旅費交通費	165,360	50,440	114,920
理事会等交通費	44,512	5,300	39,212
支部活性化費	343,290	186,868	156,422
香村賞費	301,960	345,850	-43,890
本部管理費	2,701,010	2,049,780	651,230
システム管理費	298,100	0	298,100
卒業生記念品費	432,000	378,000	54,000
事務用品費	91,636	91,732	-96
什器備品費	109,340	50,030	59,310
減価償却費	91,800	91,800	0
家 賃	0	500,000	-500,000
柑芦編集費	24,000	0	24,000
柑芦印刷費	2,336,081	2,070,200	265,881
慶弔費	5,197	10,000	-4,803
雑 費	20,254	22,748	-2,494
予備費	100,000	0	100,000
経常費用合計	9,643,109	9,324,509	318,600
当期経常増減額	-1,384,368	-1,288,068	-96,300
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	231,040	0	231,040
経常外収益合計	231,040	0	231,040
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	2,391,000	1,851,000	540,000
経常外費用合計	2,391,000	1,851,000	540,000
当期経常外増減額	-2,159,960	-1,851,000	-308,960
当期正味財産増減額	-3,544,328	-3,139,068	-405,260
正味財産期首残高	124,592,008	127,731,076	-3,139,068
正味財産期末残高	121,047,680	124,592,008	-3,544,328

## 2) 2022年度 正味財産増減予算書 (2022年4月1日～2023年3月31日) (単位:円)

科 目	2022年度予算
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
入会金	5,980,000
利息収入	1,430,000
広告収入	950,000
補助金収入	0
寄付金収入	1,000,000
経常収益合計	9,360,000
(2) 経常費用	
支部総会祝金	200,000
理事会費	300,000
会議費	70,000
通信費	180,000
広報活動費	1,600,000
支部通信費補助	1,500,000
旅費交通費	300,000
寄付講義交通費	150,000
ゲートウェイ交通費	250,000
理事会等交通費	600,000
支部活性化費	2,650,000
香村賞費	500,000
課外活動支援費	300,000
経済学部創立100周年記念事業	2,500,000
本部管理費	3,500,000
システム管理費	1,800,000
卒業生記念品費	450,000
事務用品費	100,000
什器備品費	100,000
減価償却費	55,000
柑芦編集費	30,000
柑芦印刷費	2,500,000
慶弔費	60,000
雑 費	50,000
予備費	200,000
経常費用合計	19,945,000
当期経常増減額	-10,585,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
過年度損益修正益	0
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
有価証券評価損	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期正味財産増減額	-10,585,000
正味財産期首残高	121,047,680
正味財産期末残高	110,462,680

## 3) 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

和歌山大学 柑芦会  
(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流動資産			
現 金	109,009		
普通預金	7,065,283		
郵便貯金	891,835		
未収入金	277,003		
流動資産 計	8,343,130	負債合計	0
固定資産		前期繰越正味財産	124,592,008
ソフトウェア	53,550	(内 香村基金)	(100,000,000)
投資有価証券	112,651,000	当期正味財産増減額	-3,544,328
固定資産 計	112,704,550	正味財産 合計	121,047,680
資産 合計	121,047,680	負債・正味財産 合計	121,047,680

# 柑芦会役員名簿 (2022年5月23日現在)

顧問 学長 伊東千尋  
顧問 学部長 芦田昌也

顧問 山中 静 (高20)  
顧問 青柳明雄 (大16)

☆は新任

役職	支部名	卒回		氏名	役職	支部名	卒回		氏名
会長	大阪	大18		北村 修一	理事	東京	大34		山根 木晴久
副会長	和歌山	大 8		坂本 漸	〃	東海	大20		伊藤 僚一
〃	大阪	大26	☆	糸川 公偉	〃	〃	大26		赤塚 信正
〃	東京	大30		小林 淳	〃	〃	大30		岡野 英生
〃	神戸	大20		平林 義康	〃	〃	大50		中川 暢顕
〃	東海	大25		垣見 祐二	〃	神戸	大17		吉田 和宏
理事	和歌山	大11		山崎 清作	〃	〃	大25		中原 憲造
〃	〃	短6		塩路 茂一	〃	〃	大27		吉竹 俊道
〃	〃	大15		廣田 俊樹	〃	〃	大27		小野田 修一
〃	〃	大16		渥美 正道	〃	京滋	大14		和田 壽郎
〃	〃	大17		橋本 孝郎	〃	〃	大46		宮下 剛
〃	〃	大18		西本 和生	〃	北海道	大19		田中 廣
〃	〃	大20		小瀧 信	〃	東北	大46		菊池 静
〃	大阪	大14		金子 義明	〃	北陸	大41		林国 敏
〃	〃	大15		足立 邦雄	〃	福井	大24		江波 庄進
〃	〃	大15		奥山 泉	〃	静岡	大14		澤田 務
〃	〃	大16		青柳 明雄	〃	三重	大18		井上 俊一
〃	〃	大17		穂永 千秋	〃	姫路	大25		毛利 恵行
〃	〃	大23		西本 正人	〃	岡山	大15		真下 義則
〃	〃	大26		塩谷 昭	〃	広島	大45		三吉 規央
〃	〃	大26	☆	杉野 博章	〃	山口	大24		宮本 高司
〃	〃	大26	☆	増田 高一	〃	山陰	大17		吉村 政憲
〃	〃	大31		東海 秀明	〃	徳島	大26		多田 昭弘
〃	〃	大31		平野 勝久	〃	高知	大21		西川 博
〃	〃	大32		岡田 治	〃	香川	大22		島田 新市
〃	〃	大33		渡邊 豊	〃	愛媛	大35		門屋 孝博
〃	〃	大42	☆	高田 美和	〃	九州	大19		石川 和彦
〃	〃	大44	☆	市平 和久	〃	沖縄	大28		當真 一男
〃	〃	大46		菓 英一					
〃	〃	大46		本庄 麻美子					
〃	東京	大15		原 良也					
〃	〃	大15		西浦 英次					
〃	〃	大26		末廣 利明					
〃	〃	大28		石田 隆造	監事	和歌山	大28		山中 盛義
〃	〃	大29		松村 勉	〃	大阪	大39		小柴 学司
〃	〃	大34		草場 寛	〃	大阪	大47・院37		夫馬 竜司

理事64名(定数56名以上69名以内) 監事3名(定数2名または3名) 顧問4名

# 柑 芦 会

## 柑芦会 支部一覧表

支 部 名		事務所所在地
和歌山	和歌山	640-8227 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2F 山中会計事務所内 柑芦会 和歌山支部事務局
大 阪	大阪、奈良	540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
東 京	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨、長野、栃木	160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シテイ源ビル5F 和歌山大学柑芦会東京支部
東 海	愛知、岐阜	450-6426 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号大名古屋ビルヂング26階 (有)あずさ監査法人名古屋事務所 岡野 英生様方
神 戸	兵庫(東播磨、北播磨、丹波以東および淡路)	659-0087 芦屋市三条町17-20芦屋三条町パークハイム302 中原憲造様方
京 滋	京都、滋賀	607-8182 京都市山科区大宅坂ノ辻町29-4 グランドムール山科306号 和田 壽郎様方
北海道	北海道	059-1942 北海道勇払郡安平町追分白樺2丁目28番地 田中 廣様方
東 北	青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城	020-0004 岩手県盛岡市山岸二丁目16-58 菊池 静様方
北 陸	富山、石川、新潟	921-8065 金沢市上荒屋3-311 林 国敏様方
福 井	福井	912-0061 大野市篠座町7-8 清水 啓司様方
静 岡	静岡	411-0021 三島市富士見台4-16 澤田 務様方
三 重	三重	516-0035 伊勢市勢田町608-136 山際 雅彦様方
姫 路	兵庫(神戸支部以外)	670-0965 姫路市東延末3丁目39 毛利会計事務所気付
岡 山	岡山	710-0057 倉敷市昭和1丁目3-35 フローレンス倉敷703 真下 義則様方
広 島	広島	731-5127 広島市佐伯区五日市6-2-16 三吉 規央様方
山 陰	島根、鳥取	690-0884 松江市南田町92-7 友定 雅紀様方
山 口	山口	758-0041 萩市大字江向179-3 宮本 高司様方
徳 島	徳島	770-8040 徳島市上八万町中山6-11 三村 清美様方
高 知	高知	780-8037 高知市城山町192-1 西川 博様方
香 川	香川	761-0432 香川県高松市亀田南町87-108 山上 武司様方
愛 媛	愛媛	799-2696 松山市堀江町7番地 三浦工業(株) 内
九 州	九州全県	852-8063 長崎市北栄町4-5 石川 和彦様方
沖 縄	沖縄	904-0022 沖縄市園田1-3-30 当真 一男様方
北 米	アメリカ	6 Teramo Ct. Newport Coast, CA USA 92657
その他海外		
本部事務局		(和歌山) 640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 経済学部 分室 気付
		(大 阪) 540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
監 事		山中 盛義(大28)、小柴 学司(大39)、夫馬 竜司(大47・院37)

(2022.3.31.現在)

電 話	支 部 長	副 支 部 長		幹 事 長	在籍者数
073-423-1231	坂本 漸(大8)	後藤 善美(大7) 山崎 清作(大11)	塩路 茂一(短6)	山中 盛義(大28)	4,709
06-6941-4986	糸川 公偉(大26)	平野 勝久(大31)	岡田 治(大32)	西本 正人(大23)	6,038
03-3366-3680	小林 淳(大30)	石田 隆造(大28) 松村 勉(大29)	山根木 晴久(大34)	草場 寛(大34)	1,229
052-589-0500	垣見 祐二(大25)	伊藤 僚一(大20)	赤塚 信正(大26)	岡野 英生(大30)	578
090-3657-8127	平林 義康(大20)	吉田 和宏(大17)		中原 憲造(大25)	867
075-581-4120	和田 壽郎(大14)			宮下 剛(大46)	355
0145-25-2801(FAX)	田中 廣(大19)				11
080-1824-2688	菊池 静(大46)	喜多 正行(大8)	村澤 美代子(大34)		48
076-205-1916	林 国敏(大41)				102
0779-66-4336	江波 庄進(大24)			清水 啓司(大31)	105
055-986-5223	澤田 務(大14)				104
0596-72-8025	井上 俊一(大18)	小谷 剛(大20) 太田 均(大22)	水谷 正道(大26)	山際 雅彦(大31)	207
079-283-1250	毛利 恵行(大25)	黒田 俊行(大29)		栄藤 雅雄(大31)	265
080-3103-5637	真下 義則(大15)	味野 耕二(大17)			200
082-921-1662	三吉 規央(大45)	山元 経穂(大49)			119
090-5696-0212	吉村 政憲(大17)			友定 雅紀(大24)	161
0838-26-8523	宮本 高司(大24)			橋本 尚明(大26)	54
090-1578-7941	多田 昭弘(大26)	丸木 一男(大14) 春藤 勝弘(大33)	相談役 中村 昌宏(大13)	三村 清美(大36)	141
088-833-7274	西川 博(大 21)		安岡 道夫(大21)		26
087-847-3185	島田 新市(大22)			梶 正司(大31)	85
089-979-1230	門屋 孝博(大35)				111
090-1876-1674	石川 和彦(大19)				340
098-932-2787	當真 一男(大28)			大城 直輝(大46)	25
213-610-7578	田中 昌平(大19)			西川 謹爾(大1)	2
				(小計)	15,882
073-457-7607	(大 学)	学部支援室 経済学部分室長 森田 智也		(死亡・不詳等)	12,958
06-6941-4986	(会 長)	北村 修一(大18)		合 計	28,840
	(事務局長)	浦 義弘(大17)			①2022年3月卒業生は含まない。

# 後援会

## 1) 2021年度 正味財産増減計算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

一般財団法人  
和歌山大学経済学部後援会  
(単位:円)

科目	2021年度実績	2020年度実績	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
利息収入	135,608	325,237	-189,629
経常収益合計	135,608	325,237	-189,629
(2) 経常費用			
① 事業費			
施設設備援助	400,000	400,000	0
学術研究助成	0	0	0
論文刊行等費用助成	0	0	0
海外留學費援助	0	0	0
特定寄付(70周年記念事業)	0	30,000,000	-30,000,000
事業費合計	400,000	30,400,000	-30,000,000
② 管理費			
会議費	0	0	0
通信費	0	6,580	-6,580
事務用品費	53,321	43,045	10,276
家賃	960,000	460,000	500,000
機器リース料	27,588	27,588	0
租税公課	10,500	10,834	△ 334
雑費	57,402	58,678	△ 1,276
管理費支出合計	1,108,811	606,725	502,086
経常費用合計	1,508,811	31,006,725	-29,497,914
当期経常増減額	-1,373,203	-30,681,488	29,308,285
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	231,000	177,000	54,000
有価証券売却損	0	506,400	-506,400
経常外費用合計	231,000	683,400	-452,400
当期経常外増減額	-231,000	-683,400	452,400
当期一般正味財産増減額	-1,604,203	-31,364,888	29,760,685
一般正味財産期首残高	25,338,281	56,703,169	-31,364,888
一般正味財産期末残高	23,734,078	25,338,281	-1,604,203
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	23,734,078	25,338,281	-1,604,203

## 2) 2022年度 正味財産増減予算書 (2022年4月1日～2023年3月31日) (単位:円)

科目	2022年度予算
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
利息収入	140,000
経常収益合計	140,000
(2) 経常費用	
① 事業費	
施設設備援助	400,000
学術研究助成	0
論文刊行等費用助成	0
海外留學費援助	1,000,000
EC奨学金制度	270,000
事業費合計	1,670,000
② 管理費	
会議費	200,000
通信費	10,000
事務用品費	50,000
家賃	960,000
機器リース料	30,000
租税公課	30,000
雑費	60,000
管理費支出合計	1,340,000
経常費用合計	3,010,000
当期経常増減額	-2,870,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益合計	0
(2) 経常外費用	
有価証券評価損	0
経常外費用合計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-2,870,000
一般正味財産期首残高	23,734,078
一般正味財産期末残高	20,864,078
II. 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III. 正味財産期末残高	20,864,078

## 3) 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

一般財団法人  
和歌山大学経済学部後援会  
(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産			
現金	10,861		
普通預金	12,365,676		
未収入金	37,493		
流動資産 計	12,414,030	負債合計	0
固定資産			
土地	138,048	前期繰越正味財産	25,338,281
投資有価証券	11,182,000	当期正味財産増減額	-1,604,203
固定資産 計	11,320,048	正味財産合計	23,734,078
資産 合計	23,734,078	負債・正味財産 合計	23,734,078

# (一財)和歌山大学経済学部後援会・役員名簿 (2022年5月23日現在)

☆は新任

役職名	所属支部	卒回		氏名	役職名	所属支部	卒回		氏名
理事長	大阪	大18		北村 修一	評議員	和歌山	大16		渥美 正道
常務理事	和歌山	大8		坂本 漸	〃	〃	大17		橋本 孝郎
〃	大阪	大26	☆	糸川 公偉	〃	〃	大20		小瀧 信
〃	東京	大30		小林 淳	〃	大阪	大17		浦 義弘
〃	神戸	大20		平林 義康	〃	〃	大23		西本 正人
〃	東海	大25		垣見 祐二	〃	〃	大31		東海 秀明
理事	大阪	大14		金子 義明	〃	東京	大28		石田 隆造
〃	〃	大16		青柳 明雄	〃	〃	大34		草場 寛
〃	〃	大24		佐藤 直樹	〃	東海	大30		岡野 英生
〃	東京	大15		原 良也	〃	神戸	大17		吉田 和宏
〃	〃	大15		西浦 英次	〃	京滋	大46		宮下 剛
〃	〃	大26		末廣 利明	〃	東北	大46		菊池 静
〃	神戸	大20		辻 均	〃	三重	大18		井上 俊一
〃	京滋	大14		和田 壽郎	〃	姫路	大29		黒田 俊行
〃	姫路	大25		毛利 恵行	〃	徳島	大26		多田 昭弘
					〃	香川	大22		島田 新市
					〃	九州	大19		石川 和彦
監事	和歌山	大28		山中 盛義					
〃	大阪	大39		小柴 学司					
〃	〃	大47・院37		夫馬 竜司					

任期 理事 2年(2024年5月まで)  
 評議員 4年(2026年5月まで)  
 監事 4年(2024年5月まで)

現在数 理事 15名(定数10名以上20名以内)  
 評議員 17名(定数10名以上25名以内)  
 監事 3名(定数3名以内)

# 訃報情報

本年4月、全会員向けに「消息葉書」を送付し、過年度分も含めて多くの方から訃報連絡を頂きました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

ご逝去日をご連絡頂いていない場合は、「-」(不明)としています。(敬称略) (2022年8月31日現在)

卒	期	氏名	永眠年月日	
高商	1	植田貞夫	2021.8.5	
	10	野上泰正	-	
	11	長尾輝夫	-	
	11	吹田四朗	-	
	12	沢田源三	-	
	14	吉川浩三	-	
	17	三宅之朗	-	
	18	西川洋男	2021.9.4	
	19	岩瀬一夫	2008.4.-	
	19	植田貞夫	2021.8.5	
	20	大場幸夫	2021.9.-	
	20	大谷本隆	2021.11.10	
	20	副松進也	-	
	20	高井哲也	-	
	経専	1	木村孝次郎	2010.8.-
		1	南泉肇	2015.10.7
		1	湯川敏弘	-
		1	安田嘉雄	-
		2	田嶋昭三郎	2021.11.28
		2	酒井澄夫	-
3		西浦清雄	2019.7.8	
3		谷野道雄	2021.12.15	
3		細川治男	2022.3.-	
3		丸山健樹	2022.3.9	
3		中村兼通	2022.6.5	
3		市橋克二	-	
3		白井肇	-	
4		佐武四郎	-	
工専		4	亀井信琦	-
	1	南村桂太郎	2021.11.-	
	2	出村齊宏	-	
	2	深海龍彦	-	
	2	藤原禎弘	-	
	2	谷崎博志	-	
	大学	1	谷本徳七	2020.6.-
		1	納谷吉郎	2022.1.23
		1	西川謹爾	2022.7.7
		1	永井敬造	-
1		岡崎忠彦	-	
2		谷口勝美	2021.10.9	
2		柴谷貞夫	2022.8.14	
2		平井喜広	-	

卒	期	氏名	永眠年月日
大学	2	旗手讓	-
	3	國岡政剛	2022.3.26
	3	中村育夫	-
	3	瀧浪真男	-
	3	瀧木下睦	-
	4	吉岡武	2020.6.16
	4	田村禎三	2022.4.11
	4	角野武夫	-
	4	辻内祥浩	-
	5	八井田晋	2022.5.4
	5	西垣幹雄	-
	6	石井清隆	2018.12.-
	6	我堂敬典	2022.2.3
	7	佐野彰朗	2021.11.30
	7	井口益之	2022.春
	7	濱口本實	-
	7	武本真明	-
	8	宮本明	2021.9.22
	8	田付実	2021.9.26
	8	村上安宏	2022.4.20
	8	大澤龍平	-
	8	大井信雄	-
	9	中谷千臣	2021.9.20
	9	中島隆司	-
	9	前田武彦	-
	11	宮崎豊博	2016.1.26
	11	国兼憲二	2020.6.28
	11	尾崎賢太郎	2020.12.20
	11	坂東博明	2022.4.12
	11	広橋克彦	-
	11	榎本雅生	-
	12	稗正俊	2018.12.8
12	山崎石根	2021.12.6	
13	上原弘志	2021.11.10	
14	中天谷洋三	-	
14	天満平和	-	
14	山崎喜造	-	
15	泉隆資	2022.2.7	
16	浅野芳昭	2021.5.-	
16	木本良宏	2021.8.15	
16	山本定昭	2022.2.3	
16	兼田進也	-	

卒	期	氏名	永眠年月日	卒	期	氏名	永眠年月日	
大学	16	雑賀欣二	-	短大	7	寺西英夫	-	
	16	兼田進也	-		8	岡本憲児	-	
	16	平井秀彦	-		8	谷村洋三	-	
	16	田中文雄	-		8	吉田映	-	
	16	森文忠	-		8	根来正英	-	
	17	玉川邦雄	-		8	谷村洋三	-	
	17	松本良和	2021.10.5		10	稲田房身	-	
	17	本多康重	2021.12.11		10	小野末光	-	
	18	蔵重雄一	2021.9.10		10	北野野宣隆	-	
	18	高橋豊和	-		10	小野野末光	-	
	19	中尾寿夫人	2020.12.26		11	小尾藤博	2020.10.11	
	19	小小谷範直	2022.3.12		11	酒井信一	-	
	19	小山根健次	-		11	上嶋信伸	-	
	20	山板谷信介	2019.6.18		11	平林村彰	-	
	20	板谷幸一	2022.3.5		11	田城善仁	-	
	21	宮野公伯	-		11	高木村善正	-	
	21	山田脇重利	-		12	高木村善正	-	
	23	佐脇山規	-		13	橋爪端正	-	
	24	上高橋隆	-		14	川端文重	2021.12.6	
	24	高北隆	-		14	池上昭	-	
	27	江川和文	-		14	岩田登	-	
	28	川本圭司	-		15	津田安博	-	
	29	岩本益啓	-		15	宮路都知	-	
	30	豊田史和	-		15	宮本末真	-	
	30	冷水佳知	-		16	阿部末雄	2021.8.-	
	32	冷宮本堅	-		16	阿部末雄	-	
	34	松葉英史	-		16	阿部末康	-	
	35	大賀誠一郎	2021.7.14		16	北浦本夫	-	
	44	澁川章吾	2021.-.-		24	森本治	-	
	44	三浦井山	-		25	坂本勝美	-	
	48	酒谷大平	-		26	谷野勝美	-	
	58	谷山大平	-	31	中村久美	2022.2.15		
	短大	1	矢野籬朗	2021.12.14				
		1	日瀨武彦	-				
		1	小浦山口	-				
		2	栗須谷鉄治	-				
		3	宮本雅史	-				
		3	青木敏郎	-				
		4	青海出義信	2017.3.22				
		4	海出林健次	2020.12.21				
		4	小楠憲次郎	-				
		4	楠本孝行	-				
		5	三宅脩三	-				
		5	広野正博	-				
5		前田寛生	-					
5	小松寛十	-						
7	亀位十郎	-						

# 広告索引

「柑芦」第53号

(50音順)

ア	旭精機工業(株) …………… 64	田中会計事務所…………… 80	
	岩垣会計事務所 …………… 80	チョーヤ梅酒(株) …………… 97	
	鵜島会計事務所 …………… 56	坪内会計事務所 …………… 109	
	(株)岡本設計…………… 48	道頓堀ホテル …………… 44	
カ	川瀬計理事務所…………… 48	ナ	名尾公認会計士事務所 …… 73
	(株)共立合金製作所 …… 93		(株)南北 …………… 97
	(株)小泉組 …………… 49	ハ	(株)白山機工…………… 61
サ	斎藤直樹税理士事務所 …… 56		パークス(株) …………… 45
	司法書士法人さくら国際 …… 93		紀三井寺ガーデンホテル はやし …… 95
	敷島製パン(株) …………… 49		阪和興業(株) …………… 109
	(株)島精機製作所 …………… 53	マ	毛利会計事務所 …………… 45
タ	大成金属(株) …………… 94	ヤ	山中静事務所…………… 81
	高島工業(株) …………… 73		

第53号もようやく刊行できることとなりました。ご協力いただきました柑芦会員及び編集委員の皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

表紙絵も絵画同好会の小柴 学様からの母校の在る和歌山市近郊を俯瞰図として描いていただくという記念誌にふさわしい表紙が出来ました。

年代的には高松学舎育ちの会員が多いように思えますが、人数的には栄谷学舎（現在地）を卒業された会員との差は少ない時代になりました。まだ栄谷の学舎に行ったことのない方も多いようですが、現役諸君が課外活動で成果を上げるニュースを聞くたびに、一度は訪れてみたいと思う気持ちも湧いてくるのではないのでしょうか。

過去二年、コロナ禍における柑芦会活動の制限も、感染者の漸減で何とか復活への期待が高まる中、7月からまたもや第7波の感染の波に飲み込まれ、同窓会活動に支障をきたす状況が続きました。その中でズームを利用した会議での交流を試みられ、少しずつ対面での支部総会が開かれるようになりました。

編集委員会も幾人かの方の交代があり、それ以上に新しい方の参加の必要性が高まっております。もっともっと各地の情報を、この誌面で共有し、交流活性化に役立つようにしていきたいと願っております。

「柑芦」編集委員長 大17 穂永 千秋

◆転載禁止 本誌掲載の記事・文章・写真については、無断転載は禁止します。

## 柑芦 第53号(2022年版)

2022年10月発行

発行所 大阪市中央区谷町4丁目4-17  
ロイヤルタワー大阪谷町207号

電話 06-6941-4986

FAX 06-6947-7925

発行人 北村 修一

編集人 穂永 千秋

(印刷・製本 東洋紙業高速印刷株式会社)

## 柑芦編集委員会

委員長 穂永 千秋(大阪)

委員 林 歳昭(姫路)

同 青柳 明雄(大阪)

同 萩原 謙(神戸)

同 糸川 公偉(大阪)

同 中川 暢顕(東海)

同 中川 貴照(東京)

各支部 広報支局員

## 広告掲載申込み受付中!!

「柑芦」の編集費用は、広告収入でその大部分を賅っております。

皆様のご協力をお願いします。

お問合せ、お申込みは、本部事務局へ

## 《投稿募集!!》

柑芦会員並びに関係者の方々からの投稿を歓迎いたします。

随筆・紀行文・俳句・短歌・詩……など

ただし、編集上、訂正、削除等の変更がある場合をお含み置き下さい。

# 《和歌山大学 経済学部 同窓会「柑芦会」のプロフィール》

**柑芦会の名称**：柑芦会の「柑芦」とは、和歌山といえば「蜜柑」、学校の敷地周辺には、開校当時「芦」が生い茂っていたことから、「蜜柑」の香りと天を指して伸びる「芦」のたくましさ、強さに因んで高商初代校長の岡本一郎氏により命名された。

柑をカンと読まずコウと呼び習わしている。

**柑芦会の歴史**：大正 15 年(1926 年)3 月 11 日、和歌山高等商業学校第 1 回卒業式が挙行されたが、その時、数名の者が発起人となり、学校当局の同意も得て同窓会が発足した。同窓会は、後に昭和 4 年「柑芦会」と命名された。

**柑芦会の組織**：柑芦会は、和歌山高等商業学校、和歌山経済専門学校、和歌山工業専門学校、和歌山大学経済学部、短期大学部、和歌山大学大学院へと連綿と受け継がれて来た。2022 年 8 月現在、卒業生は 29,000 名を超え、全国に 23 の支部が作られ、活発に活動している。

**柑芦会の活動**：柑芦会は、会員相互の親睦を図り、母校と会員の関係を緊密にし、その隆盛と発展を助けることを目的として様々な活動を展開している。支部総会・懇親会、同期会、ゼミ・クラブ OB 会、ゴルフ会、歩こう会、囲碁会、詩吟会、勉強会(人生塾、経済講演会、異業種交流会等)、就職支援活動、母校において卒業生の寄付講義開講等その他色々な分野で積極的な活動を行っている。

**事務所・広報**：本部・大阪事務所：  
〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17  
ロイヤルタワー大阪谷町 207 号  
電話：06-6941-4986  
Fax：06-6947-7925  
E-mail：honbu@kourokai.org  
http://www.facebook.com/kourokai

## 柑芦誌へのとじ込みアンケート葉書

今回の柑芦第53号の内容についてご意見をお聞かせください

1. 全体の感想は？
2. 今回の特別企画は？ ○印で  
よかった まあまあ 面白くない  
よかったと思う点は何ですか？
3. 恩師の思い出で今後取り上げてほしい先生はいますか？  
いる： 先生のお名前
4. 母校日より 卒業後母校に行ったことはありますか？ \_\_\_\_\_ 回  
特に印象に残った記事は何ですか？
5. 同窓会、同期会への参加は ○印で  
行きたい 行きたいが時間がない 関心がない
6. 文芸欄の感想： よかったと思うものは ○印(複数も可能)  
随想 短歌 川柳 俳句  
柑芦会の同好組織について 関心がある 関心がない 参加したい
7. 次号への提案について希望をお書きください  
例： あの人 あの街のこと等なんでも結構です。
8. 近況・ご消息 等

名前・期 \_\_\_\_\_ 期  
住 所 〒 \_\_\_\_\_

郵便はがき

540-0012

63円切手  
をお貼り  
ください

大阪市中央区谷町四丁目十七

ロイヤルタワー大阪谷町二〇七号

和歌山大学柑苜会

本部・大阪事務所  
行



wakayama  
univ.